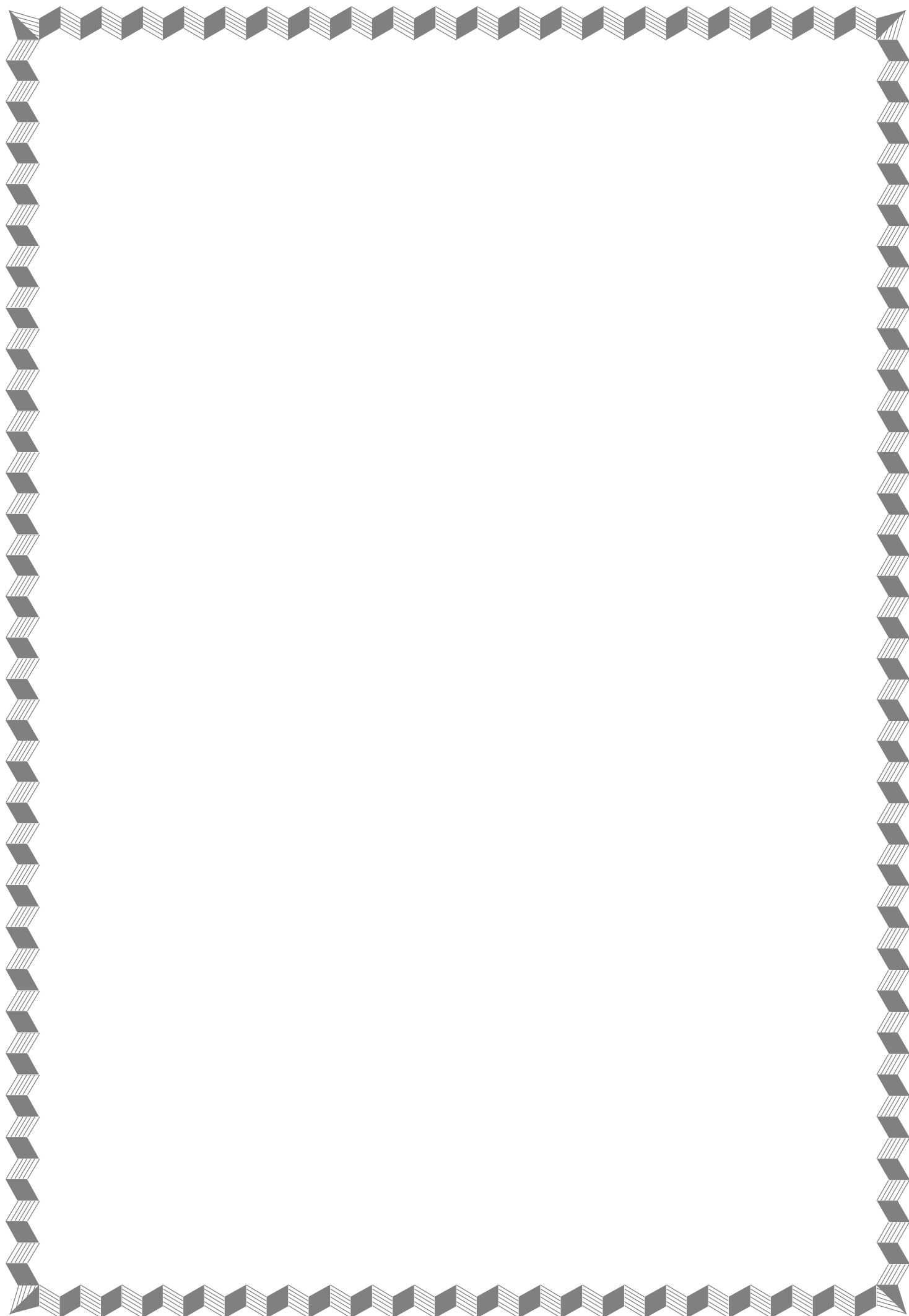


平成21年度

市民センター事業概要

仙台市中央市民センター





市民センターの概要

1	市民センター（公民館）の歴史	1
2	市民センターの施設理念と運営方針	4
3	平成 21 年度市民センター事業体系（教育局・地区館）	8
4	仙台市市民センターの構成図	11

教育局の事業

1	市民センター事業（区拠点館）の実施体制	12
2	中央市民センターの事業	13
3	各区中央市民センター（区拠点館）の事業紹介	26
	青葉区中央市民センター	27
	中央市民センター	31
	若林中央市民センター	34
	太白区中央市民センター	38
	泉区中央市民センター	42

（財）ひと・まち交流財団の事業 ～地区館事業～

1	市民センター事業（地区館）の実施体制	45
2	各市民センターの紹介	46

青葉区

青葉区中央市民センター	46
柏木市民センター	47
北山市民センター	48
福沢市民センター	49
旭ヶ丘市民センター	50
三本松市民センター	51
片平市民センター	52
水の森市民センター	53
貝ヶ森市民センター	54
中山市民センター	55
折立市民センター	56
広瀬市民センター	57
宮城西市民センター	58
大沢市民センター	59
落合市民センター	60
吉成市民センター	61
木町通市民センター	62

宮城野区

中央市民センター	63
高砂市民センター	64
岩切市民センター	65
鶴ヶ谷市民センター	66
榴ヶ岡市民センター	67
東部市民センター	68
幸町市民センター	69
田子市民センター	70
福室市民センター	71

若林区

若林区中央市民センター	72
七郷市民センター	73
荒町市民センター	74
六郷市民センター	75

沖野市民センター	76
若林市民センター	77
太白区	
太白区中央市民センター	78
生出市民センター	79
中田市民センター	80
西多賀市民センター	81
八本松市民センター	82
八木山市民センター	83
山田市民センター	84
茂庭台市民センター	85
東中田市民センター	86
柳生市民センター	87
秋保市民センター	88
馬場市民センター	88
湯元市民センター	88
富沢市民センター	89
泉 区	
泉区中央市民センター	90
根白石市民センター	91
南光台市民センター	92
黒松市民センター	93
将監市民センター	94
加茂市民センター	95
高森市民センター	96
松陵市民センター	97
寺岡市民センター	98
長命ヶ丘市民センター	99
松森市民センター	100
桂市民センター	101
南中山市民センター	102
3 特定事業の実施状況	103

資料編

1 仙台市市民センター施設概要一覧	115
2 市民センター事業費・管理費	119
3 平成21年度 市民センター職員数	120
4 仙台市公民館運営審議会委員名簿	122
5 仙台市公民館運営審議会審議経過及び答申	123
6 平成21年度 主催講座の事業別実施状況	124
7 主催講座等参加者数推移表	128
8 利用者数推移表	130
9 仙台市市民センター条例・施行規則	132
10 まなびの杜 ― 仙台市教育ビジョン ―	143

平成21年度市民センター事業概要は、ホームページでもご覧いただけます。
(<http://www.stks.city.sendai.jp/sgks/WebPages/gaiyo.htm>)

また、各センターの21年度事業については、ホームページ及び市民センター情報コーナーに設置している『事業実績一覧』で閲覧できますので、ご利用ください。

市民センターの概要

1. 市民センター（公民館）の歴史

仙台市では、従来より、地域における社会教育施設として教育委員会が所管する「公民館」と、市民の自主活動の場として企画市民局が所管する「市民センター」という 2 種類の市民利用施設が設置されていた。政令指定都市に移行した平成元年度にそれぞれの機能を併せ持つ施設となり、平成 2 年 4 月から「市民センター」の名称に統一された。

行財政運営を取り巻く環境の変化や多様化・高度化する時代の変化に対応するため、平成 13 年 4 月には市民センターの業務再編を行い、区中央市民センターに教育局職員を集中配置するとともに、地区市民センターにおける生涯学習事業を「仙台ひと・まち交流財団」に委託した。平成 16 年 4 月からは指定管理者制度を導入、同財団を管理者として指定している。市民センターは、市民本位の総合的・体系的な生涯学習事業を推進する生涯学習拠点として、現在、市内 59 箇所に設置されている。

年 月	摘 要	館数
昭和 21 年 10 月	在仙文化人有志により、宮城県医師会館内に「仙台公民館」が設立。	
昭和 24 年 6 月	（「社会教育法」制定）	
昭和 24 年 8 月	「仙台市公民館条例」の制定により、仙台市公会堂（現市民会館）内に「仙台市公民館」が誕生。	1 館
昭和 25 年 12 月	（仙台市教育委員会発足）	
昭和 27 年 6 月	（「仙台市社会教育委員の設置に関する条例」の制定）	
昭和 31 年 4 月	生出村が仙台市に合併したことに伴い、生出村公民館を「生出分館」に改称。	1 館 1 分館
昭和 42 年 4 月	「生出分館」が移転し、「生出公民館」に名称を変更。	2 館
昭和 42 年 10 月	「仙台市公民館条例」を新たに制定（旧条例は廃止）。 「長町公民館」開館。	3 館
昭和 43 年 11 月	「高砂公民館」開館。	4 館
昭和 44 年 10 月	「中田公民館」開館	5 館
昭和 46 年 8 月	公会堂解体・市民会館建設に伴い、「仙台市公民館」が東二番丁の「市民教養センター」に移転。	
昭和 48 年 3 月	「仙台市公民館」が「中央公民館」の名称となる。	
昭和 56 年 12 月	「岩切公民館」開館。	6 館
昭和 58 年 3 月	「中央公民館」を現在地（仙台駅東口「パルシティ仙台」内）に新築移転し、宮城野通図書館（現・榴岡図書館）と共に開館。	
昭和 58 年 4 月	「七郷公民館」開館。	7 館
昭和 61 年 3 月	（東二番丁小学校改築に伴う「市民教養センター」の廃止）	
昭和 61 年 7 月	「中央公民館柏木分館」開館。	7 館 1 分館

昭和 62 年 11 月	宮城町合併に伴い、公民館 9 館、分館 1 館となる。 (※)宮城・宮城西	9 館 1 分館
昭和 63 年 1 月	中央公民館一番町分館の開館。	9 館 2 分館
昭和 63 年 3 月	秋保町、泉市の合併に伴い、公民館 18 館、分館 2 館となる。 (※)泉・南光台・加茂・将監・根白石・秋保・馬場・湯元・八乙女	18 館 2 分館
平成元年 4 月	教育委員会所管の「公民館(18 館 2 分館)」と市民局所管の「地区市民センター(15 館)」が相互に併設され、新たに開館した 3 館を含めて施設の名称を「〇〇市民センター・公民館」の二枚看板とする。 (※)「専門性のある職員の配置によって社会教育事業を実施し、市民の学習ニーズに応えられる」公民館の長所と、「市民が自主的な活動を自由に展開する場として」の地区市民センターの長所を併せ持つ施設としてスタート。 政令指定都市移行に伴い 5 区 38 館制をとり、各区に拠点館をおいた。 青葉区:「一番町公民館」 宮城野区:「中央公民館」 若林区:「七郷公民館」 太白区:「中田公民館」 泉区:「泉公民館」 ●名称変更…柏木・一番町(分館から公民館へ名称変更) ●新設…片平・東中田・高森 ●市民会館の一部として開館していたものに併設…榴ヶ岡 ●市民センターに併設…鶴ヶ谷・東部・北山・福沢・旭ヶ丘・三本松・荒町・南小泉・六郷・西多賀・八本松・八木山・山田・茂庭台	38 館
平成 2 年 3 月	「仙台市市民センター条例」を新たに制定。	
平成 2 年 4 月	施設の名称を「市民センター」に統一。 (※)市民センターの財産を教育財産とし、施設の使用許可については区長に委任し、施設管理の総括を市民局、維持管理を区長に補助執行させる。 「松陵市民センター」開館。	39 館
平成 2 年 5 月	「大沢市民センター」開館。	40 館
平成 2 年 9 月	「水の森市民センター」開館。	41 館
平成 3 年 4 月	「若林市民センター」「沖野市民センター」「寺岡市民センター」開館。	44 館
平成 3 年 6 月	「宮城市民センター」の名称を変更し、広瀬文化センター内に「広瀬市民センター」が開館。	
平成 5 年 4 月	「幸町市民センター」「貝ヶ森市民センター」「長命ヶ丘市民センター」開館。	47 館
平成 5 年 9 月	「南小泉市民センター」の名称を変更し、若林区文化センター内に「若林区中央市民センター」が開館。若林区の拠点館となる。	
平成 6 年 4 月	「落合市民センター」開館。	48 館

平成 6 年 11 月	「せんだいLLプラン 21 仙台市生涯学習基本構想」を策定。	
平成 7 年 4 月	「中山市民センター」開館。	49 館
平成 7 年 5 月	「折立市民センター」開館。	50 館
平成 8 年 4 月	「吉成市民センター」開館。	51 館
平成 9 年 4 月	「柳生市民センター」開館。	52 館
平成 11 年 6 月	「長町市民センター」の名称を変更し、太白区文化センター内に「太白区中央市民センター」が開館。太白区の拠点館となる。	52 館
平成 11 年 8 月	「田子市民センター」開館。	53 館
平成 12 年 1 月	「松森市民センター」開館。	54 館
平成 13 年 1 月	「仙台まなびの杜(仙台市教育ビジョン)」策定。(平成 13 年～22 年)	
平成 13 年 4 月	市民センターの業務再編により、職員を拠点館に集中配置、地区市民センター事業を「仙台ひと・まち交流財団」に委託する。	
平成 13 年 9 月	「市民センター運営方針」を定める。	
平成 13 年 11 月	「富沢市民センター」開館。	55 館
平成 13 年 12 月	「桂市民センター」開館。	56 館
平成 15 年 3 月	「福室市民センター」開館。	57 館
平成 15 年 11 月	《仙台市市民利用施設予約システム》の導入 「南中山市民センター」開館。	58 館
平成 16 年 4 月	指定管理者制度導入に伴い、「仙台ひと・まち交流財団」を指定管理者とする。(平成 16 年 4 月から 3 年間) 「木町通市民センター」開館。	59 館
平成 19 年 4 月	非公募により引き続き「仙台ひと・まち交流財団」を指定管理者とする。	
平成 19 年 10 月	仙台市公民館運営審議会より「市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて」(答申)を受ける。	
平成 20 年 12 月	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」を策定。	
平成 21 年 4 月	非公募により引き続き「仙台ひと・まち交流財団」を指定管理者とする。	

2. 市民センターの施設理念と運営方針

(平成20年12月策定)

【仙台市市民センターの施設理念】

市民センターとは、次の3つの機能が一体となって運営される社会教育施設である。

- 1 市民の学びのプロセスに沿った学習支援のための諸機能を有し、あらゆるライフステージに応じた市民一人ひとりの学びを総合的に支援する、市民との協働による市民本位の生涯学習の支援拠点としての機能
- 2 子どもから高齢者までのあらゆる市民が集い交流し、多様な市民による様々な活動が主体的に行えるよう支援する場や機能を持った市民のための市民が主役の交流拠点としての機能
- 3 学びを通して地域の人と人をつなぎ、住みよいまちづくりにつながる人づくりを行う地域づくりの拠点としての機能

【仙台市市民センター事業の運営方針】

1 市民センター事業の目的

(1) 市民センター全体の事業目的

市民センターは、それぞれの地域での市民ニーズに応じた多様な事業を実施することにより、市民一人一人の主体的な生涯学習活動が充実し、その活動をきっかけとして仲間が集い交流が生まれ、その相互の交流を通して住みよい地域づくりにつながる自治活動が活発になるなど、それぞれの地域社会のより良い形成に寄与する“人づくり”を目指す。

【重点方針】

- ・全ての市民センター事業は、この目的に向かって計画性を持って実施する。
- ・実際の事業の企画・実施にあたり、職員は「きっかけ」「仕掛け」「働きかけ」といった社会教育的関わりを常に意識し、市民の主体的な「学び」を支え、市民と協働して事業に取り組む。
- ・職員はこのような目的が達成されているかどうかを自己点検・評価するとともに、市民・地域住民による評価を受け、事業の改善に絶えず努める。

(2) 拠点館事業の主要な目的

拠点館事業の主要な目的は、本市における、あらゆる市民のライフステージごとの学習ニーズに対応した、多様な生涯学習事業の計画的かつ体系的な推進である。さらには、指定管理者制度の下で事業を受注している地区館に対して、その果たすべき業務の目的・目標を設定し、定期的に事業を評価し必要な助言・指導を行うなど、発注者としての地区館事業へのマネジメントを行い社会教育施設としての質の確保を図ることである。

【重点方針】

- ・拠点館は、体系化された事業計画と社会教育の専門性を持って、市民センター事業全体の質を維持し高めるものとする。
- ・拠点館職員は常に専門性の維持・向上に努め、地域課題を踏まえた調査研究事業の充実と地区館支援のための環境整備に重点的に取り組むものとする。

(3) 地区館事業の主要な目的

地区館事業の主要な目的は、地域を基盤とし、地域づくりにつながる人づくりを行うことであり、市民一人ひとりが「出会い・ふれあい・学びあう」ことでつながり、さらには市民自ら地域課題に向き合い住みよいまちづくりに協働して取り組むことができるよう支援することである。

【重点方針】

- ・地区館は“地域づくりの拠点”としての機能を果たすことを重点目標とし、館長は地域のコーディネーターの役割を担うものとする。
- ・地域の連帯感を高め豊かな地域社会を創るために、地域における市民の主体的で多様な生涯学習活動を支援し、質・量ともに充実するものとする。

2 市民センターの役割

(1) 市拠点館（中央市民センター）の基本的な役割

① 市民センターにおける生涯学習事業体系の策定と行動計画の立案、および全市にわたる生涯学習事業の推進

本市における生涯学習に関わる機関・団体との役割分担を踏まえ、学校教育や市長部局・区の事業担当課とも連携しながら、市民センターが担うべき生涯学習事業体系を策定し、事業目標を定めた行動計画にしたがって本市の生涯学習事業を着実に推進する。

② 生涯学習推進のための専門性の向上

少子高齢化・国際化・情報化、男女共同参画などの現代的な課題や、本市が抱える諸課題への先進的な取組み、及び市民のライフステージごとの多様な学習ニーズの把握と効果的なプログラムづくり等の調査・研究を推進するとともに、その成果を地区館等へ還元する。

③ 市民一人ひとりのニーズに対応した生涯学習支援体制の充実

〔学習活動のネットワーク化とリーダーの養成〕

市民相互の学習活動やそのネットワーク化を支援するとともに、学習リーダーの養成や学習ボランティア活動を推進する。

〔生涯学習情報の計画的体系的な収集と提供〕

計画的で体系的な生涯学習情報の収集と提供を行い、生涯学習相談事業の充実を図る。

④ 指定管理者制度下での指定管理業務のマネジメントの推進

地区館事業の発注者として、指定管理業務の目的とそのための事業の目標及びその要求水準の考え方を明確にし、地区館ごとに事業を評価できる体制を構築する。

⑤ 職員の人材育成

〔職員研修の体系化と専門研修の充実〕

初任者・中堅者・館長などに対する経験や役割に応じた体系的な研修や、社会教育を担当する職員としての専門性を高める研修の充実を図る。

〔職員への助言・指導及び支援体制づくり〕

事業が具体的な目標のもとに計画的に推進できるよう、事業を担当する職員への専門的な助言・指導や支援のための体制づくりに努める。

(2) 区拠点館（区中央市民センター）の基本的な役割

① 区内の生涯学習事業の推進

〔区内の生涯学習事業の推進と地域リーダーの育成〕

区内諸団体及び区役所などとの連携を図り地域課題に取り組むことで、区内の生涯学習事業を推進するとともに、区内の地域リーダーの育成に努める。

〔区内の市民の学習・グループ活動への支援〕

区内の生涯学習活動を幅広く支援するため、生涯学習情報の収集と提供、及び相談事業を充実させるとともに、活動する市民・団体等のグループ化やネットワーク化への支援に努める。

② 区内地区館事業への支援

〔関係諸団体との連携の推進〕

地域団体・NPO・ボランティア団体などの民間諸団体や、区役所、学校などの公共機関等との連携によって地区館事業が活発に展開されるよう、地区館を積極的に支援する。

〔家庭及び地域での教育力向上、ジュニアリーダーの育成支援〕

地域での子育て支援や子どもが育つ環境づくりのために、区内の民間諸団体や行政の担当課、嘱託社会教育主事研究協議会支部とも十分連携し、地区館での家庭及び地域社会の教育力の向上とジュニアリーダーの育成が図られるよう、その支援に努める。

〔地区館職員の人材育成〕

定期的な連絡会の開催や、区内の地区館が連携して進める事業の支援など、区内の地区館職員の人材育成が図られ、かつ効果的な事業が推進されるよう働きかけを行う。

③ 指定管理者制度下での区内地区館業務のマネジメントの推進

地区館業務の目的、各事業の目標及び要求水準をもとに、それぞれの地域ニーズを地区館職員とともに把握し、より効果的な事業の実施に向けた指導・助言を行うとともに、事業の結果についての的確な評価を行うことで、地区館事業の向上が図られるよう支援に努める。

(3) 地区館（各市民センター）の基本的な役割

【取組指針】

社会教育施設としての地区館に求められる下記の機能は、相互に関連を持ちながら総合的に発揮されなければならない。それにより、これまで市民センターに関心のなかった人々が、地区館事業に様々な形で関わることができ、地区館が多くくの市民の参画を得ながら地域づくりの拠点として活発に機能することになる。

また、地区館の職員は、区拠点館の支援を受けつつ、これらの機能が総合的に発揮されるよう「きっかけ」をつくり、「仕掛け」「働きかけ」を行い、地域住民や地域の諸団体等と協働して事業を展開していくものとする。

① 地域住民本位の生涯学習拠点機能

〔学習ニーズ・地域課題を踏まえた特徴ある事業の実施〕

地域住民を対象にしたアンケート調査や懇談会、日々の地域情報の収集などを通して地域住民の学習ニーズと地域課題を把握し、目的を明確にした上で特徴ある事業を実施する。

〔事業の魅力づくりと参加しやすい条件づくり〕

事業の企画にあたっては「学びを通じての人と人とのつながり」を基本方針とし、地域住民が楽しく参加したくなるような工夫（魅力づくり）や参加しやすい条件を整えるよう努める。

〔市民参画の推進と市民の活動の育成・支援〕

市民自らが学ぶことで主体的な活動が地域で多様に展開できるよう、市民参画による事業を積極的に推進するとともに、地域を基盤としたサークル活動や市民活動の育成・支援に努める。

② 地域の交流・拠点機能

〔地域住民の交流の場、及び子どもたちの育成・交流の場の確保〕

多様な地域住民が気軽に集い、楽しく交流のできる場と機会を設ける。特に、地域の中で見守られ育まれるべき次代を担う子どもたちのための子育て支援と青少年の育成・交流の場の確保に配慮する。

〔様々な地域ネットワークの拠点機能＝プラットフォームの確保〕

地域にあるさまざまな団体、NPO、ボランティア組織等が共通の地域課題のもとに集まれるネットワークの拠点としての機能（プラットフォーム）が持てるよう努める。

③ 地域のコミュニティづくり機能

〔コミュニティ意識の醸成〕

地域住民と協働し、地域の歴史・自然・行事などの地域資源を活かした地域文化の継承と創造の事業に継続的に取り組むとともに、地域の魅力と課題の発見を通して、多くの地域住民が地域と関わることができるよう積極的に働きかけ、地域住民のコミュニティ意識の醸成を図る。

〔地域活動を担う人材の育成〕

地域課題を踏まえ、地域の関係団体やNPO等と連携しながら、地域での多様な活動を担う人材の育成に努める。

〔地区館事業に市民が主体的に関わる仕組みづくり〕

地域に根差した地区館事業を市民と協働で推進するために、地域住民が地区館事業に主体的に関わる仕組み（地域住民による地区館ごとの運営協議会等）を創り活かす。

④ 地域のコーディネート機能

〔地域にある機関・団体等のネットワーク化〕

P T A・町内会・商店街等の各種地域団体、NPOなど地域に関わる機関や団体、学校や区役所等の公共機関と連携し、地域住民とともに地域課題に取り組むためのネットワークを構築する。

〔行政機関と地域との仲介・調整の窓口機能の分担〕

“地域の声”を施策や事業につなげるために、行政・専門機関等と地域の諸団体等との交流拠点施設としての仲介および調整の窓口機能を担う。

⑤ 地域の情報ステーション機能

〔地域の資源・財産の保管と公開〕

地域にあるさまざまな資源（歴史、文化、自然等）や財産（祭礼行事、施設、人材等）などに関する情報を多様な媒体に整理・保管し、地域住民が必要に応じて閲覧し活用できる仕組みを整える。

〔地域情報の収集と提供〕

地域内の学校や区役所などの公共機関からのお知らせや催し情報のほか、地域団体や各種サークル、NPOなどからの活動情報や募集情報などを随時収集・整理し、適時、地域住民に提供する。

【仙台市市民センターの施設管理の運営方針】

(1) 市民サービスの向上

① 利用者の立場に立ったサービスを行う

② 利用者のプライバシーを保護するよう十分配慮する

(2) 市民交流スペースの確保とオープンスペースの活用

市民の誰もが気軽に立ち寄り、交流のできる場と機能を確保する。

地区館のオープンスペース等に関しては、地域住民にとって魅力ある場となるよう、地域住民の意向を十分に踏まえた各館独自のルール及び運営体制を設けるなど、その利用を促進する。

(3) 地域優先への配慮

地区館は、地域づくりの拠点施設であることから、地域住民の利用が優先されるよう努め、そのための仕組みづくりを行う。

3. 平成 21 年度市民センター事業体系（教育局・地区館）

＜教育局直轄事業体系＞

大分類	中分類	小分類
01 生涯学習事業に係る企画・調査・研究 市民センターによる調査研究を通し、本市の課題を明らかにすることにより、市民が様々な課題に応じて学べるようになる。	01 基礎調査の実施	01 地域別基礎調査
		02 生涯学習事業に係る学習情報の収集・発信に係る基礎調査
		03 その他関連調査
	02 生涯学習事例研究事業の実施	01 地域連携事業に係る事例研究
		02 学習成果社会還元に係る事例研究
		03 市民企画事業に係る事例研究
		04 その他当該事業に係る事例研究
	03 全市重点事業等の分析・評価	01 区内地域連携事業に係る分析・評価
		02 区内学習成果社会還元事業に係る分析・評価
		03 生涯学習委託事業に係る分析・評価
	04 調査・研究成果の活用	01 報告書作成及び報告会の開催
		02 生涯学習事業委託先への情報提供及び実施指導
		03 研究機関・教育機関への調査研究事業の提供
		04 生涯学習事業要求水準書作成
02 生涯学習の質的向上を図る 市民が質の高い市民センター事業を受けられるようになる。	01 広域規模の学習プログラムの実施	01 生涯学習ボランティア養成・育成事業の実施
		02 ジュニアリーダーの養成・育成事業
		03 インリーダー研修会
		04 家庭教育講座
		05 学びのコミュニティ推進事業
		06 学社連携・融合事業
		07 市民団体・NPO・企業連携
		08 市民参画事業
		09 その他
	02 市民センター事業運営への市民の意見反映	01 パートナーグループ事業の開催
		02 公民館運営審議会の運営
	03 職員の資質向上・企画力向上	01 職員研修
		02 テーマ別検討会
		03 職員会議
		04 地区館事業に係る指導・支援事業
03 情報提供 市民が学習に必要な情報をいつでも得られることで、主体的に学べるようになる。	01 学習情報収集提供	01 学習情報の提供・相談
		02 学習情報の収集
		03 生涯学習情報誌の発行
		04 ホームページによる学習情報の発信
04 委託事業 市民が様々な課題に応じて主体的に学習活動や社会参加できるようになる。	01 指定管理者への委託事業	01 ライフステージに応じた課題学習
		02 時代に応じた新しい課題の学習
		03 学習情報の提供・相談
		04 学習成果の社会還元事業
		05 学びの活動の広がる事業の実施
		06 パートナーグループ事業の開催
09 その他の業務		予算管理
		業務マネジメント
		事業概要作成
		社会教育実習生等の受入
		宮城県公民館連絡協議会運営
		全国公民館大会
		庶務等

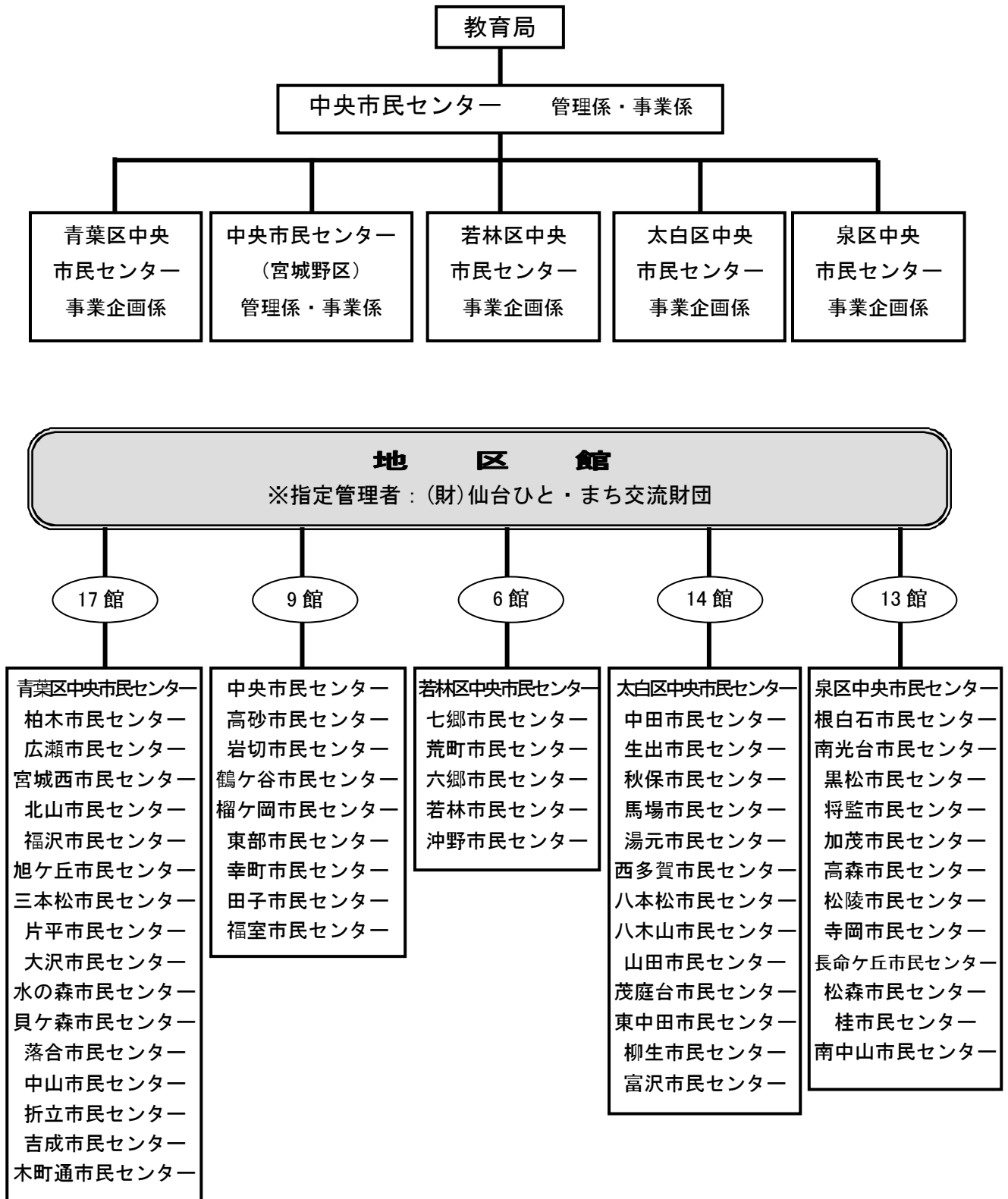
＜地区館（財団）事業体系＞

大分類	中分類	小分類
01 市民が様々な課題に応じて学べるようになる	01 市民がライフステージに応じた課題について学べるようになる	01 子育て支援に関する講座の開催
		02 家庭教育に関する講座
		03 家庭教育相談の開催
		04 インリーダー研修会の開催
		05 世代間の交流を進める事業の開催
		06 老壮大学の開催
		07 高齢化社会に対応した講座の開催
		08 自然・教養・文化に関する講座の開催
		09 健康づくりに関する講座の開催
		10 地域の素材を学習する講座の開催
	02 市民が、時代に応じた新しい課題について学べるようになる。	01 国際化時代に対応した講座の開催
		02 情報化時代に対応した講座の開催
		03 防災に関する講座の開催
		04 環境保全に関する講座の開催
		05 男女共同参画に関する講座の開催
		06 福祉に関する講座の開催
		07 ボランティア・奉仕活動に関する講座の開催
		08 社会力を高める講座
02 市民が、学習に必要な情報を得ることで、主体的に学べるようになる	01 市民が、市民センターで学習相談・情報提供を受けられるようになる	01 学習情報の提供・相談
		02 学習情報の収集
		03 サークル活動支援
	02 市民が、市民センターの講座情報をいつでも得られるようになる	01 市民センターだよりの発行
		02 生涯学習情報誌の発行
		03 ホームページによる学習情報の発信
		04 報道機関による情報の提供
03 市民が学んだ成果を地域に生かせるようになる	01 市民が、生涯学習ボランティアとして活動できるようになる	01 ジュニアリーダーの育成支援
		02 ボランティア養成講座の開催
		03 ボランティア活動の支援
	02 市民が、自らの知識や経験を生涯学習事業に生かせるようになる	01 市民による地域情報の発信
		02 市民が企画・運営する講座の実施
		03 生涯学習事業の企画の公募
04 市民が、地域で学びの活動を広げるようになる	01 学校、地域、市民活動団体が、地域活動を通して、連携できるようになる	01 学校と連携した事業の実施
		02 地域の学習団体と連携した事業の実施
		03 学びのコミュニティ事業の実施
	02 市民が、自らの学習活動を生かして、地域づくり・人づくりに参加できるようになる	01 まちづくりに参加する事業の実施
		02 地域間交流事業の開催
	03 市民が、地域の人やほかの学習団体と交流できるようになる	01 市民センターまつりの開催
		02 市民の学習発表会の開催
		03 市民交流事業の開催
05 市民が、質の高い市民センター事業を受けられるようにする	01 市民の意見が市民センターの運営に反映できるようにする	01 パートナーグループ事業の開催
		02 アンケート・調査研究による市民ニーズの把握
06 その他の業務	01 社会教育実習等の受入業務	01 職場体験学習の受入

＜事業区分（教育局・地区館共通）＞

事業区分	定義
「家」・・・家庭教育推進事業	子育て世代が育児や家庭生活について学ぶことができたり、親子のふれあいを深めることをねらいとする事業 (例)子育て支援講座／親子ふれあい教室／食育講座／思春期親学／プレパパママ講座／絵本よみきかせ講座
「青」・・・青少年健全育成事業	青少年が様々な体験を通じて学ぶ力を身につけることによって心身の健やかな成長を培ったり、仲間づくりや親子・異世代の交流を図ることをねらいとする事業 (例)インリーダー研修／子どもの広場／キッズクッキング／夏休みチャレンジ講座／子ども体験塾
「成」・・・成人学習振興事業	幅広い教養を身につけたり、さまざまな課題を学習する機会を提供するとともに、共通の課題や関心を持つ市民(受講者)相互の仲間づくりや交流を図ることをねらいとする事業 (例)自然体験教室／エコライフ講座／裁判員制度講座／男の料理教室／パソコン・デジカメ教室／社会教育実習生の受入
「高」・・・高齢者学習振興事業	長寿社会の中で、高齢者が学習を通じた仲間づくりや交流によって、生きがいを持って社会生活を送ることができるようになることをねらいとする事業 (例)明治青年大学／老壮大学／健康づくり教室／介護予防教室／シニアパソコン教室
「地」・・・地域社会教育推進事業	市民や地域の団体等がイベントや体験活動などを通して、地域住民との交流や地域活動の推進を図ることをねらいとする事業 (例)市民センターまつり／地域懇談会／学びのコミュニティ関連事業／地域防災教室／社会学級連携事業／地域(自然・伝統)を知る講座
「民」・・・民間指導者育成事業	自らの学習成果や経験を生涯学習ボランティアとして社会に生かす意欲のある人材を養成したり、そのような活動を支援することをねらいとする事業 (例)各種ボランティア育成講座／各種ボランティア活動支援／ジュニアリーダー育成支援／子ども広場サポーター養成講座
「学」・・・学習情報提供・学習相談事業	生涯学習の推進に必要な人材や施設、学習機会、サークルなどの情報を収集し市民に提供するとともに、学習相談に応じる事業 (例)学習情報提供・相談／サークル活動支援／サークル体験／市民センターだより発行／地域学習・人材情報収集

4. 仙台市市民センターの構成図





教育局の事業

1. 市民センター事業（教育局直轄事業）の実施体制

市内 59 館の市民センターは、区の拠点館である「各区中央市民センター」と、「各市民センター（地区館）」に分かれる。各区の中央市民センターでは、教育局が教育局直轄事業（生涯学習事業等）を、指定管理者である（財）仙台ひと・まち交流財団が地域コミュニティ活動支援事業や社会教育事業等地区館事業を実施し、その他の地区市民センターでは（財）仙台ひと・まち交流財団が地区館事業（地域を対象とした生涯学習事業及び貸し館事業）を実施している（主な事業内容については各館頁を参照）。

拠点館のうち、中央市民センターは市内の市民センターを統括し、公民館運営審議会の運営や指定管理業務の管理評価を行いながら事業の充実に努めている他、全市的な観点から、市民センター事業の調査研究開発を行っている。さらに、市民一人ひとりの多様な学習ニーズに対応するため、地域学習情報ネットワークの推進、データベースの維持管理、及び情報コーナーの運営を行うとともに、市民センター職員の資質向上のための研修などの業務を行っている。

また、区中央市民センターにおいては、各区拠点館として区内の市民センター事業の企画運営に関する指導のほか区内市民センターの連絡調整等を行っており、中央市民センターは宮城野区の区拠点館としての役割も果たしている。

中央市民センター・区中央市民センター・地区市民センターが、それぞれ役割を果たしながら、市民の学びを通じた地域づくり・人づくりを図る体制となっている。

【平成 21 年度 事業区分別事業数（教育局直轄事業）】

（※）市民センター間の共催・連携事業も各センターに1事業ずつ計上

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合 計
家庭教育推進事業	1	1	0	4	1	7
青少年健全育成事業	7	4	7	3	4	25
成人学習振興事業	4	1	2	2	3	12
高齢者学習振興事業	0	1	0	0	0	1
地域社会教育推進事業	5	5	9	6	8	33
民間指導者育成事業	2	10	3	6	2	23
学習情報提供・ 学習相談事業	5	10	2	2	0	19
	24	32	23	23	18	120

2. 中央市民センターの事業

託児ボランティア養成・育成事業

【事業概要】

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は、市民参画による市民のためのものとしてボランティアの主体的な運営を前提としており、その中で活躍する託児ボランティアの養成と育成及び支援のための事業を市民センターで実施している。

【託児ボランティア養成・育成事業一覧】

講座名	講座回数	受講者数
託児ボランティア養成講座	5	21(実人数)
託児ボランティア養成講座in若林	5	23(実人数)
託児ボランティアフォローアップ研修	2	109
活動支援（全体調整会、連絡会）	3	99
合 計	15	252

【託児ボランティアグループ一覧】（平成 21 年 4 月 1 日現在）

グループ名	設立年月日	連絡館	会員数(実働数)
アリスの会	H5.7	若林区中央市民センター	8(5)
クリップ	H9.4.1	六郷市民センター	8(4)
ぐるんぱ	H18.12	中央市民センター	10(8)
くれよん	H20.3	中央市民センター	6(5)
こんぺいとう	H7.10.1	茂庭台市民センター	1(1)
さくらんぼ	H14.5.8	青葉区中央市民センター	6(3)
たんぼぼ	H4	富沢市民センター	10(8)
ちゅうりっぷ	H13.3.14	寺岡市民センター	18(13)
てっての会	H6.4	黒松市民センター	14(12)
でんでんむし	H12.3.22	太白区中央市民センター	11(6)
にんじん	S59.7.9	東部市民センター	7(6)
ひまわり	H9.8.1	水の森市民センター	7(5)
プーさん	H3.1.1	水の森市民センター	4(4)
ポッケの会	H2.3.25	広瀬市民センター	10(5)
合 計			120(85)

【平成 21 年度実施 託児付事業一覧】

区	センター名	事業(講座)名	講座回数	受講者	託児数(子ども)	託児利用者
青葉区	青葉区中央	嘱託社会教育主事共催事業	3	123	5	5
	青葉区中央	おいでよ、パンダクラブへ～広げよう楽しい子育ての輪	11	173	22	15
	柏木	子育てほっとサロン	3	24	9	8
	福沢	社会学級共催事業「ハーブで豊かな心を」	1	60	4	4
	旭ヶ丘	ママからシンデレラへ ～素敵に輝くための魔法のレッスン～	2	56	11	11
	旭ヶ丘	市民参画型事業「なんちゃって子育てエイジ」	11	43	7	5
	三本松	子育て支援講座	4	93	14	14
	三本松	市民企画講座「子育てママのネットカフェ」	1	46	25	25
	水の森	子育て支援講座「笑顔のママって大好き！」	4	96	23	22
	貝ヶ森	食育講座-お口の健康と食事【託児付き】	3	19	8	7
	貝ヶ森	みんなで気軽に体験学習【託児付き】	1	16	5	5
	広瀬	みんなで子育て子愛ネット	5	35	9	9
	宮城西	ママと遊ぼう	4	44	7	7
	中山	みんなで子育て～聞きたい！外国の子育て事情～	2	19	9	5
	中山	教えて！みやぎの郷土料理	6	90	12	10
	折立	暮らし彩り講座	6	78	5	5
	大沢	大沢子育て広場「ほっとママカフェ」	6	74	8	8
	大沢	絵本のすすめ「子どもにとって絵本とは？」	4	32	4	4
	大沢	市民企画講座「お母さんの企画会議」	6	18	4	4
	落合	女性のための健康講座	2	36	4	4
	吉成	子育て上手なママと頼もしいパパ	3	40	9	9
	吉成	クッキング広場	4	69	9	9
	木町通	ママの息抜きほっとカフェ～Part1～	3	43	22	18
	木町通	ママの息抜きほっとカフェ～Part2～	3	25	13	13
宮城野区	中央	託児ボランティア養成講座	5	70	13	13
	中央	託児ボランティア養成講座 in 若林	5	99	21	18
	中央	託児ボランティアフォローアップ研修	2	109	7	7
	中央	子育てママのハッピーライフ	5	53	14	12
	中央	子育てママのためのマネー講座 ～収入が増えない時代の家計戦略	2	44	17	15
	中央	グラリ！の時に幼児を守るための講座 ～マンションでの地震に備える	1	14	13	12
	高砂	育児の中の自分みがき	4	43	36	19
	高砂	ママの食育講座～お弁当とおやつを作ろう	2	28	22	11
	岩切	岩切 DE 子育て～もっと知って岩切	5	203	26	23
	鶴ヶ谷	子育て講座「のびのびゆっくり子育て」	6	102	20	11
	鶴ヶ谷	からだ・こころ・リフレッシュ	3	58	4	2
	榴ヶ岡	ママのリフレッシュタイム	4	44	13	13
	榴ヶ岡	お米料理で食育	3	30	1	1
	東部	子どもあつての親～もっと子どもと話そう～	2	34	8	6
	幸町	元気で子育て親育ち講座	3	30	23	11
	田子	すてきなママのいろいろ TIME	3	32	18	14
	福室	子育てママのふくむろ ほっと Café	3	31	18	11
	福室	骨盤体操で身も心も美しく！	2	35	7	6
若林区	若林区中央	わかちゅう子育て応援クラブ	5	45	7	7
	荒町	ママの企画会議室	9	44	21	5
	荒町	子育ての輪 2009	3	59	10	10
	荒町	社会学級連携事業～つながる力を広げよう～	4	32	3	3
	六郷	ハートフル六郷	7	270	2	2
	沖野	読み聞かせボランティア養成講座	4	104	2	2
	若林	ママが元気になる講座	4	88	25	12
	若林	市民企画会議 ママが元気になる講座	4	14	12	3

区	センター名	事業(講座)名	講座 回数	受講者	託児数 (子ども)	託 児 利用者
太 白 区	太白区中央	太白区生涯学習ボランティア団体等活動報告・交流会	3	13	5	5
	太白区中央	家庭教育講演会	1	65	16	12
	生出	親子でリラックス	3	27	11	11
	中田	子育てすこやかランド	4	77	10	9
	中田	作って食べて地球に還してみんなで食のリサイクル	2	69	3	3
	西多賀	すこやか子育て	4	41	11	9
	西多賀	豊かな心を育てる子育て	1	40	9	8
	八本松	国際理解講座「もっと知りたいブラジル」	2	61	8	7
	八本松	八本松子育てカフェ ー地域の情報を発信しようー	27	474	10	10
	八木山	在仙外国人向け日本語講座「日本語ティールーム」	70	1280	18	6
	山田	子育てワクワク玉手箱	3	24	9	8
	茂庭台	ママのための託児付ヒップホップダンス	5	47	9	8
	東中田	子どもの心の聴き方と接し方	3	36	11	10
	東中田	ママのひといき講座	4	32	10	5
	東中田	楽々クッキング	4	52	4	2
	柳生	本から学ぶ「子育て術」	3	29	18	18
	柳生	柳生・西中田愉快な仲間たちの「地域お宝マップづくり」	7	29	4	2
	秋保	郷土愛を育む「郷土料理と秋保の行事食を学ぶ」	3	40	2	1
	富沢	きらきら子育て倶楽部	6	176	38	15
	富沢	市民企画「市民センターまつりに参加しよう」	10	50	14	4
泉 区	泉区中央	泉環境フォーラム運営支援	16	407	13	6
	泉区中央	色彩との出会い	3	43	3	3
	泉区中央	ママの休息时间～私の笑顔で家族がハッピー～	2	44	13	11
	泉区中央	言葉をつむぐ朗読の調べ～みんなでまざらいん～	1	102	4	4
	根白石	読み聞かせ講座「読み聞かせ初級入門」	4	27	4	4
	南光台	幼児の救急・応急対応講座～いざという時のために～	2	16	16	16
	南光台	「南光台スマイルひろば企画委員会企画」南光台スマイルひろば～笑顔で子育てをしよう！～	3	34	15	13
	黒松	一緒に育とう！わたしと子どものいい関係 2009	4	26	9	8
	黒松	食育講座 楽楽食事～安心・安全な食生活～	2	16	5	5
	黒松	社会学級共催事業 「民話・むかし話を聞いて生活の知恵を学ぶ」	1	26	3	3
	将監	市民企画講座「わくわくママサロン」	4	59	20	20
	将監	ボディメンテナンス～体操でリフレッシュ～	3	77	14	12
	将監	再就職マインドアップセミナー	2	48	12	11
	将監	市民企画会議「わくわくママサロン」	5	27	7	6
	加茂	市民企画講座「子育てママのリフレッシュサロン」	2	40	5	5
	高森	にこにこ子育て	4	61	15	14
	高森	おはなし広場	3	57	3	3
	松陵	社会学級連携事業「ハーブに学ぶエコと健康」【託児つき】	1	28	7	7
	松陵	手話ソング'09	4	41	3	3
	寺岡	ようこそ寺岡・紫山へ～転入者のおしゃべりサロン～	5	56	3	3
	寺岡	ことばのちから	4	85	12	12
	寺岡	市民企画講座「Soulful singing～ゴスペルを歌おう～」	4	89	3	3
	長命ヶ丘	子育て講座	5	221	20	17
	松森	子育て講座	4	73	9	11
	桂	ママのいきいきほっとタイム	4	106	10	10
	桂	国際交流「中国を知る」	3	30	2	1
	桂	ママの手作り企画～広げよう和・話・輪は地域から～	5	22	5	5
	南中山	ママのほっとサロン	11	375	9	9
合 計			474	7,965	1,075	853

図書ボランティア育成事業

【事業概要】

全市民センターのうち 29 館の図書室が、市民ボランティアの協力によって図書の貸し出し等の運営を行っている。

中央市民センターでは、より身近で利用しやすい図書室環境の整備のため、図書ボランティアのスキルアップの機会として研修会を開催している。「子ども読書活動推進計画」の趣旨を汲み、市民センターや児童館などの各図書室で活動する方を対象に実施しており、意見交換などを通してボランティア同士の連携構築の機会ともなっている。

【図書ボランティア一覧】（平成 22 年 3 月末現在）

活動館(図書室・図書コーナー)	グループ名	ボランティア数
福沢市民センター	カンナの会	14
三本松市民センター	図書ボランティアぽけっと	7
落合市民センター	葉の会	19
片平市民センター	(グループ名なし)	7
水の森市民センター	(グループ名なし)	24
貝ヶ森市民センター	ひまわり	10
中山市民センター	中山児童館図書ボランティア	9
大沢市民センター	コスモス文庫	14
吉成市民センター	図書ボランティアサークル「たんぽぽ」	12
木町通市民センター	(グループ名なし)	10
岩切市民センター	しおりの会	13
田子市民センター	田子図書ボランティア	6
東部市民センター	芽ぐみ 他	7
高砂市民センター	かすみそう	13
荒町市民センター	図書ボランティアみちくさ	10
七郷市民センター	図書ボランティア	12
沖野市民センター	図書ボランティア	8
若林市民センター	若林子育て支援クラブふぁみーゆ	20
中田市民センター	ブックスフレンド中田	18
八木山市民センター	(グループ名なし)	45
山田市民センター	(グループ名なし)	14
富沢市民センター	富沢市民センター図書ボランティアの会	40
東中田市民センター	東中田図書ボランティア	7
茂庭台市民センター	(グループ名なし)	13
西多賀市民センター	(グループ名なし)	16
八本松市民センター	図書ボランティアコスモス	12
柳生市民センター	ブックポケット	10
松森市民センター	(グループ名なし)	12
桂市民センター	そよかぜ	8
合 計		410

【研修内容】

回	月 日	内 容	講 師	参加人数
1	2 月 9 日	講話「図書ボランティアとしての心構えや役割」	仙台市泉図書館 菅野拓生	28
2	2 月 16 日	施設見学「仙台市泉図書館 子供図書室」		21
3	2 月 23 日	情報交換会「テーマ別グループでの意見交換」		21
合 計				70

手話・要約筆記付事業

【事業概要】

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、耳の不自由な方がさまざまな学習の機会に参加できるよう、講座に手話・要約筆記を付設している。

【平成 21 年度実施 手話・要約筆記付事業一覧】（手話通訳・要約筆記必要者数）

センター名	事業(講座)名	講座回数	受講者	手話通訳利用者数	要約筆記利用者数
青葉区中央	ふれあいいきいき講座	2	30	13	2
片平	聴覚に障害がある方を対象にした講座 「見る見るわかる」講座	1	17	17	
折立	懇話会意見交換会	3	28	1	
吉成	支え合う地域の防災講座	2	83	1	1
鶴ヶ谷	ことぶき大学	11	784	5	1
幸町	手話通訳付 くらしの講座	2	29	26	
荒町	荒町いきいき講座	2	61	26	
荒町	伝統の仙台七夕(手話要約筆記付き)	6	101	13	
太白区中央	伝統の仙台七夕にチャレンジ	7	150	3	
西多賀	あなたのための防犯対策	1	13	1	
松陵	障がい者学習支援講座 「松陵ウエルフェアサロン」	3	53	※	※
青中	あおばカレッジ	9	259		3
折立	キャップハンディ体験 「お手伝いしましょうか？」	2	62		1
長命ヶ丘	夫婦共学	7	87		1
合 計		58	1,757	106	9

※松陵市民センターの手話・要約筆記付講座については、入場フリー形式のため正確な受益者数は把握できなかった。

仙台明治青年大学

【事業概要】

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者(61歳以上の仙台市在住者)が学習をさらに深め、豊かな社会生活を営めるよう、自主的学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などを開催する。本科生として6年間、その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成21年度は新入生70人が入学し、在籍者数795人となった。

【主な活動】

活 動	活動内容	年間回数	参加延人数
学習会	○定期講座 太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に、年間16回開催。 1回あたりの平均出席者数は537人であった。政治経済、文化芸能、環境、健康などをテーマに、外部講師を依頼し実施した。 ○野外活動 1回 138人 山形県米沢方面 ○対話集会 2回 690人 「大学で学びたいこと・楽しみたいこと」をテーマに、学生間で意見交換を行った。 ○大学祭 4回 1,292人 楽楽楽ホール、仙台市中央市民センターを会場に実施。 サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典 4回 ・入学式、開講式 ・新年の集い ・修了、閉講式	26	12,031
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊。 ・文芸誌「老学文苑」の発刊	—	—
ボランティア活動	・近隣小学校、児童館で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を指導。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応してきた。 ・学習会の度にワンコイン募金活動を行っている。	—	—

我が子と向き合う講座

【事業概要】

平成20年度に市内の地区館を対象に実施された「家庭教育推進に関するアンケート」を基に要望が多かった「親子関係・親子のコミュニケーション」「携帯電話やインターネットの危険性」、さらには「不登校」にスポットを当てて講師選定をおこない実施した。特に少子高齢化社会の中では、急激な社会情勢の変化に伴い、我が子といえども子育ての関わり方が難しいと感じる大人も少なくない。そこで子どもたちの特徴をいろいろな視点から学び、子育ての一助とするために実施している。

【講座内容】

	講 座 名	講 師	参加者数
1	我が子と向き合う講座第1回 「親子のコミュニケーション」	宮城教育大学 教授 佐藤 静	35
2	我が子と向き合う講座第2回 「携帯電話・インターネットの光と影」	仙台市立折立小学校 教頭 三塚 修	16
3	我が子と向き合う講座第3回 「不登校の子どもたちからのメッセージ」	仙台市適応指導センター 指導主事 安藤 仁	31
合 計			82

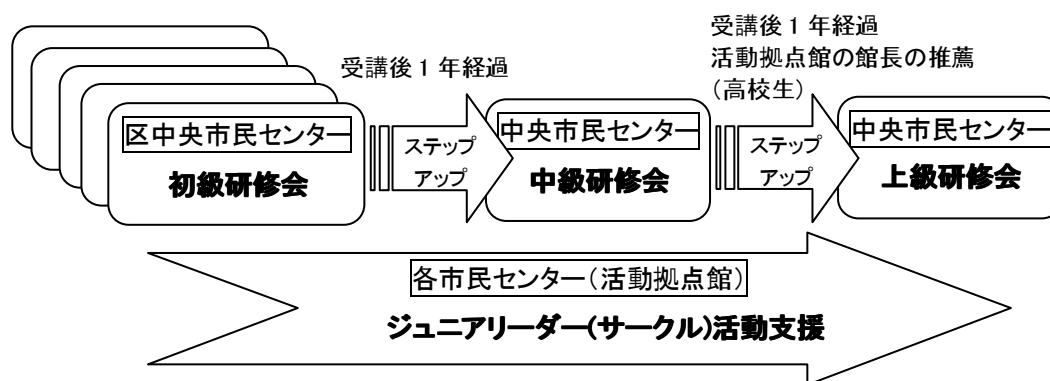
ジュニアリーダー育成事業

【事業概要】

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生のこと。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、このような活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子供を対象としたイベントの企画・実施やその他のボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした活動が、ジュニアリーダー自身の人格形成にも役立っている。

市民センターでは、ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初心者を対象とした初級研修会、中央市民センターにおいてステップアップ研修となる中級研修会・上級研修会を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援や、ジュニアリーダーを指導者とした事業を行っている。



市民センター全体を通して、ジュニアリーダー一人ひとりが段階的に認定を受けながら、子ども会活動全般についての専門的な知識や技能を身に付け、自覚と責任を持って活動できるように支援し、さらに地域とのつながりの中で活動するジュニアリーダーを支援することによって、子ども会をはじめとする地域の活動を活性化している。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

- (1) 子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動
 - ・ 子ども会行事の実施及び企画の補助
 - ・ 区民まつりへの参加
 - ・ 市民センター事業への補助
 - ・ 児童館行事のスタッフ など
- (2) 自主企画(ジュニアと遊ぼう、交流会など)
- (3) 定例会及び連絡会
- (4) 各種研修会

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧（平成 21 年 5 月現在）】

区	サークル名	人数	活動拠点館名
青葉区(66 人)	MRVCくまっこ	26	広瀬市民センター
	かめ吉	7	福沢市民センター
	朝実巣あかよばく	7	北山市民センター
	連絡会『星のすなどけい』 (青葉区中央市民センター)	SKY	中山市民センター
	みずの森ーダー’S	5	水の森市民センター
	Blue Leaf Spirits	5	青葉区中央市民センター
宮城野区(22 人)	高砂フレンズクラブ	6	高砂市民センター
	岩切ガンキリーズ	5	岩切市民センター
	連絡会『Lovers』 (中央市民センター)	鶴ヶ谷YOURSELF	鶴ヶ谷市民センター
	幸町Fortune	6	幸町市民センター
若林区(25 人)	郷郷七郷	4	七郷市民センター
	六郷村	0	六郷市民センター
	ピ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	連絡会『田んぼっ区』 (若林区中央市民センター)	JARO	若林区中央市民センター
	ワンマイル荒町	5	荒町市民センター
	にゃくりん	0	若林市民センター
太白区(48 人)	なかだかな	13	中田市民センター
	おいでください	6	生出市民センター
	連絡会『ANON』 (太白区中央市民センター)	にしたがっまん	西多賀市民センター
	ながまっくる	14	太白区中央市民センター

区	サークル名	人数	活動拠点館名
泉区(57 人) 連絡会『ざわざわ森』 (泉区中央市民センター)	黒松ファミリー	8	黒松市民センター
	南光台アドバルーン	6	南光台市民センター
	根白石J.Lいなかもん	4	根白石市民センター
	将監くれよん	3	桂市民センター
	向陽台ぱびふぺパレット	2	松陵市民センター
	長命ヶ丘巣子っふ	2	南中山市民センター
	高森流星サークル	12	高森市民センター
	寺岡流星サークル	5	寺岡市民センター
	七北田JLありす	7	泉中央市民センター
	パズル鶴が丘(休止)	0	松森市民センター
	みちのく松陵	6	松陵市民センター
	加茂プレゼント	2	加茂市民センター
仙台市(218 人・31 サークル) 連絡会『ずんだ』			中央市民センター

【主な事業】 (※)初級研修・活動支援については、各区中央市民センター及び各市民センターで実施

ジュニアリーダー初級研修会(各区中央市民センターで実施)	
ねらい	新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し、青少年のボランティア活動をととして、地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な、基本的な知識と技術を習得する機会を提供する。 また、区内のジュニアリーダー相互と、新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親睦を図り、今後の活動への意欲を高める。
対 象	区内の中学生・高校生
青葉区中央市民センター	
回数・延人数	1 回 20 人
概 要	青葉区中央市民センターを会場に、講話「子どもと子ども会の現状」「ジュニアリーダーとは」、演習「子ども会プログラムの作り方」、実技「レクリエーションの進め方」等の研修を実施した。
中央市民センター(宮城野区拠点館)	
回数・延人数	1 回 22 人
概 要	「ジュニアリーダーの活動」「子ども会と安全」等の講話を通してジュニアリーダーの理解を深めた。また、現役のジュニアリーダーと昼食を作りながら、午後からは様々なレクリエーションを体験し、交流を深めた。

若林区中央市民センター	
回数・延人数	1回 32人
概 要	「ジュニアリーダーって？」現役ジュニアの生の声から役割を学ぶ。「事故なし！けがなし！」場面を想定しての安全に活動するための危険予知。「これであなたも星（スター）になれる！」集団で楽しめるゲーム研修。若林冬の鉄板昼食会で交流等。
太白区中央市民センター	
回数・延人数	1回 40人
概 要	太白区中央市民センターが仙台市嘱託社会教育主事研究協議会太白区部会と共催にて実施。ジュニアリーダーの基本を講義と実技（役割と心構え，子ども会について，安全に活動するために，レクリエーション活動について等）にて学んだ。
泉区中央市民センター	
回数・延人数	1回 20人
概 要	12月13日（日） 泉区中央市民センター ・講義と実技1「ジュニアリーダー活動って何？～意義編～」 ・講話と実技2「ジュニアリーダー活動って何？～安全編①～」 ・講話と実技3「ジュニアリーダー活動って何？～安全編②～」 ※技術研修の部 ・ 合同研修の部
ジュニアリーダー中級研修会	
ねらい	地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を積極的に推進するため、ジュニアリーダーとしてのより高度な知識と技術を習得するための研修を行なう。
対 象	初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている中学生および高校生で、市民センターの推薦を受けた者。
回数・延人数	3回 96人
概 要	仙台市中央市民センターが仙台市嘱託社会教育主事研究協議会と共催 講義・実技（ジュニアリーダーとしての心構え役割）（子ども会と安全）等
ジュニアリーダー上級研修会	
ねらい	青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場に立つべき高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行なう。
対 象	中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている高校生又は高校生の年齢に相当する者で、かつ活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、市民センターの推薦を受けられる者。
回数・延人数	3回 72人
概 要	仙台市中央市民センターが仙台市嘱託社会教育主事研究協議会と共催 ・講義「地域社会におけるジュニアリーダーの役割について」 ・演習「話し合いの方法」 ・討議「テーマ別討議 ディベート」 ・グループ別野外活動 ・ジュニアリーダー企画「交流会」 他

【事業概要】

市民の学習活動を支援するため、中央市民センターと各地区 56 館の市民センターとがコンピューターでネットワークを結び、生涯学習に関する、より新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として、平成 12 年 3 月より現行システムを運営している。

＜学習情報提供の目的＞

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的な学習支援を行う。

＜学習情報提供の手段＞

- 「仙台市生涯学習情報提供システム」を利用しての窓口での情報提供
 (システムの特色) ・各市民センターで同じ情報を提供することによって、市民は身近な市民センターで学習情報を取得できる。
 ・インターネットより、家庭や職場のパソコンから情報を取り出すことができる。(個人情報についての制限有り)
- ホームページ、地区館ブログによる情報の提供
- 事業ガイドの配布 (年 6 回(隔月)の発行 2,700 部)
 配布先(316 箇所)・・・各市民センター、図書館、博物館等の社会教育施設、
 仙台市内公立小・中学校ほか
- 市政だより、チラシ等

【仙台市生涯学習情報提供システム登録情報数】

情報種類	20 年度(21.3.31 現在)	21 年度(22.3.31 現在)
団体・サークル情報	1,281	1,162
人材・講師	701	637
事業		65
合計	1,982	1,799

【学習情報提供・相談件数】

相談内容	窓口・電話受付	インターネット経由	合 計
施 設	44	0	44
団体・サークル	929	124	1,053
事業・イベント	13	1	14
人材・講師	156	21	177
その他	124	0	124
合 計	1,266	146	1,412

【インターネット関連アクセス等件数】

市民センター全般	36,128,081 件	学習情報検索	197,186 件
年間概算閲覧者数	690,486 人	1 日あたりの閲覧者数	1,892 人
年間閲覧頁数	2,914,136 頁	1 日あたりの閲覧頁数	7,983 頁

市民センター職員研修

【事業概要】

市民センター職員の役割に対応した能力を備え、事業運営に係る技術や能力の向上を目指して、市民センターの事業に携わる職員を対象とした各種研修を実施している。

【研修内容】

研修名	回数	受講対象	参加実人数
職員研修「事例発表研究研修会」	1	(財)ひと・まち交流財団職員	79
職員研修「新任研修会」	1	新任職員	19
合 計	2	合 計	98

公民館運営審議会の運営

【事業概要】

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。現委員は、17人で、任期は、平成21年11月1日から平成23年10月31日までの2年間となっている。平成21年度は審議会を7回開催した。
(委員名簿及び審議経過は「資料編」参照)

《事業一覧》 ※全市的な事業のみ記載

事業区分	事業名	事業の主な内容	回数	参加 延人数
家	我が子と向き合う講座	様々なテーマで講座を開催し、子育てのヒントを提供した。	3	82
高	仙台明治青年大学	高齢者の自主自立と親睦を目的に、学習会、同期会、サークル活動を実施。	26	12,038
民	図書ボランティア研修会	市民センター図書室など各図書施設で活動するボランティアの資質向上を図り、市民によりよく利用される図書室環境を整備することを目的として、スキルアップのための研修会、情報交換会等を実施した。	3	70
民	託児ボランティア養成講座	市民センター託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。	5	70
民	託児ボランティア養成講座 in 若林	市民センター託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。より地域に密着したボランティアを育成するため、区中央市民センターを会場として開催した。	5	99
民	託児ボランティアフォローアップ研修	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施。	2	109
民	託児ボランティア活動支援(連絡会・調整会の開催)	市民センターで養成された託児ボランティアに対し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活動を支援した。	3	99
民	ジュニアリーダー上級研修会	仙台市ジュニアリーダーをまとめ、リードする立場にある高校生ジュニアの資質と技能の向上を図った。	3	87
民	ジュニアリーダー中級研修会	ジュニアリーダーとしてより高度な知識や技能を習得し、地域の子ども会における指導者としての資質を高めた。仙台市ジュニアリーダーの初級研修会修了者が対象。	3	99
民	市内ジュニアリーダー活動支援	仙台市のジュニアリーダーに対して、定例会を開催し日常的な活動や企画への支援をした。	27	514
学	事例研究事業	区拠点館で実施している先進モデル事業、各地区館で実施している重要課題解決のための事業など、時代の流れに対応した事業の分析・検証を行った。また、その結果により職員を対象とした研修を実施し、職員の意識、及び事業企画運営に関する技術の向上を図った。	1	79
学	生涯学習事業要求水準書の作成	生涯学習事業に関する要求水準書を作成した。	1	
学	公民館運営審議会の運営	市民センターにおける各種事業の企画実施について調査審議を行う公民館運営審議会を運営した。		
学	新任職員研修会	4月に新しく配属された職員(教育局、財団、地区館)を対象に市民センターを基本を学ぶ研修会を実施。	1	19
学	テーマ別検討会の実施	各テーマごとに各区中央市民センターの担当者が定期的に検討会を実施し、テーマに沿った事業の調査、研究を行った。		
学	各種職員会議の開催	定期的にセンター長会、係長会等を実施。		
学	市民センター事業ガイド	講座等参加者の募集中、募集予定がある事業について、57館分を1冊の冊子にまとめて、市民へ情報を提供。(2ヶ月に1回)	6	
学	ホームページ作成	各市民センターのホームページを管理し、必要に応じて、メンテナンス、ソフト活用研修等を実施。		
学	事業概要の作成	前年度の市民センター事業の概要をまとめた「市民センター事業概要」を作成。	1	
合 計			91	13,397

3. 各区中央市民センター（区拠点館）の事業

区中央市民センター（区拠点館）では、区内の各市民センター支援の他、生涯学習事業に係る先進的な事例研究事業を実施している。

（１）学びのコミュニティづくり関連事業

これまでの学校教育・社会教育といった枠組みを越え、一人一人の市民・家庭・学校・地域団体・市民活動団体・企業・行政などがパートナーシップをもつことによって、新しい学びの仕組みを作り上げていく。

- ・ 地域の共有財産である学校や市民センターなどを核に、子どものすこやかな育ちを支援する多様な人間関係を地域に育てる。
- ・ 学校、家庭、地域社会がそれぞれにもつ教育機能を、より相乗的に発揮させる。

（２）大学社会教育実習生の受け入れ

社会教育に携わる人材の育成・支援を目的として、社会教育主事資格の取得をめざす大学生を実習生として受け入れ、施設実習や事業の企画・運営等の実践を行う機会を提供している。

<施設体験実習>

①期 間 … 平成 21 年 8 月 25 日(火)～8 月 30 日(日) 6 日間

②受入人数 … 17 人(東北学院大学生 11 人 宮城教育大学生 6 人)

(※)受入人数は 4 区計。中央市民センターで全実習生対象に講義実施後、各区中央市民センターに分かれて、それぞれ体験実習を実施。

③実習内容 … 市民センター業務全般の体験、企画講座のプログラム

※「講座企画運営実習」については、次ページからの各区中央市民センターの項で紹介

青葉区中央区中央市民センター

学びのコミュニティづくり推進事業

【主な事業】

＜まちがっこ＞	
ねらい	市中心部に位置する東二番丁小学区の地域特性をふまえ、「地域が子供を育てる」という視点に立ち、地域全体で子供を見守り育てていく基盤づくりを進めながら子どもの健やかな育ちを支援し、併せて学校・家庭・地域社会がそれぞれに持つ教育機能を相乗的に発揮し、地域の結びつきをより強めていく。
対 象	東二番丁小学校・幼稚園の児童と周辺地域企業・商店・住民
回数・延人数	9回 ・ 1,364人
概 要	地域の団体等で組織する推進委員会が、子どもと地域の大人が交流できるような事業を企画し運営した。 ＜年間予定＞ ○推進委員会（役員選任、事業計画、事業実施、評価反省等） 年7回 ○行事（「花のあるまちづくり」「放課後まちがっこ」「東二夏祭り」等） 年9回
＜ひろせ山がっこ＞	
ねらい	市西部の山間地に近い広瀬小学区及び愛子小学区の地域特性をふまえ、地域内の指導者・団体間の交流の活性化を図りながら子どもの健やかな育ちを支援し、併せて学校・家庭・地域社会がそれぞれに持つ教育力を相乗的に高め、より効果的に発揮できるようにする。
対 象	広瀬小学校及び愛子小学校児童と周辺地域の住民
回数・延人数	4回 ・ 219人
概 要	地域内の指導者・団体等で組織する推進委員会が策定する事業の実施を通して子どもの健やかな育ちを支援した。 ＜年間予定＞ ○推進委員会（役員選任、事業計画、事業実施、評価反省等） 年9回、 ○行事（「学校に泊まろう」「宮城地区まつり参加」「みんなで柿もぎ」「春を探そう」等） 年4回

大学社会教育実習生の受け入れ

<講座企画運営実習>

企画学生 …東北学院大学生(4人)

①ねらい 若者の間では「自分をうまく表現できない」「相手に思うように伝えられない」などの声をよく聞く。いわゆるコミュニケーション能力の不足である。今後、社会においてスムーズなコミュニケーションができるようになるため、本講座を企画した。

②対象 18歳以上 35歳未満

③学習内容 「表現力UP講座」～話し上手になるためにしたい3つのこと～

回	月日	時間	場所	学習内容	講師	参加人数
1	11/29	14:00 ～16:30	青葉区中央 市民センター	表現力を身に付ける若者向けワークショップ	東北学院大学教養学部 準教授 尾谷 昌則	20

生涯学習事例研究事業

【主な事業】

<商店街活性化のための学習支援事業>

ねらい	地域に根ざした生涯学習を推進していくために、地域住民や商店街関係者に対して地域活性化に向けた側面的な学習支援を行なう。市民センターが持つ学習情報やノウハウ(各種人材情報やワークショップの手法、広報など)を提供することで、地域活性化につなげていく。
対象	青葉区中央市民センター周辺の地域住民及び商店街関係者
回数・延人数	36回・656人
概要	中心市街地エリアを対象地域とした学習支援活動の一環としての事業。平成21年度は、「壱貳参(いろは)横丁」の住民が自ら活性化に向けて活動を進めるための会議やワークショップ等への支援を行った。

その他区内を対象とした特色ある事業

<ひろせ川図鑑一遊べ・学べ・水辺>

ねらい	川の特質や水の循環、川に生きる生物などを調べる活動を通して、子どもたちに広瀬川を中心とした身近な自然と環境を考える機会と場を提供する。
対象	小学生と保護者
回数・延人数	5回・112人

概 要	NPO法人「水環境ネット東北」との連携協力により、広瀬川でのフィールドワークを通して環境保全について実践的に学んだ。学習テーマと開催時期にあわせて、本流域から支流域まで場所を変えて実施。 6月「ボランティア事前学習講座」 7月「本流の水生生物」 8月「支流の石、生物」 「支流の生物、田んぼの生き物」 9月「活動のまとめ、意見交換」
-----	--

《教育局直轄事業一覧》

事業区分	事業(講座)名	主な内容	回数	参加延人数
家	嘱託社会教育主事共催事業	嘱託社会教育主事研究協議会青葉区部会と連携し、区内の生涯学習を推進するため、学社連携・融合事業、青少年健全育成事業、家庭教育事業を実施した。	3	123
青	ひろせ川図鑑	広瀬川をフィールドとし、体験学習を通じて自然環境保護について啓蒙普及する事業を実施した。	5	112
青	こどものための日本語講座	在仙の外国籍児童・生徒等を対象とする日本語習得のための事業を実施した。	34	571
青	インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童及び世話人を対象に開催するインリーダー研修会の区内調整・支援を行なった。	10	589
青	まちがっこ	東二小・幼稚園をはじめ、センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やか育ちに資する事業を実施した。	9	1,364
青	かみすぎねっと支援	学コミ事業。上杉山通小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。	1	300
青	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ	学コミ事業。旭丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やか育ちに資する事業を実施した。	13	529
青	どんどこ紙相撲大会 仙台冬場所	仙台市子ども会育成会連合会、仙台市子ども会連合会、仙台市嘱託社会教育主事青葉区部会等の連携により、子ども会の活性化、児童の健全育成・地域交流に資することを目的に実施した。	2	111
成	商店街活性化のための 学習支援事業	中心市街地エリアを対象地域とした学習支援活動の一環としての事業。平成21年度は、「壱貳参(いろは)横丁」の住民が自ら活性化に向けて活動を進めるための会議やワークショップ等への支援を行った。	36	656
成	せんだい日本語講座	在仙の外国籍生活者対象の日本語習得のための事業を実施した。	144	8,376

成	社会教育実習生企画講座	若者向け市民企画事業として、東北学院大学の社会教育実習生が講座を企画運営。講座内容は、「表現力」をテーマに、ワークショップを交えながら楽しく学ぶ機会を提供し、身近な生活・地域・税金への関心を高めた。	1	20
成	社会教育実習生受入	東北学院大学の社会教育実習生を受け入れ、若者向けの講座を企画運営し、若者の市民センターへの理解・集客・活用法等について学習した。	8	32
地	個性ある地域づくり計画策定事業	中山地区において、住民主体で個性ある地域づくり計画を策定。		
地	コミュニティモデル事業	錦ヶ丘地区において、住民が広く連携できるネットワーク組織を形成し、主体的に地域づくりを進める	5	128
地	秋の子どもの日	秋休み中の子どもの居場所づくり、及び市民センターを地域にアピールする事業を実施した。	2	390
地	ひろせ山がっこ	学コミ事業。広瀬小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。	4	219
地	青中懇話会	周辺の企業・団体、学校・幼稚園及びセンター利用者によって構成されるパートナーグループ事業を実施した。	3	24
民	JL初級・技術・交流等研修会	JLに関心のある中・高生に、JLとしての基礎知識を学ぶ研修会を実施した。	1	20
民	JL区会「星のすなごけい」開催支援	区内のJL相互の関係づくりと共に、区内のJLたちの連絡調整のための区会の支援を行った。	13	252
民	地区JL養成・育成支援、参加支援、派遣調整	区内JLの自主的活動（研修会・交流会など）の支援や要請の派遣調整を行うと共に、新たな活動拠点づくりを支援した。	136	340
学	生涯学習委託事業に係る分析・評価	区内地区館で実施した生涯学習事業について、分析、評価、助言を行った。	16	
学	事例研究事業	区拠点館で実施している先進モデル事業、各地区館で実施している重要課題解決のための事業など、時代の流れに対応した事業の分析・検証を行った。また、その結果により職員を対象とした研修を実施し、職員の意識、及び事業企画運営に関する技術の向上を図った。	1	
学	テーマ別検討会の実施	各テーマごとに各区中央市民センターの担当者が定期的に検討会を実施し、テーマに沿った事業の調査、研究を行った。		
学	各種職員会議の開催	定期的に区内地区館に関する区館長会、区連絡会等を実施した。		
学	地区館事業に係る指導・支援	区内地区館で実施した生涯学習事業について、支援を行った。		
合 計			447	14,156

中央市民センター

(※) 宮城野区拠点館としての事業

学びのコミュニティづくり関連事業

【主な事業】

＜榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会＞	
ねらい	学校・家庭・地域社会がそれぞれにもつ教育力が、より相乗的に発揮されることを目指し、事業の具体的な企画から実施へ向けた取り組みを行う。
対 象	榴岡小学校、榴岡小 PTA・社会学級・おやじ倶楽部、東華中学校、東華中親師会・文化体育後援会、宮城野中学校、宮城野中 PTA、榴岡地区児童福祉協議会、榴岡児童館、榴ヶ岡市民センター、仙台市中央市民センター
回数・延人数	8 回 ・ 183 人
概 要	＜第 1 回＞21 年度事業運営について・年間計画 ＜第 2 回＞つつじがおかワイワイ夏まつりについて ＜第 3 回＞第 1 回つつじがおかワイワイ夏まつり実行委員会 ＜第 4 回＞第 2 回つつじがおかワイワイ夏まつり実行委員会 ＜第 5 回＞第 3 回つつじがおかワイワイ夏まつり実行委員会 ＜第 6 回＞今後の事業計画について・中央市民センター事業運営懇談会 ＜第 7 回＞つつじがおかワイワイ冬まつりについて ＜第 8 回＞つつじがおかワイワイ冬まつりの反省
＜つつじがおかワイワイ夏祭り＞	
ねらい	子どもたちが主体的に体験活動や遊びを通して、地域社会と積極的に関わり、地域の人たちとのコミュニケーションをもつことにより、健やかな成長を促す。
対 象	地域の小学生・中学生及び住人
回数・延人数	1 回 ・ 450 人
概 要	榴岡小学校・東華中学校の児童生徒及び保護者・地域住人による手作りのお祭り ・小中学校合同ブラスバンド演奏 「どんどこ！巨大紙相撲大会」 ・体験コーナー…アクリルたわし、竹とんぼ、草笛、ストロー笛、水ヨーヨー、ブーメラン ・小中学生コーナー…射的、スーパーボールつり、もぐらたたき ・お楽しみコーナー…わたあめ、かき氷、麦茶

<つつじがおかワイワイ冬祭り>	
ねらい	子どもたちが主体的に体験活動や遊びを通して、地域社会と積極的に関わり、地域の人たちとのコミュニケーションをもつことにより、健やかな成長を促す。
対 象	地域の小学生・中学生及び住人
回数・延人数	1 回 ・ 200 人
概 要	<昔遊び&もちつき大会> 明治青年大学、東華・宮城野中学校生徒にボランティア要請 ・昔遊び…お手玉、あやとり、おはじき、竹とんぼ、こままわし、けん玉、羽つき、紙ふうせん、折り紙、はがき飛行機、竹鉄砲、野菜鉄砲、カルタ ・もちつき ・紙芝居 ・中学生企画「まもらいだーショー」「豆まき」 ・小学生 なぎなた披露、なぎなた体験

秋のこどもの日事業

<わくわく どきどき 秋休み子ども祭り 2009>	
ねらい	近隣に住む小・中学生に、市民センターを身近に感じてもらい、秋休み中に豊かな学びと安心・安全な居場所を提供する。
対 象	地域の小学生・中学生
回数・延人数	1 回 ・ 153 人
概 要	中央市民センターの体育館、創作室、第2音楽室を会場に、「昔遊びコーナー」「楽天イーグルス 1DAY チア教室」「射的・缶積み・魚釣りコーナー」「ふれあい動物コーナー」「ペーパークラフトで家を作ろう」等の遊びのコーナーを設置した。子どもたちに市民センターで多様な遊びができることを知ってもらい、安心・安全な居場所を提供することができた。

《教育局直轄事業一覧》

事業区分	事業(講座)名	主な内容	回数	参加延人数
青	秋の子どもの日事業	近隣に住む小・中学生に、市民センターを身近に感じてもらい、秋休み中に豊かな学びと安心・安全な居場所を提供した。	1	153
青	ジュニアリーダーと楽しく遊ぼう	小学生を対象に、ゲームや工作等の遊びの広場を提供した。	2	150
青	インリーダー研修会	次年度の子ども会リーダーと世話人向けに、行事やゲームの進め方についての講習を行った。	8	458
青	児童・生徒の職場体験・実習等受入	小学生、中学生の職場体験実習を実施し、市民センター業務に関する学ぶ機会を提供した。	5	83
成	社会教育実習生受入	社会教育を専攻している学生に対して、社会教育の現場での実習を実施し、市民センター業務に関する学ぶ機会を提供した。	7	17
地	地域づくりに関する区と市民センターの連携事業(鶴ヶ谷地区健康まちづくりプロジェクト構想策定事業)	「地域づくりに関する区と市民センターの連携事業(鶴ヶ谷地区健康まちづくりプロジェクト構想策定事業)」について、区役所担当課と担当地区館とのコーディネート機能を果たした。	4	42
地	地域づくりに関する区と市民センターの連携事業(岩切地区子育て環境整備事業)	「地域づくりに関する区と市民センターの連携事業(岩切地区子育て環境整備事業)」について、区役所担当課と担当地区館とのコーディネート機能を果たした。	17	320
地	榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	地域の諸団体、学校、市民センター等とネットワークを形成し、地域の子どもたちを健やかに育む場や機会を提供した。	8	183
地	榴岡かいわい「ワイワイまつり」	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供する。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流も図った。	2	650
地	宮城野区社会教育推進連絡会	宮城野区嘱託社会教育主事と市民センターが連携し、学校や地区市民センター、地域を結び活性化を図った。	4	209
民	宮城野区内ジュニアリーダー初級研修会	地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を推進するため、ジュニアリーダーとしての基本的な知識と技術を習得した。宮城野区の中学生・高校生が対象。	1	32
民	宮城野区内ジュニアリーダー活動支援	宮城野区のジュニアリーダーに対して、定例会を開催し日常的な活動や企画への支援をした。	13	105
学	宮城野区市民センター職員研修会	市民センター職員の資質の向上を目指して、研修会を年2回実施した。実施事業に関する事例研究を各館に発表してもらった。	1	24
学	各種職員会議の開催	定期的にセンター長会、係長会等を実施。		
合 計			73	2,426

若林区中央市民センター

学びのコミュニティづくり推進事業

【主な事業】

<通学合宿！連坊！>

ねらい	親元を離れて、異年齢の子どもたちが、共同生活しながら地域での活動を体験することで、家庭の大切さや人と人のつながりを考え、たくましく生きる力を身につける。
対 象	連坊小路小学校 4 年生以上
回数・延人数	3 回 ・ 89 人
概 要	連坊小路小学校の 4 年生以上を対象に、松音寺に 2 泊 3 日の合宿をし、自炊しながら異学年集団の共同生活を行った。昨年度から 3 年間にわたり実施する事業で今年度は 2 年目。学校から帰宅後食材の買い出し・食事づくり・後片付け・銭湯での入浴など、異学年との共同生活を通して家庭の大切さを認識することができた。

<ひがろく子ども・ふるさと再発見推進事業>

ねらい	東六郷小学校の子どもたちを対象に、地域への愛着を育むことを目的とし、その地域ならではの新たな体験活動を実施することにより、子どもたちの育成を支援する多様な新しいネットワークづくりを推進する。
対 象	小学生・地域住民
回数・延人数	3 回 ・ 250 人
概 要	東六郷小学校の子どもたち等を対象に、地域のコミュニティづくりと学びの場を提供するため、「六郷市民まつり」及び「東六郷フェスティバル」に参加した。また「仙台89ERS」バスケット観戦も行った。

大学社会教育実習生の受け入れ

<講座企画運営実習>

企画学生 … 大山由紀恵・久保亜結美・今野友明・黒須 将・鈴木芳昭・圓田牧子

①ね ら い … 講座企画を通じて社会教育事業の意義や目的を学ぶ。

②対 象 … 高校生、専門学校生、大学生

③学習内容 … 企画講座の立案(テーマ設定、実態調査、学習情報や資源の活用、講師打ち合わせ、プログラム立案、広報の方法、事業の検証等)

1. 講 座 名 「アートおどろく あら！まちフェスタ」

2. 実施時期 9 月下旬～10 月中旬

3. 実習場所 荒町市民センター

4. 具体的内容 事前に担当する店舗の振り分けを行い、アートを制作する若者と商店街の方々とが交流し報告書をまとめる。それを基にQRコードを実行委員が作成する。
5. 広報手段 チラシ 雑誌 HP テレビ ラジオなど
6. 参加費用 一部自己負担
- 想定する効果 商店街との交流により、地域や世代間の連携ができ、次代の地域振興の可能性が広がる。

生涯学習事例研究事業

【主な事業】

＜学習成果社会還元に係る事例研究「まなびごっこ」＞	
ねらい	区内在住の市民が持つ、豊かな人生経験や長年にわたって培った知識を生かし、地域における学びの場において講師役となることによって、教える側も教わる側も、共に学び、お互いがいきいきと、生きがいを感じることができる場として「まなびごっこ」を設置し、運営する。
対 象	成人
回数・延人数	119 回 ・ 3,343 人
概 要	市民センターと「まなびごっこ」主催の「リーダー養成講座」を受講した市民（ボランティアスタッフ）が、市民センターと共催で、講座「まなびごっこ」を開設し、12 ジャンルの講座（パソコン教室、俳句教室、ものづくりシリーズ、男の料理教室等）を実施した。

その他区内を対象とした特色ある事業

＜若林区東部水辺“堀”おこし事業＞	
ねらい	市民センターと区役所とが連携しながら、七郷・六郷・沖野地区の住民、町内会及び諸団体とがコミュニケーションを通じた交流や、様々な団体とのネットワークを形成することで、地域全体のコミュニケーションの活性化を図っていく。
対 象	仙台市民
回数・延人数	15 回 ・ 370 人
概 要	若林の水辺を掘起こす貞山堀ウィークとして、3 つの事業を実施した。「貞山堀親子deアド勉強チャー」（企画：区中央市民センター）、「レッツ・ウォーク・イン六G0」（企画：六郷市民センター）、「みんなでパークゴルフ！」（企画：沖野市民センター）。

《教育局直轄事業一覧》

事業 区分	事業(講座)名	主な内容	回数	参加 延人数
青	中高生企画会議 「やってみっぺ」	区内の中・高校生 10 名程度の企画委員を公募し、月に 1 回程度の企画会議を開き、小・中・高校生を対象とした講座の企画・運営を行った。	2	6
青	中高生企画講座 「やってみっぺ」	中高生企画会議「やってみっぺ」の企画委員が市民センター事業について企画会議を開き、その中から生まれた小・中学生を対象とした講座を実施した。	2	6
青	インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。	6	385
青	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」	秋の子どもの日期間中に小・中学生や保護者を対象として、市民センターの講座やネイルアート・ボッチャなどの遊びコーナー、火起こし・炭火焼体験コーナーなどを実施した。	1	400
青	学社連携・融合事業 「はたらく」ってなに？	蒲町小学校の子どもたちを対象に、地域にいる職業人の方々を講師として招き、子どもたちに将来の職業について考えてもらい、希望をもてるような講座を実施した。	1	108
青	子どもたちが暴力から自分を守るために	六郷小学校の児童及び保護者等を対象に、子どもたちが暴力(犯罪)から心と身体を自分自身で守るための講座を実施した。	4	430
青	若林区嘱託社会教育主事研究協議会 共催事業	区内の子どもたちと保護者を対象に、夏には「貞山運河クルーズ」、冬にはサンドウィッチマンを招き、中・高校生が企画員としてトークショーやイベントを行う「夢を追い求め」を実施した。	2	448
成	学習成果社会還元に係る事例研究 「まなびごっこ」	区民を対象に、区内在住の高齢者が豊かな経験や知識・技術を生かした学習機会を提供するために、「リーダー養成講座」で養成したリーダーを活用した各種講座「まなびごっこ」を実施した。	119	3,343
成	社会教育実習生受入	社会教育主事資格取得を目指す宮城教育大学の学生を対象に、市民センターでの実習を通して生涯学習事業を学習させるため、実習生として受入れ、講座の企画立案や実践について指導した。	1	6
地	若林東部“堀”起こし事業	区内の住民等を対象として、地域コミュニティ活性化のため、区中央市民センター・地区市民センター・区役所及び関係する諸団体が「水」をテーマとしたモデル事業を実施した。	2	320
地	通学合宿！連坊！	連坊小路小学校 4 年生から 6 年生を対象に、親元を離れて地域のお寺に 2 泊 3 日で宿泊させて自炊しながら学校に通学する講座を実施した。	3	89
地	区内小学校区合宿支援	蒲町・大和小学校 4 年生から 6 年生を対象に、小学校に自炊しながら 1 泊 2 日の共同宿泊体験をさせ、地域を知るための体験活動をする事業の支援を行った。	2	180

地	南小泉子どものふるさとづくり推進事業	南小泉小学校の子どもたちや保護者を対象に子どもとその保護者が親子一緒に体験活動ができる講座を2回実施した。	3	425
地	学びのコミュニティづくり推進事業「ひがろく子ども・ふるさと再発見推進事業」	東六郷小学校の子どもたち等を対象に、地域コミュニティづくりと学びの場を提供するため、「東六郷フェスティバル参加」や「六郷市民まつり」、「バスケット観戦」を実施した。	3	250
地	企画会議「若林ヤング・コミュニティ楽園」	区内や周辺区に在住する青少年数名の企画委員を公募し、月に1回程度の企画会議を開き、若者を対象とした講座の企画・運営を行った。	5	22
地	企画講座「若林ヤング・コミュニティ楽園」	企画会議「若林ヤング・コミュニティ楽園」の企画委員が、市民センター事業の企画会議を開き、その中から生まれた若者を対象とした講座を実施した。	2	14
地	バリアフリースポーツボッチャ	障害者や高齢者が参加して競技を楽しめるニュースポーツ「ボッチャ」を若林区民大会を含めて12回開催した。また、地域からの要請に応じて講師と資材を派遣する宅配ボッチャを実施した。	15	150
地	若林区中央市民センター事業懇談会「田んぼっ区懇談会」	地域住民から懇談会委員11人を選定し、市民センター事業や運営を考える意見を聴取する懇談会を3回開催した。	3	25
民	託児ボランティア交流会	区内の託児ボランティアサークルを対象に1回開催し、各ボランティアサークルの課題と活動状況の情報交換を行った。	1	17
民	ジュニアリーダー初級研修会	子ども会活動の活性化を図る上で、支援者として活動するジュニアリーダーを養成する研修会を1回実施した。	1	32
民	ジュニアリーダー活動支援	若林区内のジュニアリーダーの活動を支援するため、月1回の定例会と2回の研修会を実施した。	14	170
学	生涯学習情報発信事業「いぐスペ！わかばやし！」	当市民センターとして、隔週水曜日に「エフエムたいはく」のラジオ放送で、若林区内の生涯学習事業の情報を発信する「いぐスペ！わかばやし！」の放送を24回実施した。	24	76
学	若林区地域情報発信事業「若林区歳時記情報の発信」	写真ボランティアに依頼して区内の歳時記情報を蓄積するため、定例会を3回開催し情報を収集した。また、蓄積した情報を窓口等に掲示するなど情報発信を行った。	3	17
合 計			219	6,919

太白区中央市民センター

学びのコミュニティづくり推進事業

【主な事業】

<とみざ和がっこ>

ねらい	富沢中学校校区内住民の学びや交流の機会を継続して実施することで、地域で子どもを育てていくようなつながりを構築していく。
対 象	富沢中学校区の小学生，中学生，団体，企業，地域住民
回数・延人数	14 回 ・ 1,187 人
概 要	推進委員会 10 回 事業 4 回 中学校入門講座「オープン富中1」「オープン富中2」 自然体験講座「バスで行く泉ヶ岳親子デイキャンプ体験」 「こどものまち in 富中」

<学びのコミュニティながまち>

ねらい	長町中学校校区内の小中学校のPTA，地域住民と共に，子どもたちの健全育成を目的とした事業を企画・実施をしていくことにより，地域のつながりを築いていく。
対 象	長町中学校区の小学生，中学生，PTA，地域住民
回数・延人数	11 回 ・ 596 人
概 要	推進委員会 8 回 事業 3 回 「街かどコンサート」「サバイバル体験・子どもぼうさいキャンプ」 「こどものまち in たいはつくる」

大学社会教育実習生の受け入れ

<講座企画運営実習>

企画学生 … 東北学院大学社会教育実習生

①ね ら い … 若者に人とのコミュニケーションの大切さを知ってもらう

②対 象 … 市内の大学生，またはその年代の若者

③学習内容 … 講座企画，広報，講座実施

回	月日	時 間	場 所	学習内容	講 師	参加人数
1	11 月 14 日	14:00～ 16:00	太白区中央市民 センター	企画 講座「み つめて人 eye」 実施	株式会社デュナミス	18

生涯学習事例研究事業

【主な事業】

<IMAYO!!・IMAYO!!企画会>	
ねらい	大学生が市民センターを活用し、ネットワークを広げながら事業を行う機会を提供することで、市民センター利用の拡大と地域活性化をめざす。
対 象	企画員…仙台市内の大学生 事業…長町地区住民、仙台市内の若者
回数・延人数	21回・423人
概 要	企画会18回、講座2回、地域との交流企画2回 小学生のための科学実験講座「わーいプチかがくじっけん」 企画コンサート「あいのうたコンサート」 ながまち交流フェスタでスタンプラリー担当 学コミ「とみざ和がっこ」主催「こどものまちin富中」支援

その他区内を対象とした特色ある事業

<宮城大学食産業学部連携共催事業>	
ねらい	宮城大学食産業学部の教育資源を活用した食育講演会やワークショップを開催し、市民の食に関する知識の向上を図るとともに、宮城大学食産業学部の活動フィールドを市民センターが提供し、大学と市民の接点を作り出していく。
対 象	食育講演会(1回)…地域住民、ワークショップ(2回)…小学生親子
回数・延人数	3回・178人
概 要	宮城大学食産業学部教授が講師で開催した「食育講演会」は、幅広い住民を対象にし、大学の研究者が持っている魚の栄養素についての知識を噛み砕いて説明した内容だった。「ワークショップ」は小学生親子を対象にし、大学の調理器材を使用して調理実習を行った。宮城大学サイドは人材や器具等の資源提供だけではなく、広報用チラシの作成なども担い、準備段階から事業連携をしてきた。

《教育局直轄事業一覧》

事業区分	事業(講座)名	主な内容	回数	参加延人数
家	たいはく子育て支援ネットワーク事業	子育て支援事業の「ママを楽しんじゃおう」(茂庭台地域)「ながまちおやこひろば」(長町地域)、や企画会等を実施。	18	929
家	宮城大学食産業学部連携共催事業	宮城大学の教育資源を活用し、市民の食に関する知識の向上を図るため、食育講演会やワークショップを開催。	3	178
家	家庭教育講演会	親子こころのクリニックの所長を講師に迎え、思春期の子どもを持つ親や教師を対象とした講演会を開催。	1	65
青	秋休み太白こどもチャレンジタウン2009	秋休み期間における子どもの居場所づくりをねらいとした開催。土日祝日開催ではなく、留守家庭の多い平日に実施。	1	334
青	仙台市嘱託社会教育主事研究協議会太白部会共催事業	地区市民センター職員や学校の地域担当連携担当者との懇話会、野外活動、スポーツ事業の実施。	12	401
青	インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童や世話人を対象に研修会を実施。	10	647
成	社会教育実習生受入	東北学院大学の社会教育実習生の講座企画支援。	6	24
成	社会教育実習生企画講座	実習生企画講座の開催支援。	1	18
地	地域づくりに関する区と市民センターの連携事業	太白区保健福祉センター共催の地域活性化支援事業の実施。	3	100
地	学びのコミュニティながまち推進委員会	長町中学校区内の小中学校のPTA、地域住民と共に、子どもたちの健全育成を目的とした事業を企画・実施。	8	109
地	学びのコミュニティながまち	地域活性化と学校間交流の促進をねらい、「街かどコンサート」、「防災キャンプ」、「こどものまち」を開催。	3	487
地	とみざ和がっこ推進委員会	富沢中学校区内の小中学校のPTA、企業、地域振興会等で組織し、地域コミュニティの再構築のための企画を実施。	10	198
地	とみざ和がっこ	地域交流を目的とし、中学校の授業等を体験する「オープン富中」や、「デイキャンプ体験」、「こどものまち」を開催。	4	989
地	魅力アップ懇話会	市民センターの事業をより魅力あるものにするため、地域住民等の委員から提言を受ける。	3	25
民	市民企画講座公募事業「漢字・KANJI I・かんじ」	市民の視点による企画を市民センター主催講座として開催。漢字の始まりや歴史、成り立ちについて外国人が講義した。	5	64
民	IMAYO!! 企画会	大学生企画員が地域活性化のためにアイデアを出し合って事業の企画や準備を実施。	18	59

民	IMAYO！！	大学生企画員による小学生のための科学実験講座，市民センターまつりでのスタンプラリー，地域住民のためのコンサートを実施。	3	364
民	社会参加・共生推進事業「高校生企画・長町っ子のための食育講座2」	事業企画者である高校生，参加者である小学生親子が，地域で共に生活する障がい者をゲストとして迎え，交流し理解を深めた。	4	44
民	ジュニアリーダー活動支援事業	ジュニアリーダー活動を希望する中・高校生を対象に，活動に必要な知識や技術を学ぶ機会を提供。	25	542
民	太白区生涯活動ボランティア団体等活動報告・交流会	育児サークル，むかし遊びボランティア，託児ボランティア等が日頃の活動を発表しながら交流を深めた。	3	13
学	太白区内市民センター職員研修会	太白区内市民センター職員の資質向上を目指し，年2回職員研修会を開催。	2	43
学	コミュニティFM連携学習情報提供事業	エフエムたいはくと連携し，市民サポーターと共に，区内市民センターの講座情報や地域の人材情報などを市民参画型で発信。	29	189
学	生涯学習委託事業に係る分析・評価	区内地区館で実施した生涯学習事業について，分析・評価・助言を実施。	12	
学	テーマ別検討会の実施	テーマごとに各区中央市民センターの担当者が定期的に検討会を実施し，テーマに沿った事業の調査，研究を実施。		
学	各種職員会議の開催	定期的に区内地区館に関する区館長会，区連絡会等を実施。		
学	地区館事業に係る指導・支援	区内地区館で実施した生涯学習事業について，支援を実施。		
合 計			184	5,822

泉区中央市民センター

学びのコミュニティづくり推進事業

【主な事業】

<ふれあい学びネットい・ず・み「キャンプだホイ！」>

ねらい	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会が、「地域で子どもを育てる」という共通認識のもと、協働で事業を行い、子どもたちが遊びや社会参加体験をとおして、「子どもの居場所」をつくり、子ども同士の育ちの輪を育む。
対 象	市名坂・七北田・野村小学校の4～6年生
回数・延人数	1回 ・ 115名
概 要	平成21年8月19～20日、七北田小学校を会場に1泊2日のキャンプを実施。テント設営、火おこし、食事づくり、校舎探検、ウォークラリー等を行い、共同作業や遊びを一緒に行うことで、子ども達の交流を図った。

<ふれあい学びネットい・ず・み「あそびの天国」>

ねらい	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会が、「地域で子どもを育てる」という共通認識のもと、協働で事業を行い、子どもたちが遊びや社会参加体験をとおして、「子どもの居場所」をつくり、子ども同士の育ちの輪を育む。
対 象	市名坂・七北田・野村小学校児童
回数・延人数	1回 ・ 508名
概 要	平成22年3月8日、泉区中央市民センター全館を、1日中子ども達が自由に遊べる場所とした。各団体が用意したダンボールアート、紙芝居、人形劇、折り紙、紙相撲等さまざまな遊びを通じて、世代を越えた交流を図った。

大学社会教育実習生の受け入れ

<講座企画運営実習>

企画学生 … 東北学院大学 4人

①ね ら い … 市民センターの利用が少ない若者を対象に、野菜を利用した菓子づくりによる健康講座を実施することで、食生活の改善への意識をもつ機会とするとともに、市民センターを身近に感じてもらうこと

②対 象 … 18～30歳

③学習内容 … ベジ☆スイーツ～野菜の新たな一面を知ろう～

回	月 日	時 間	場 所	学習内容	講 師	参加人数
1	12月5日	12:00～15:30	泉区中央市民センター	ベジ☆スイーツ	森谷 聖子 氏	25人

生涯学習事例研究事業

【主な事業】

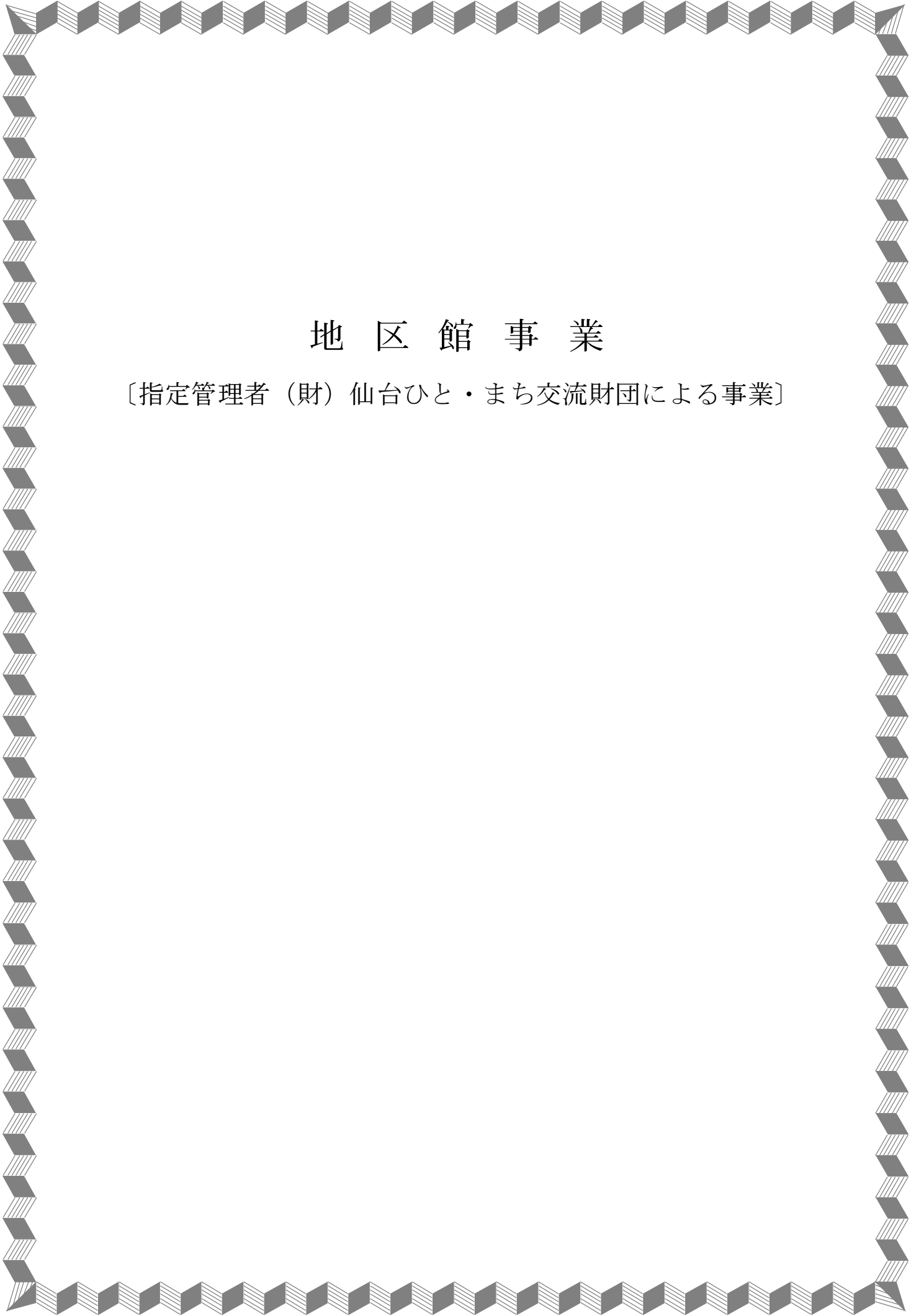
<学びのコミュニティづくり推進事業実施団体連絡会>	
ねらい	区内で活動している各学びのコミュニティづくり推進事業実施団体が、各地域の情報を共有するとともに、各団体の連携を図り、地域教育力向上に向けた事業のあり方を話し合う機会とする。
対 象	区内学びのコミュニティづくり推進事業実施 6 団体
回数・延人数	2 回 ・ 46 名
概 要	平成 21 年 11 月、22 年 2 月の 2 回、加茂学びのコミュニティ推進委員会、まなびねっと「いずみ中山」推進委員会、将監こども楽校推進委員会、まなこみネット鶴が森、松陵土っと来い！、ふれあい学びネットい・ず・みの 6 団体が参加し、各団体の活動や物的・人的財産について情報交換を行い、今後の事業連携等を探った。

その他区内を対象とした特色ある事業

<泉環境フォーラム運営支援>	
ねらい	泉環境まつりの企画運営を市民センターと協働で行ってきた「泉環境まつり実行委員会」が発展し、「泉環境フォーラム」として発足。泉環境まつりのほかに、講演会や研修会などを実施する。市民センターは会場や講師との連絡調整等、「泉環境フォーラム」の活動支援を行う。
対 象	市民
回数・延人数	5 回 ・ 2,700 名
概 要	6 月 6 日 泉環境まつり(於泉区役所前広場) 10 月 24 日 広報講座「パネルに使う写真を撮ろう」(於メディアテーク) 11 月 7 日 " 「コンピュータを活用した広報」(") 11 月 25 日 " 「パネルをつくろう」(於宮城県保健環境センター) 2 月 6 日 環境講演会(於仙台市職員研修所)

《教育局直轄事業一覧》

事業 区分	事業(講座)名	主な内容	回数	参加 延人数
家	子ども会育成会支援事業	子ども会育成会の円滑な運営を支援するために、インリーダー研修会等校区育成会事業に参画した。	31	489
青	泉区の社会教育を考える会	区内の青少年育成事業を中心とした社会教育について、区内嘱託社会教育主事と考える機会を持ち、泉区の社会教育事業の活性化を図った。	6	93
青	学校・総合学習等支援事業	地域学習等に取り組む学校の求めに応じて、市民センターが持つ地域の情報やノウハウを生かし、情報提供や講師紹介を含むネットワークの形成や直接支援を行った。	30	598
青	嘱託社会教育主事研究協議会連携事業	子どもの健やかな成長を促すため、七北田ダムやメディアテークを会場に体験型の事業を実施した。	4	111
青	秋のこどもの日	秋の子どもの日期间中に開催された、遊びを中心に交流を図る「七北田小夢フェス」に学びのコミュニティ推進委員会として参加。	1	320
成	大学社会教育実習生の受け入れ	社会教育を専攻する学生の体験的学習の場の提供、講座開設等に関わる実践的な場の提供を行った。	9	40
地	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	地域の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図ると共に、子どもの居場所づくり事業について検討協議した。	12	99
地	学びのコミュニティ支援事業(松森編)	地区館における学びのコミュニティ事業を円滑に推進するために、区中央市民センターとしてサポートした。	8	496
地	学びのコミュニティ支援事業(南中山編)	地区館における学びのコミュニティ事業を円滑に推進するために、区中央市民センターとしてサポートした。	11	413
地	区連携事業	泉区まちづくり推進課が長命ヶ丘市民センター内の地域で実施した、地域コミュニティ活性化モデル事業「生ごみリサイクルから始まるまちづくり」に協力した。	6	106
成	ボランティアネットワークいずみ研修会	市民センターで育成したボランティアサークルのネットワーク化を図ると共に活動支援のための研修会及び活動報告会を開催した。	3	40
民	ジュニアリーダー活動支援事業	区内のJLの活性化を図るため、各種研修会や関係機関の行事へ参加し、活動の支援を図った。	23	230
民	ジュニアリーダー初級研修会	地域の子どもの会の活性化と青少年のボランティア活動を推進するため、ジュニアリーダーとしての基本的な知識と技術を習得するため研修の機会を提供した。	1	20
合 計			145	3,055



地 区 館 事 業

〔指定管理者（財）仙台ひと・まち交流財団による事業〕

《市民センターホームページアドレス一覧》

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/〇〇〇〇/index.html>

※館によって入る文字が異なる



市民センター名	〇〇〇〇に入る文字	市民センター名	〇〇〇〇に入る文字
青葉区		六郷市民センター	rokugo
青葉区中央市民センター	aochu	沖野市民センター	okino
柏木市民センター	kasiwagi	若林市民センター	wakabayasi
北山市民センター	kitayama	太白区	
福沢市民センター	fukuzawa	太白区中央市民センター	futochu
旭ヶ丘市民センター	asahigaoka	生出市民センター	oide
三本松市民センター	sanbonmatsu	中田市民センター	nakada
片平市民センター	katahira	西多賀市民センター	nisitaga
水の森市民センター	mizunomori	八本松市民センター	hachihonmatsu
貝ヶ森市民センター	kaigamori	八木山市民センター	yagiyama
中山市民センター	nakayama	山田市民センター	yamada
折立市民センター	oritate	茂庭台市民センター	moniwadai
広瀬市民センター	hirose	東中田市民センター	higashinakada
宮城西市民センター	miyaginishi	柳生市民センター	yanagiu
大沢市民センター	osawa	秋保市民センター	akiu
落合市民センター	ochiai	馬場市民センター	
吉成市民センター	yosinari	湯本市民センター	
木町通市民センター	kimachi	富沢市民センター	tomizawa
宮城野区		泉区	
中央市民センター	chuo	泉区中央市民センター	izuchu
高砂市民センター	takasago	根白石市民センター	nenosiroisi
岩切市民センター	iwakiri	南光台市民センター	nankodai
鶴ヶ谷市民センター	tsurugaya	黒松市民センター	kuromatsu
榴ヶ岡市民センター	tsutsujigaoka	将監市民センター	syogen
東部市民センター	tobu	加茂市民センター	kamo
幸町市民センター	saiwaichou	高森市民センター	takamori
田子市民センター	tago	松陵市民センター	syoryo
福室市民センター	fukumuro	寺岡市民センター	teraoka
若林区		長命ヶ丘市民センター	chomeigaoka
若林中央市民センター	wakachu	松森市民センター	matsumori
七郷市民センター	sichigo	桂市民センター	katsura
荒町市民センター	aramachi	南中山市民センター	minaminakayama

1. 市民センター事業（地区館）の実施体制

仙台市の市民センター59 館は、管理運営を指定管理者である(財)仙台ひと・まち交流財団が行っている。また、地域における生涯学習事業についても、それぞれ地域の状況や課題に応じたさまざまな事業を指定管理事業として実施している。

【平成 21 年度 事業区分別事業数（地区館事業）】

(※)2 つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は1事業として計上

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉 区	合 計
家庭教育推進事業	43	17	11	30	38	139
青少年健全育成事業	54	34	24	55	43	210
成人学習振興事業	77	46	23	54	65	265
高齢者学習振興事業	33	20	17	32	28	130
地域社会教育推進事業	170	63	44	115	113	505
民間指導者育成事業	69	36	26	59	57	247
学習情報提供・ 学習相談事業	91	50	29	62	69	301
合 計	537	266	174	407	413	1,797

2. 各市民センターの事業（地区館事業）

<青葉区(17 館)>

青葉区中央市民センター
 柏木市民センター
 広瀬市民センター
 宮城西市民センター
 北山市民センター
 福沢市民センター
 旭ヶ丘市民センター
 三本松市民センター
 片平市民センター
 大沢市民センター
 水の森市民センター
 貝ヶ森市民センター
 落合市民センター
 中山市民センター
 折立市民センター
 吉成市民センター
 木町通市民センター

<宮城野区(9 館)>

中央市民センター
 高砂市民センター
 岩切市民センター
 鶴ヶ谷市民センター
 榴ヶ岡市民センター
 東部市民センター
 幸町市民センター
 田子市民センター
 福室市民センター

<若林区(6 館)>

若林区中央市民センター
 七郷市民センター
 荒町市民センター
 六郷市民センター
 若林市民センター
 沖野市民センター

<太白区(14 館)>

太白区中央市民センター
 中田市民センター
 生出市民センター
 秋保市民センター
 馬場市民センター
 湯元市民センター
 西多賀市民センター
 八本松市民センター
 八木山市民センター
 山田市民センター
 茂庭台市民センター
 東中田市民センター
 柳生市民センター
 富沢市民センター

<泉 区(13 館)>

泉区中央市民センター
 根白石市民センター
 南光台市民センター
 黒松市民センター
 将監市民センター
 加茂市民センター
 高森市民センター
 松陵市民センター
 寺岡市民センター
 長命ヶ丘市民センター
 松森市民センター
 桂市民センター
 南中山市民センター

青葉区中央市民センター

沿 革

昭和 61 年の市立東二番丁小学校の全面改築に伴い「仙台市市民教養センター」が廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」が開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスプアー番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、新しく「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心地域で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一役を担っている。

平成 21 年度事業実施方針

仙台市の中心部に位置する市民センターという特性を踏まえ、国際化に対応した事業や昼間学べない勤労者を対象とした夜間事業を充実させ、学習のバリアフリーを推進する。また、学校・事業所・地域組織団体・ボランティア等との連携により市民参画型事業を展開し、地域の活性化とコミュニティづくり・コーディネート機能を推進する。

特色ある事業

<子ども広場・仙台七夕に参加しよう>

① ねらい

日本人と外国人の子ども達が交流をしながら七夕飾りを作り、商店街に展示することで、地域の一員として仙台の伝統行事に参加する喜びを体験する。また、地域の団体やボランティア等幅広い年代と触れ合うことで交流の輪を広げる。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 37 人

④ 事業への協力者・協力団体

NPO 法人シニアネット仙台 子ども広場ボランティア
「こどものための日本語講座」講師

⑤ 概要・成果

仙台七夕開催時期に、地域の団体等の指導及び協力により、地域の小学生や当センターで日本語を学ぶ子ども達が大きな吹流しを制作し、サンモール一番町商店街に飾り付け完成を喜んだ。七夕の制作や飾り付けを通して異世代間の交流が生まれ、仙台七夕の由来や歴史を学ぶことで地域への理解と愛着が深まった。

<綱引き in サンモール>

① ねらい

地域には東北最大の繁華街である一番町がある。繁華街といえどもその中にある商店や事業所間の繋がりは希薄になってきている。商店街アーケードを会場に綱引き大会を開催し、地域住民及び商店の交流を図り、地域の新たな活性化の契機とする。

② 対象 小学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 33 人

④ 事業への協力者・協力団体

サンモール一番町商店街振興組合 宮城県綱引連盟

⑤ 概要・成果

仙台開府の町割を決めた縄を埋めて祀ったとされる野中神社にちなみ、サンモール一番町商店街アーケード内で綱引き大会を開催。4 人 1 チームの対抗で競技を行い、商店主や通行人が足を止めて街中での綱引きを楽しんだ。オープニングには当センター利用のサークルが出演してイベントを盛り上げ、サンモール一番町商店街振興組合と店舗からは参加者への景品が提供される等、新たな市民の交流と街の賑わいに一役買うことができた。

柏木市民センター

沿 革

当市民センターは昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成 2 年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

平成 21 年度事業実施方針

開館以来、「センター・地域・学校」が一体となって取り組み、地域住民と共に歩むことをモットーにしている。利用状況は地域住民を中心に、年間利用者 36 千人前後で推移している。平成 21 年度には近隣の北山市民センターの建替工事に伴い、当館を取り巻く環境の変化が予想される。北山地域の情報なども積極的に取り入れ、さらに地域に密着し親しまれるような運営を心掛けていく。また、重点施策である地域コミュニティの再生や地域づくりについても積極的に取り組む。

特色ある事業

<地域を学ぼう>

① ねらい

近隣には寺社を始め多くの歴史的資源があり、生活の中にも受け継がれてきた文化があった。しかし、最近はマンション等が増え、住民も入れ替わり暮らしも文化も変化している。そこで新規参入住民と古くからの住民が、共にこの住んでいる地域について学ぶ機会とする。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 119 人

④ 事業への協力者・協力団体

地域誌『柏木界限物語』を活用して街を元気にする会

⑤ 概要・成果

柏木地区の歴史にまつわる話を元に、どんと祭・御神楽・節分等の行事について学んだ。また、地域誌『柏木界限物語』を活用して街を元気にする会や地域の方々との協力することで、歴史的な話もより身近に感じられ、地域への愛着心に繋がった。

<親子 de 国際交流教室～わくわくふれあい柏木キッズ～>

① ねらい

柏木地域は留学生や外国国籍の方が多く居住する。しかし、地域住民との交流は少なく、特に未就園児の親子は孤立しがちである。地域に居住する外国人と共に生活習慣や文化の違いを学びながら相互理解を深め、地域コミュニティの活性化につなげる。

② 対象 外国人親子と日本人親子

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 80 人

④ 事業への協力者・協力団体

東北福祉大学・仙台国際交流協会

⑤ 概要・成果

地域の大学と共催し、お月見やお正月など日本の行事や健康づくりについて学んだ。毎回、学生が考えた遊びを取り入れるなど、参加者同士の交流の場を提供するきっかけとなり、次年度の事業へ繋がった。

北山市民センター

沿 革

社会福祉活動の場がほしいという地域住民の願いが叶い、北山福祉会館が設置されたのが昭和 49 年 7 月である。(所管は仙台社会福祉協議会)。平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」に、平成 2 年には「北山市民センター」と名称を改め、地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしている。

地域内には、青葉神社や大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館があるため若者や外国人が多く福祉や国際理解への関心が高い。

平成 21 年度事業実施方針

地域コミュニティの醸成を目的に、地域との関係を深め、かつ開かれた市民センターを目指し、地域住民本位の事業の展開と交流、ネットワークづくりの拠点として、ボランティア育成や地域人材の発掘を通して地域情報の拠点を図ると共に、育児世代・青少年世代・壮年世代・高齢世代の地域連携・協働による事業実施に努める。

特色ある事業

＜懇談会「館長と語ろう」＞

① わらい

地域づくりの活性化を図るために、町内会・子ども会・地域住民・利用者団体などからの情報・要望・意見を把握することは重要である。そこで、懇談会を開催して地域との連携を深め事業企画に役立てる。

② 対象 地域住民、地域団体の方

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 12 人

④ 事業への協力者・協力団体

なし

⑤ 概要・成果

北山市民センター新館の建築工事の進捗状況と今後の予定を説明した。さらに、地域ニーズの情報収集と意見交換をおこなった結果、国見コミュニティセンターの改修工事が平成 22 年秋に始まるため、新館始動を早められないかという要望を聞くことができた。

※北山市民センター大規模改修工事(平成 21 年 6 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)のため、21 年度の主催講座は近隣の柏木市民センターを会場に「子ども会インリーダー研修会」「北山シルバースクール」「懇談会「館長と語ろう」」「ジュニアリーダーと遊ぼう」のみ実施した。

福沢市民センター

沿 革

昭和59年6月9日、コミュニティ防災センターを併設し「福沢公民館」として開館し、平成2年4月に「仙台市福沢市民センター」と名称を改めた。平成20年6月より大規模改修工事を行い平成21年1月14日にリニューアルオープンした。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として昔の雰囲気をとどめており、下町情緒に溢れた古い歴史の地域になっている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもある。このような中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

平成21年度事業実施方針

前年度目標とした「生涯学習を通じた地域づくり」で培ってきた地域住民・町内会・諸団体・小中学校との関係をより強化し、今年度は「地域をつなぐ市民センター」を目標に事業展開する。そのために、福沢懇談会などを通じて地域のニーズを積極、かつ的確に把握し、ニーズに沿った事業を企画・実施することで、地域と市民センターとの繋がりを強化していく。

特色ある事業

<緑のスクリーンの恵みに感謝>

① ねらい

当市民センター図書室窓面にヘチマ・ゴーヤなどを栽培して「緑のカーテン」をつくり、育成観察や温度・二酸化炭素の測定を通してその効果や地球環境について学習する。また、長期に渡る観察・手入れを通して受講生である地域住民の交流を図る。

② 対象 地域の方どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 54人

④ 事業への協力者・協力団体 地域住民

⑤ 概要・成果

ヘチマ・ゴーヤ・朝顔を使った「緑のカーテン」が図書室窓面に広がり、その効果を体感しながら地球環境について学習できた。また、受講生の主体的な活動が見受けられ交流も深まり、予定講座終了後も追加講座を自発的に行なうなど前向きに学習に取り組む、今後の学習展開が楽しみな講座になった。

<市民企画講座「宮町メインストリート今昔マップ」作り>

① ねらい

市民企画講座「宮町盛り上げ隊」の企画委員が企画した講座である。宮町通りは昔から長年にわたり店舗を構えている店もあるが、宮町通りの昔の街並みを知らない住民も増加している。歴史ある宮町通りの魅力を地域内外に発信し継承していくことを目的とする。

② 対象 地域の方どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6回 / 35人

④ 事業への協力者・協力団体 地域住民

⑤ 概要・成果

受講生が実際に宮町通りを歩いて取材をし、宮町通りの今昔を対比したマップを作成した。テレビ・新聞・ラジオのマスコミにも取り上げられ、地域住民を中心に地域内外からの反響が大きく、予定した部数を更増刷して配布した。地域内外に宮町の魅力も発信でき、継承していくことの足がかりとなった。

旭ヶ丘市民センター

沿 革

当市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和 60 年 6 月に開館されました。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は青年文化センター等の学術文化ゾーンとなっています。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれています。年間利用者が10万人を越えていることを踏まえ市内全域を視野に入れ、現代社会における課題に取り組み、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供すると共に新たな地域コミュニティの基盤としての役割を担っていききたい。

平成 21 年度事業実施方針

- ・地域課題や学習ニーズを把握し、生涯学習の拠点機能を発揮できる事業推進を図る。
- ・地域との共催、連携等を積極的に行い地域ネットワークの拠点機能高める。
- ・地域のニーズ・課題に積極的に取り組み地域コミュニティの醸成を図る。
- ・地域団体・地域資源・人材等を活用し、連携によるコーディネート機能を促進する。
- ・収集した地域情報や資源を学習相談・ホームページを通じ地域住民へ還元する。

特色ある事業

<いきいき井戸端講座>

① ねらい

市民センターから離れた高齢者が多い地域での出前講座を連合町内会との企画会議を経て開催することにより、生涯学習の機会の提供ができ、地域の交流活性化が図られる。

② 対象 瞑想が丘町内会の方

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 56 人

④ 事業への協力者・協力団体

旭ヶ丘南部地域連合会

⑤ 概要・成果

1 回目が環境講座「ふろしきの魅力」、昔からあるふろしきの活用法を学び、2 回目は地域講師による「老いを楽しく生きる」、詩吟と歌で綴る昭和史紙芝居と講話。市民センター事業への理解も図られ、地域活性化の促進に繋がった。

<森の贈り物・台原森林公園のどんぐりを活用しよう！>

① ねらい

地域の貴重な資源である台原森林公園を高齢者の案内で散策しながら自然観察し、樹木や木の実の名前を学ぶ。どんぐりを拾い、食材にしたり遊び道具にしたりという活用方法を次世代の子どもたちに伝え世代間交流を図る。

② 対象 小学生と保護者

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 59 人

④ 事業への協力者・協力団体

学校法人朴沢学園 明成高等学校

⑤ 概要・成果

台原森林公園の自然観察とどんぐり活用法の継承となり、地域人材講師との世代間交流も図られた。生きる知恵の継承で親子のコミュニケーションが促進され、地域活性化に繋がった。どんぐりの調理は、明成高等学校の協力を得た。

三本松市民センター

沿 革

当市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には雑木林が残されているなど環境に恵まれている。堤町は、現在は窯の火は消えたが、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 14 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(45 台)舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 12 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

平成 21 年度事業実施方針

- ・地域ニーズ等を踏まえた事業を企画・実施。
- ・地域団体・学校等との共催、連携事業を計画し地域との融合を推進。
- ・高齢者の生きがいと動機づけを推進する事業の企画。
- ・地域交流が促進され、地域活性化を促す事業を企画・実施。
- ・家庭教育関連の事業が脆弱なので、事業の企画はニーズを把握して実施。

特色ある事業

<図書まつり>

① ねらい

活字離れが進む今日、広く図書室を開放し、誰もが本に親しむ機会を設けるとともに、地域の認知度が低い図書室を紹介することにより、利用者の増加を図り活性化を促す。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 591 人

④ 事業への協力者・協力団体

図書ボランティア「ぼけっと」、人形劇サークル「明泉ぱれっと」、シンセサイザー奏者、仙台市堤保育所、仙台社会保険病院、地域住民(本寄贈)等

⑤ 概要・成果

連続 6 日間、図書室を開放。貸出しや蔵書リスト配布・クイズ・本の骨董市・シンセサイザー演奏と朗読・紙芝居・人形劇・川柳の公募・夜の図書室一怖い話など、幼時から高齢者まで幅広い年齢層を意識し、多彩なイベントを実施した。

初めて図書室を知った方も多く、新規貸出登録やボランティアの加入など、利用の拡大につながり関心の高さが伺えた。また多くの貴重な意見は、今後の魅力ある図書室作りの参考となった。

<緑環境(剪定)ボランティア養成講座>

① ねらい

植栽の手入れ・庭木の剪定等を学ぶことにより、地域の高齢者世帯に対し住環境の整備と防犯対策を支援する剪定ボランティアを養成する。

② 対象 台原小学校区在住の成人

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 54 人

④ 事業への協力者・協力団体

台原中学校、台原地区社会福祉協議会

⑤ 概要・成果

樹木の生育・剪定・植栽等の手入れ、防犯対策について学習した後、台原中学校内の樹木を実際に剪定した。

ボランティア活動のありかた、留意事項等を学び、民生委員と連絡を取りつつ、地域剪定ボランティアサークルとして活動することになった。

片平市民センター

沿 革

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形や、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こういった地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

平成 21 年度事業実施方針

地域に密着した素材を取り上げ、より多くの市民が主体的に学習できる場を提供するとともに、地域の教育力を高めるための支援の可能性を探りながら事業を展開し、さらに広い地域のネットワークづくりに取り組む。

特色ある事業

＜かたひらシニア麟経堂＞

① ねらい

懇話会での開催要望を受け、地域のニーズに応えられるよう、片平地区社会福祉協議会と連携して、各町内会の高齢者向けサロン会へ出向いての移動講座。センターまでの交通の便が悪い地域に出向き、市民センター事業への理解を深める。

② 対象 地域に住む高齢者

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 150 人

④ 事業への協力者・協力団体 片平地区社会福祉協議会 仙台メディアテーク

⑤ 概要・成果

片平地区および仙台に縁のある 8 mm フィルム (30～50 年代) の上映を行い、若かりし頃を思い出しながら、同じ時代を生きてきた参加者同士で話題を共有した。

市民センターを会場とした講座への参加は難しいことから、居住区にしながら市民センター事業の片鱗を垣間見ることができたようである。

＜市民企画会「片平地区平成風土記を活用したまち歩き」＞

① ねらい

「片平地区平成風土記」の完成を機に、これまで講座で作成したマップ、町歩きボランティア、その他の地域資源を利用して、地域活性化のための講座を企画する。また、青葉区家庭健康課との共催により、地域の健康づくりについても理解を深める。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 109 人

④ 事業への協力者・協力団体 片平地区連合町内会 青葉区保健福祉センター家庭健康課

⑤ 概要・成果

「企画会議の進め方」「みんなで考えてみよう、かたひら地区の健康づくり」「まち歩きの楽しみ方」「作成したマップ検証のためのまち歩き」などを実施。

マップ作成に依頼した講師提案の「フットパス」の手法を活用したことで、分科会での会議がスムーズに運び、企画員で作成したウォーキングマップも満足のいくものとなった。

このマップを活用した講座を次年度に継続することができた。

水の森市民センター

沿 革

当センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている水の森公園の南口に立地し、自然休養林を背にした高台にあり自然環境に恵まれている。管内は水の森、東勝山、桜ヶ丘、川平等の閑静な住宅地を擁しているが、初期に開発された住宅団地のため、高齢化率の高い地域である。当センターは、児童館・温水プール・防災コミュニティセンターを併設する複合施設として平成2年9月にオープンした。斬新な外観は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる地域の生涯学習の拠点的存在である。2階の広いメインホールは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児までいつでも賑わいをみせている。

平成21年度事業実施方針

水の森ならではの地域の特性や強みを存分に活かした事業の展開に務め、地域の生涯学習の拠点として多様な情報を発信していきたい。地域の町内会、各種団体や学校等と更なる連携強化を図り、地域の活力あるまちづくり運動にも積極的にかかわりを持っていく。新たに団塊世代前後の利用を促進し、次世代のリーダーを育てる講座等も用意したい。

特色ある事業

＜水の森音楽隊「ミュージックベルで楽しもう！」＞

① ねらい

ミュージックベルを使って子どもから大人まで楽しく演奏しながら、地域住民の交流を深め、市民センター地域まつりでその成果を発表することにより、地域活性化を目指す。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 67 人

④ 事業への協力者・協力団体 特になし

⑤ 概要・成果

小学校1年生から60代の大人までの参加があり、大目的である「子どもから大人までの世代間交流」ができたことと、練習の成果を市民センター地域まつりで発表できたことは、地域コミュニティ活性化の一助となるものである。継続の要望も多く、今後も継続していきたい。

＜おやこで山学校「水の森公園をまるごと楽しもう！」＞

① ねらい

水の森地域の資源を生かし、身近な場所にある豊かな自然を親子で体験することで、新しい発見や気づきの芽を育てる。自然環境を守る大切さを学びつつ、自然を体感し楽しみながら、親子のコミュニケーションや絆を深める。

② 対象 小学生と保護者

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 137 人

④ 事業への協力者・協力団体 水の森公園に親しむ会

⑤ 概要・成果

各回、季節に合わせた内容とし、親子で水の森の四季折々の自然を体験できるように工夫した。野外で実施した「芋煮作り」では、参加した親子が協働して作業をすることで、コミュニケーションと連帯感を深めることができた。親子で参加でき、水の森の自然を十分に生かせる講座としては最適であると思われる。

貝ヶ森市民センター

沿 革

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された当市民センターは、平成5年4月に児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあつて、その瀟洒な建物は隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

また、風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などにも恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

平成21年度事業実施方針

地域住民との交流や当市民センターと連携しての地域活動の推進に力を入れて事業を実施してきた結果、地域での世代間交流が図られ、地域との協働による事業も軌道に乗りつつあるので引き続き地域社会との連携・協働による事業に取り組み、さらに充実拡充していく。とくに青少年の健全育成にむけて青少年関係の事業を充実させて実施していくとともに、地域の様々な情報等の収集に努め、地域カルテや人材データベースの作成にも取り組む。

特色ある事業

<ガーデンサポーター養成講座>

① ねらい

市民センターロビー、親子室、児童館に面している中庭に、花を植え、野菜を育てるサポーターを養成し、幼児から大人までが楽しめるガーデンとなるように整備する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 102人

④ 事業への協力者・協力団体

貝ヶ森児童館、子育て支援クラブ「花時計」

⑤ 概要・成果

5/21から11/18まで7回実施。そのうち3回:6/18「ばらの育て方」、9/17「旬の野菜を使った洋風料理(ガーデンで収穫した野菜を使用)」, 11/18「仙台の気候に合うガーデンの作り方」は公開講座として実施。成果としては、中庭を活用し、美しく甦らせることで、市民センターのイメージアップにつながった。来館した児童は、地域住民と交流しながら、水やり、草取り、野菜の収穫等を行い、植物に親しむことができた。事業終了後、サポーターとして12名が登録した。

<女性による講座企画会>

① ねらい

地域内の女性企画員が仲間づくりをしながら女性の視点で住みよい街づくりのための講座を企画・運営し、地域課題を解決する糸口をつかむことを目的とする。

② 対象 地域内に居住する成人女性

③ コマ数、参加延べ人数 10回 / 70人

⑤ 概要・成果

4/22から2/10まで10回実施。7名の企画員が、企画会議(4回)で活発な意見交換を行い、その結果、魅力ある3事業6回:9/9「みやぎの食を学ぶ」、10/7～12/16「ひとにやさしい布ぞうり作り」(4回), 11/11「杜の都の彫刻めぐり」を企画・実施し、参加者から好評を得た。企画員は広報(チラシづくり、参加の声掛け)、準備(下見・館外学習、試作・布ぞうり作り)、講座当日の司会進行等を積極的に行い、地域住民と市民センターとの協働が進んだ。

中山市民センター

沿 革

当市民センターは、旧中山コミュニティーセンターを増改築し、平成7年4月に児童館を併設して開館した。中山地区でも国見ヶ丘地区に近い閑静な住宅地に位置し、月急山公園に隣接して自然環境に恵まれている。

中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。旧中山街道の長い坂道には、商店が建ち並び、月に一度「街道市」を開催するなど、活気がある。また、近くに福祉施設「せんだんの杜」「せんだんの里」等福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

平成 21 年度事業実施方針

平成 21 年度は、昨年度の事業を受けて、さらに心豊かな地域づくり、知縁づくりに向けて、市民参画と自主企画型の学習推進を図る。また、地域コミュニティーを活性化し、センターのコーディネーター機能を高める。そのために、地域事業との連携を密にし、子育て支援の促進と児童の学校外活動を充実させ、地域教育の推進を図るとともに、芸術・文化の創造と発展のためにサークル活動の活性化を支援する。

特色ある事業

<中山元気づくり教室>

① ねらい

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が続けられるように、介護予防の講座を行い支援する。家庭で簡単に取り入れられる体操や、栄養改善の講話などを通じて、高齢者の生活機能の向上や健康の維持促進を図る。

② 対象 高齢者(65 歳以上)

③ コマ数、参加延べ人数 12 回 / 185 人

④ 事業への協力者・協力団体

国見ヶ丘地域包括支援センター

⑤ 概要・成果

毎回簡単にできるストレッチ体操をし、家庭に帰って各自実践する。また、翌週に運動の効果を確認することによって、継続することの重要性を学ぶ。

簡単な運動でも継続することが大切であることが各自認識出来たため、講座終了後に自主サークルへ活動が発展した。

<福祉の現状を知る講座～ボランティア活動入門～>

① ねらい

ボランティアをしたい人とボランティアを必要としている福祉施設の接点を探り、スタッフ不足に悩む施設の状況改善を促す。また、ボランティア活動を始めるための心構えを学び、育成を支援する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 25 人

④ 事業への協力者・協力団体

工房しらかば・仙台ローズガーデン

⑤ 概要・成果

福祉施設職員による施設の現状とボランティアについての講話

施設見学とボランティア活動の体験

市民センターが講座を開催することで、ボランティアを必要としている施設とボランティアを希望する受講生をコーディネートすることが出来た。受講生にとってはボランティアを始めるきっかけになった。

折立市民センター

沿 革

当市民センターは、仙台市中心部から西方約 5 kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開け、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。平成 7 年 5 月 30 日に市内 50 番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

施設の特徴としては、可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた 49 畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

平成 21 年度事業実施方針

1. 地域活性化のために学校や地域との連携を深める事業の展開や、地域の人材を活用する事業を積極的に推進する。
2. 市民企画講座や地域住民と懇話会を実施し地域の課題、ニーズを探り事業の充実を図る。
3. 家庭教育や環境、防災など現代的課題に対応した事業を推進する。
4. 地域の人的資源等リストの充実を図り、学習情報の提供、学習相談業務に対応する。

特色ある事業

<暮らし彩り講座>

① ねらい

地域のニーズに応え魅力ある講座を展開することで、地域の仲間づくりの輪を広げ、地域活動への積極的な参加を導き、地域の活性化を図る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 78 人

④ 事業への協力者・協力団体 地域講師

⑤ 概要・成果

講師は地域の方に謝礼無しで依頼し、短歌・はがき絵・そば打ち・抹茶・フラワーアレンジメントの講座を実施した。

参加者は気軽に楽しく受講し、短歌はサークルに発展した。また、普段センターを利用しない人の参加もみられた。

<折立風のメロディーコンサート>

① ねらい

市民センターを拠点に活動している音楽愛好家たちの発表の場として、住民が気軽に音楽を楽しみ交流できる場を提供し、地域の夏祭りとして地域の活性化を目指す。また、夜間開催することで若い世代や新たな層の利用拡大を図る。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 122 人

④ 事業への協力者・協力団体 参加サークル・折立地区社会福祉協議会

⑤ 概要・成果

5 つのサークルの参加のもと、プログラム作りや会場の飾り付け等にも協力を仰ぎ、初の地域コンサート開催となった。当日は社会福祉協議会が地域のお年寄りや体の不自由な方の送迎にあたった。

アットホームなコンサートとなり、100 名を超える入場者があった。地域の開催で出かけやすかったという声もあり、好評を得た。

広瀬市民センター

沿 革

当市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音を初めとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和24年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和62年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台宮城市民センターと改称、平成3年6月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の庁舎に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

平成 21 年度事業実施方針

1. 市民ニーズや地域課題を把握し市民参画の推進や市民活動・サークル活動の育成・支援に取り組む。
2. イベント等の実績や JL 育成拠点館の特質を生かし、住民や子どもたちの交流の場・機会を確保する。
3. 主催講座等の受講者が受身の学習で終わらずに地域活動を担っていくような人材の育成に取り組む。
4. 社会学級連携事業や子育て支援事業等により、学校や地域との連携・ネットワーク形成を図る。
5. 地域の各種情報を、市民センターだよりやホームページ等で情報提供・発信する。

特色ある事業

<ひろせを学ぶ地元学「愛子考」>

① ねらい

地域住民が地元を理解し、愛着を持って地域づくりに繋げられるように、愛子周辺の歴史・民俗・暮らし等の学習を行い、学習成果を地域に発信できるように取り組んでいく。

② 対象 地域の方どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 8回 / 179人

④ 事業への協力者・協力団体 まちの達人(地元講師)

⑤ 概要・成果

地元の歴史研究家やまちの達人の生きた歴史学(愛子の歴史・史跡・町並み・民俗・暮らし)等を講話と現地学習を組み合わせ学習した。転入者が多いこの地区において、歴史学習(地元学)の入門編として、また地域住民にとっては地域を知り、地域の良さを見直す良いきっかけとなった。地域への発信や保存に向けて、歴史学習サークルが生まれ活動を始めている。

<ひろせ地域連携企画会>

① ねらい

地域内の小学校の社会学級と地域課題について話し合いを持ち、より地域に密着した事業企画を協働で学校や地域に発信する。

② 対象 広瀬小学校、愛子小学校の社会学級

③ コマ数、参加延べ人数 10回 / 111人

④ 事業への協力者・協力団体 広瀬小学校社会学級、愛子小学校社会学級

⑤ 概要・成果

昨年度「愛子のおばちゃん探検隊」を結成し、伝統行事やまつり事、伝統料理など“おばちゃん”達にとっては当たり前でも次世代にうまく継承されていない事柄を発掘してきたが、今年度はその中から二つを事業へと発展させた。「親子食育講座・愛子のおばちゃんと郷土料理」では子供達は料理の面白さを、親達は郷土料理を学び、地域人材活用の場ともなった。「愛子の田植踊を踊ろう!」では後継者不足に悩む地域の伝統の踊り復活を掛け、二校に跨る小学生が共に集い踊りやお囃子を伝承する場を提供し、「学習フェア」で地域に発表した。

宮城西市民センター

沿 革

昭和 52 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

平成 21 年度事業実施方針

地域住民本位の生涯学習機能の推進。地域の交流・拠点機能の推進。地域のコミュニティづくり推進。地域のコーディネート機能の推進を図る。また、地域の情報ステーションとして地域の恵まれた自然と人材を活用した体験学習の場を提供し、今まで以上に地域の活性化を図るため、地域のネットワークづくりに重点をおいた事業に取り組む。

特色ある事業

<おらほ自慢>

① ねらい

それぞれ地域の自慢料理を出し合う事で、新しい発見と伝承を見だし、地域素材の見直しと地域の活性化につなげる。また、その成果をレシピ集としてまとめ、発表する。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 100 人

④ 事業への協力者・協力団体

JA 仙台農業協同組合

⑤ 概要・成果

主旨を理解してもらい、各地域から出し合った素材をもとに調理実習を重ね、レシピを蓄積していった。

郷土料理に絞り込むまで大変だったが、写真入りレシピ集が完成し、参加者の達成感と共にレシピ集への反響も大きかった。また、そのレシピを再現し、自分の住んでいる地域で広めるという動きもあり、さらに広く地域に還元することができた。

<出前講座>

① ねらい

交通機関の不便な地域住民にこちらから出向いて、公平な生涯学習の場を提供することで、生涯学習活動の振興と地域振興を図るとともに、社会生活及び生活文化の向上に役立てる。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 112 人

④ 事業への協力者・協力団体

下倉町内会婦人部・作並町内会婦人防火クラブ・西川前町内会婦人部
新川町内会・老人クラブ・大倉連合町内会

⑤ 概要・成果

町内会及びその所属団体を経由することで、地域内でほぼまんべんなく声がけされ、近隣で乗り合わせ、あるいは送迎するなどして、普段一人で出かけられない方も参加できるようになっている。また、開催時期も農閑期に合わせることで参加者に配慮している。「出前講座にしか来られない」という声もあり、西地区では欠かせない講座である。内容は各地域の意向を尊重し、こちらで提案して、和やかな集いになるよう心がけている。

大沢市民センター

沿 革

当センターは、青葉区の西北部に位置し、田園地帯や緑多い丘陵地帯など閑静な自然環境の中、平成2年5月、児童館・コミュニティ防災センターを併設し大沢市民センターとして開館した。

当地域は、古い史跡が点在する歴史ある地域でもあり、古くからの村落と、成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。このような地域の状況を背景にその特性を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

平成21年度事業実施方針

自然豊かな環境の中で、心の豊かさを実感できる地域づくり、地域の絆づくりに繋がる事業の推進と知縁づくりに向けて参画型の学習を推進する。加えて、住民が地域と関わる機会を増やし、コミュニティ意識を高める活動を推進することにより、地域づくりの拠点施設としての役割を果たしていく。

特色ある事業

<昔遊びを伝えよう>

① わらい

地域の高齢者と地元小学生の交流の場を設け、参加した高齢者が自分の知識をいかしながら、地域学習の運営ボランティアとして積極的に生き甲斐を持って地元で活動出来ることを目指す。

② 対象 地域の高齢者

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 42人

④ 事業への協力者・協力団体 大沢小学校

⑤ 概要・成果

大沢小学校を会場に、地域の高齢者が一年生児童に竹馬、竹とんぼ、お手玉、剣玉、あや取り、おはじき等昔遊びの遊び方を指導した。遊びを通して異世代間の交流が実現すると共に、高齢者が地域の中で貴重な人材として認められ、高齢者に活動の場を提供することができた。

<大沢地区地域防災安心ネット>

① わらい

大沢地区の町内会や小中学校等の関係各機関が、災害発生時に正確な情報を共有し地域住民の避難等速やかな対応や被害を最小限に防ぐ方法などを共に考え、地域の防災対策の整備実現を目指す。

② 対象 地域住民(17町内会)

③ コマ数、参加延べ人数 8回 / 236人

④ 事業への協力者・協力団体

大沢・川前地区社会福祉協議会、大沢・川前小学校、大沢中学校、宮城地区婦人防火クラブ第2支部、消防団芋沢・川前分団、宮城消防署、仙台市防犯協会大沢支部

⑤ 概要・成果

消防局の救助活動を通して見た岩手・宮城内陸地震の様子について話を聴き大規模災害の実情を理解し、地図上の災害想像ゲーム(DIG)ワークショップを行い地域の防災環境について学ぶことができた。また、消防団や婦人防火クラブの指導で救命救急講習会とサバイバル汁の調理実習・試食会を実施して緊急時の自助・共助について学ぶと共に、福住町内会の災害に対する取組みの話を聴き防災訓練を見学した後に模範例の一つとして地域に報告する等、今後の地域防災ネットワーク作りの方向性について話し合うことができた。

落合市民センター

沿 革

平成 6 年に開館した当市民センターは、広瀬川、齊勝川、蕃山などの自然環境と、仙山線（陸前落合駅）、国道 48 号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にあります。また、宮城県立こども病院を始めとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、更には大型商業施設も整備され、人口が増加している地域でもあります。

その様な地域環境の中で、当市民センターは設立以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されてきました。

平成 21 年度事業実施方針

- 1 地域住民の生涯学習拠点としての機能充実（学習情報の収集と提供・発信）
- 2 地域人材の積極的な掘り起しと人材ネットワークの構築
- 3 地域団体とのコミュニケーションを強化し、地域課題を把握、共有する。
- 4 地域住民交流の場としての、娯楽室・図書室・親子室・ロビーの有効活用
- 5 地域ネットワークの拠点としての活動（ホームページ、センターだよりの充実）

特色ある事業

<大型紙芝居づくり講座「蕃山と龍神さま」>

① ねらい

地域に昔から伝わる蕃山の雨乞いの話を、紙芝居にして、子どもから大人までわかりやすい形でつくる。また、制作上演することで、歴史的にも貴重な地域資源である蕃山の魅力を学び、広く次の世代につなげる。

② 対象 小学高学年以上どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 12 回 / 60 人

④ 事業への協力者・協力団体

宮城龍神太鼓演技団 栗生小学校

⑤ 概要・成果

地域の歴史研究家から雨乞いの伝承を聞いた後に、紙芝居づくりの専門家から指導を受け、脚本づくり、絵の描き方、読み方までをすべて体験した。

市民センターまつりで上演し、多くの地域の親子に見てもらえた。栗生小学校の総合学習の授業で上演する機会を得、地域へ関心を持ってもらう貴重なきっかけづくりとなった。紙芝居上演ボランティアの活動を継続して支援する。

<仙山線に乗って探検しよう>

① ねらい

JR仙山線の陸前落合駅から市民センターが近いという利便性を活かし電車での移動が可能な近隣の施設を見学する。夏休みに家族から離れ、社会体験や実技学習を行なう。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 15 人

④ 事業への協力者・協力団体

東北福祉大学 東北文化学園大学 仙台市水道局国見浄水場

⑤ 概要・成果

1 回目は東北文化学園大学で、障害者スポーツや光で熱と歪みを計る体験をした後、国見浄水場を見学した。2 回目は、東北福祉大学の芹沢銈介美術館で炭づくりに挑戦し鉄道交流ステーションでは、電車のお話を聞いて交流を深めた。

自分で切符を買って電車に乗り、親や先生以外のさまざまな大人と接し、夏休みの社会体験となった。

吉成市民センター

沿 革

仙台市北西部の吉成と南吉成小学校区の間位置に、市内 51 番目の市民センターとして児童館及びコミュニティ防災センターを併設し平成 8 年 4 月にオープンした。吉成地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。当センターは、吉成学区と南吉成学区の2連合町内会を管轄としており、吉成学区は 7 町内会約 7,600 人、南吉成学区は 7 町内会約 11,000 人、総世帯数約 7,000 世帯(平成22年3月26日現在)となっている。現在南吉成学区を中心に人口も増加の傾向にあることも含め、当市民センターの利用件数及び利用者数は増加の傾向にある。

平成 21 年度事業実施方針

- ・地域の諸団体や、組織の連携を深める。
- ・地域の人材や、学習資源を発掘し活用することを積極的に進める。
- ・受講生が学習で学んだことを地域に生かせるように支援する

特色ある事業

<青陵の森活性化プロジェクト>

①ねらい

市民センターと仙台青陵中等教育学校・市民との協働で、学校敷地内の「青陵の森」を整備し活用する。森の整備と併せ、観察会などを行うボランティアの養成、地域の緑化と環境保全の意識啓発、地域の憩いの場として生徒や地域住民との交流を図る。

②対象 成人

③コマ数, 参加延べ人数 3 回 / 62 人

④事業へ協力者・協力団体

・仙台青陵中等教育学校 ・権現森自然研究会

⑤概要・成果

「青陵の森」が「女子商の森」から移行して現在に至った経緯を学び、雑木林となった森を整備する中で、自然を守りながら地域の憩いの場となるように整備・活用していくボランティア団体が発足することに繋がった。

<ブックトークボランティア養成講座～子どもたちに本の魅力を～>

①ねらい

吉成地域は、小学校の朝読書への読み聞かせなど、ボランティア活動が盛んな地域である。更に中学生までの読書離れを防ぐために、何冊かの本の粗筋を紹介し、本の楽しさと読書意欲増進を図る、新たな手法「ブックトーク」のボランティアを養成する。

②対象 成人

③コマ数, 参加延べ人数 6 回 / 273 人

④事業へ協力者・協力団体

・仙台市民図書館

⑤概要・成果

ボランティア養成講座として、即ボランティア活動ができるように講座内容も実践的なものにした。修了後は、ブックトークの団体が発足し活動していくことになり、早速近隣地域の学校へ出向くなど活動の場が広がった。

木町通市民センター

沿 革

当市民センターは、木町通小学校の全面改築に伴い、平成16年4月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。人口では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の20代を筆頭に30代、40代、50代、60代と続き、この地域の特性と言える。

都心の中の複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら講座を通して学びの場を提供することを目指している。

平成21年度事業実施方針

「地域で活躍する人材の発掘・養成と知縁での地域づくり」を念頭に、地域ニーズの最優先事業として「子育て支援」と「子どもの居場所づくり」を年間を通して開講する。さらには地域と連携する事業をより発展させ、従来にもまして「ひと・まちづくり」を意識した事業を展開していく。

特色ある事業

＜木町通小学校連携事業 木町っ子！楽しく学ぼう交流講座＞

①ねらい

子どもたちが地域の方々の指導と一緒に学ぶ時間を共有することは、世代を超えた交流の場となる。地域の高齢者の方々との会話から、自分達が住んでいる木町通の良さを知り愛着を持つことができると同時に、豊かな心、思いやりの心をはぐくむ一助とする。

②対象 木町通小学校3年生全児童

③コマ数、参加延べ人数 4回 / 320人

④事業への協力者・協力団体

折り紙サークル「あじさい会」、木町通小学校

⑤概要・成果

- ・木町通小学校3年生の児童を対象に「あじさい会」のみなさんが木町通地域の「昔と今の変遷の様子、この地域の良さ」などの話も交えながら、「折り紙」の実技指導をする。
- ・児童は作品を完成させる達成感を味わいつつ、自分達の住む「木町通の今昔」をより深く知ることが出来た。センターは学校とボランティア団体との橋渡しができ、折り紙サークル「あじさい会」は活動の場の拡大に繋がった。

＜市民企画講座 木町通オリンピック～世界で遊ぼう～＞

①ねらい

木町通地域には多くの学生・留学生在が住んでいるが、互いに交流する機会が多いとはいえない。故郷は違っても、今は同じ仙台に住んでいる大学生同士が、他国の文化・習慣などを学び、それぞれの価値観や視野を広げると共に、仙台への関心を持つきっかけとする。

②対象 大学生

③コマ数、参加延べ人数 1回 / 24人

④事業への協力者・協力団体

東北学院大学公認団体 4-LEAVES

⑤概要・成果

- ・ふるさと紹介やスポーツレクリエーション、手巻き寿司での昼食会を通して異文化を学ぶ事で交流が深まり、コミュニケーション力の向上に繋がった。

中央市民センター

沿 革

仙台市の公民館は、昭和21年に在仙文化人有志による民間団体として設置され、その後、昭和24年に仙台市公民館条例が制定されて「仙台市公民館」が発足した。各地域の公民館設置とともに、昭和48年には中央公民館と改称。昭和58年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には中央市民センター・公民館となったが、翌年には中央市民センターと改称した。

当市民センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。そういった立地条件から、最近増加している核家族とともに、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発である。

平成 21 年度事業実施方針

社会変化に対応する為の事業を行い、市民力や仕事力を高めるとともに、異業種間・世代間の交流を深め、生涯学習情報や市民活動の情報を提供することで、主体的な学びの促進を図る。

また、市民が学んだ成果を地域に生かし、学びの輪を広げるように、学校や地域と連携して、コーディネートとしての役割を果たす。

地域課題や住民の声を汲み上げ、事業に反映・参画していけるよう努める。

特色ある事業

<宮城野文学散歩>

① ねらい

地域人材の協力をもらい、地域の文学碑や史跡を散策することで、歴史や文学に親しみ、地域への関心を高める。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 85人

④ 事業への協力者・協力団体

新寺ガイドボランティア 名掛丁東名会 松音寺

⑤ 概要・成果

榴岡界隈に多く点在する文学碑や名刹などを散策し、地域の魅力あるスポットを核としたまちづくりの様子まで紹介することができた。地域への愛情あふれる講師や寺院の協力で、文学や歴史だけでなく、この地域への興味関心が高まったとの声が多く寄せられた。

<市民企画会議>

① ねらい

主催講座の受講者が、学んだ成果をもとに、社会的課題を解決するための講座企画を話し合う。市民も講座の企画ができるということを体験的に理解してもらい、勤労者の市民センター事業への参画促進を図る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 12 回 / 44人

④ 事業への協力者・協力団体

⑤ 概要・成果

この地域にはスキルアップを望む若い世代や勤労者が多く、夜間開催の主催講座への参加も多い。そういった、講座への参加者が、気になっている社会的課題や自分達に必要な学習について話し合い、講座企画、当日の運営まで行った。
(「一生モノのコミュニケーション能力を身につけよう」全5回 参加延べ人数129人) 自分達の話合いが形になるという経験を通して、より主体的に学習活動に向かうようになり、また、講座の参加者も含めて、22年度の講座企画にも携わるようになった。

高砂市民センター

沿 革

昭和 43 年、仙台市高砂小学校校舎を改築し、高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和 54 年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区のほぼ中心部に複合施設として新たに開館した。高砂地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟などの自然に恵まれ、南部に広い田園地帯が広がっている。近年、急激な都市化が進み大型複合施設、商業施設等の出店も相次ぎ田園が住宅に変わるなど新たな住民が増加傾向にある。また、東北の海の玄関口としての役割が重要視されている仙台港を擁し、物流、工業生産、国際交流の拠点としての整備が進められ、後背地としての発展が大いに期待されている地区である。

平成 21 年度事業実施方針

地域課題である市民の安全・安心事業を重点に地域カルテを作成し、子育て支援、地元学、住民参画等の情報発信の場として各事業を展開していく。また、地域や関係機関との一層の連携強化を図り、元気で活力ある地域づくりを推進していく。

特色ある事業

<小学生防災講座>

① ねらい

近い将来高い確率で来ると言われている地震に備え、地震・津波・火災等の災害時に小学生が自分自身の安全と地域の一員として何ができるかを考え学ぶ。また、学校と地域が連携して防災活動を行うことを理解する。

② 対象 小学生（高砂・岡田・鶴巻小の児童、保護者等）

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 368 人

④ 事業への協力者・協力団体

・高砂地区日赤奉仕団 ・宮城野消防署高砂分署

⑤ 概要・成果

仙台市指定避難所での仮設トイレの組立て方や設置場所、災害時の避難方法や避難グッズの作り方を学び、「ぐらら」での地震体験、また地震から身を守る方法等を教わった。地域連携の防災講座として市民センター・学校・地域が理解を深めることができた。さらに、夏休み期間に開催できたことで保護者の参加もあり、効果的な防災学習の場となった。

<育児の中の自分みがき講座（託児付き講座）>

① ねらい

育児中の母親が感じているストレスを軽減し楽しい子育てを支援する。母親がリフレッシュできる内容と、親として知っておきたい知識を組み合わせ学習し、生き生きと子育てができる環境を目指す。

② 対象 子育て中の親

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 43 人

④ 事業への協力者・協力団体

・東北厚生年金病院 ・高砂保育所

⑤ 概要・成果

幼児の感染症についての対応、保育所・幼稚園等で集団生活を始める前の注意について学ぶとともに、母親の手軽なスキンケアと家族のアルバムづくりを行った。

参加者は、託児の安心感によって自分の時間を持ち、集中して作業に取り組むことで、気分をリフレッシュすることができた。また、日々の育児という責任感にとらわれている母親が自分を見つめなおす機会となり、有意義な時間となった。

岩切市民センター

沿 革

当市民センターは昭和24年仙台市に設立された7つの公民館の一つで、平成2年「仙台市市民センター条例」により市民センターと名称が変更された。昭和56年12月に現在の建物が建設され、平成18年6～12月に大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターの他に、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成22年3月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

平成21年度事業実施方針

当地区に住んで間もない若い世代のニーズを掘り起こし、新旧地域住民の交流の活性化を推進していく。また、旧来の自主サークルの高齢化や衰退に歯止めをかけ、地域住民の学習活動がさらに活発に行われるよう支援の手をひろげていくと共に、新しいサークルの誕生を念頭においた事業を展開し、地域の交流の場としてのセンター運営に努める。

特色ある事業

<事業名>いわきりdの子育て～もっと知って岩切

① ねらい

JR 岩切駅周辺の再開発に伴い、子育て世代の転入が増加している。旧来の良好な地域コミュニティが存在しているという地域的特長を活かしつつ、転入者にとって子育てしやすい環境を作る。

② 対象 岩切地区在住の未就園児とその親

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 203人

④ 事業への協力者・協力団体

宮城野区家庭健康課・宮城野区まちづくり推進課・仙台中央市民センター・地域の子育て関連13団体

⑤ 概要・成果

体操・コンサート・ショーなど親子で楽しい時間を過ごした後、毎回グループに分かれて岩切地区について話し合う交流会を設けたところ、それが予想以上の盛り上がりを見せた。第4回で紹介された地域の育児サークルにもおおいに関心を示し、その後入会した親子もいた。自分達でサークルを結成するには至らなかったが、閉鎖的になりがちな若い転入者の子育て支援の一步となった。

<事業名>すずむしの里づくりコンサート

① ねらい

仙台市の虫として制定されている「すずむし」と市民が、身近に親しんでもらう機会とする。仙台市が名実ともにすずむしの里となるようにという、すずむしの里づくり実行委員会の活動を、多くの市民に伝えていく。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 120人

④ 事業への協力者・協力団体

宮城野区・すずむしの里づくり実行委員会

⑤ 概要・成果

初めに宮城野区のすずむしについて解説し、実行委員会の活動を広く伝えた。その活動に賛同する地域の音楽家の奏でる音色と、すずむしの鳴き声のハーモニーがすばらしく、観客の感動を呼んだ。

鶴ヶ谷市民センター

沿 革

当センターが所在する鶴ヶ谷地区は、東北最大級のモデル団地として、昭和 43 年入居を開始した新興住宅団地である。当館は、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されることとなるが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点として機能している。なお、温水プールは、平成 11 年 4 月から外郭団体へと管理が委託されている。

平成 21 年度事業実施方針

- ・心ゆたかな「地域づくり知縁づくり」に向け、高齢者の多い地域事情を考慮し参画型の学習推進と地域コミュニティの推進に努める。
- ・市民センター事業と地域事業との連携を密に、学習機会や情報提供に努める。
- ・青少年の健やかな心身の健康づくりを図るため、学校内外活動事業の充実を図る。
- ・芸術、文化の創造・発展を目ざし、地域に愛され親しまれる音楽会を継続実施する。

特色ある事業

＜君もブチレスキュー＞

① わらい

避難所設営等の即応するに必要な地域の力となり得る人材の確保として、地域内中学生に避難所運営上必要な知識・技能を体験学習により体得し、ボランティア活動等への意識づけと即戦力を養う。

② 対象 中学 3 年生

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 597 人

④ 事業への協力者・協力団体

鶴谷中学校 西山中学校 宮城野消防署 救急サポートセンター ドコモショップ泉店 東北福祉大学ボランティアセンター 鶴谷地区民生委員児童委員 地域ボランティア

⑤ 概要・成果

避難所ボランティア実技体験。簡易トイレ組立・非常時の携帯電話の使い方・AED 体験・弱者疑似体験等を実施した。また、新たに実施した災害図上演習での地域内マップづくりが地域の状況を知る機会となった。地域の団体が指導・運営することで、いざという時、地域コミュニティが活き、地域に防災活動に対する理解の輪を広げた。

＜鶴ヶ谷まな Bee カレッジ ～みんなで始めましょう～＞

① わらい

地域には、これまで培った知識や特技を生かせずいる方が多くいると考えられる。地域人材をボランティア講師として活用するとともに、地域住民の交流・生涯学習への参加・地域コミュニティの推進・新たな利用層の拡充などを図る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 11 回 / 114 人

④ 事業への協力者・協力団体

地域ボランティア

⑤ 概要・成果

詩吟、折り紙、生け花、書道、編み物などを開催。

カルチャ的事業の実施や講師が顔見知りということもあり、参加希望者も多く、講座からサークルが立ち上がるなど、市民の学習意欲の向上が図れた。

榴ヶ岡市民センター

沿 革

日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和48年6月に開館し、平成元年4月に公民館が併設され翌年4月に榴ヶ岡市民センターに改称された。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園の東側に位置し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館・国の合同庁舎・クリネックススタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

平成21年度事業実施方針

新旧を併せ持つ地域環境の中で、「地域に根ざした地域の市民センター」を重点課題として取り組み、町内会および地域団体等との連携を強化し、来館者数、利用率の拡大を推進してきた。

今年度は、さらに地域コミュニティの拠点施設としての機能を高め、市民自らの地域課題に向き合い、住み良いまちづくりに市民協働で取り組み、市民活動の支援を強化していく。

特色ある事業

＜地域が育む子ども達＞

① ねらい

地域ぐるみで子育ての環境を整えるのは一朝一夕に完結するものではなく、地域課題や地域のニーズを検討し、それを企画実施する事業により、子ども達と地域の繋がりを確かなものにしていく。そのために、地域連携で「地域で育む子ども達企画検討委員会」を開設し事業を企画運営していく。

② 対象 小中学生の保護者・地域の方

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 74人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台市立榴岡小学校父母教師会・仙台市立東華中学校親師会・榴岡地区民生委員児童委員協議会・仙台市榴岡児童館

⑤ 概要・成果

多くの可能性を秘めている子ども達が、健やかに育つことを願い、子育てを楽しくするための講話『親と子のコミュニケーション』をテーマに実施した。

この事業を継続し、重ねる毎に地域が結束して子ども達を育む連帯感が強められてきている。

＜家庭介護講座「男性のための安心介護」＞

① ねらい

高齢化社会の中、介護の問題は会社や地域・家庭で取組まなければならない課題となっている。男性を対象に、家庭介護の基本的な知識や技術を学ぶ機会を提供し、男性の家事参加と高齢期の相互の支え合いを推進する。

② 対象 成人男性

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 20人

④ 事業への協力者・協力団体

東仙台地域包括支援センター・東仙台デイサービスセンター

⑤ 概要・成果

介護する側、される側が互いの心や立場を尊重し、安心して介護が受けられ、また、介護する側の負担を軽減し介護を続け、いざという時に困らない家庭介護の基本的な知識や技術を学んだ。この講座をとおして、受講生同士の交流が図られ、高齢期における家族の在り方を考え、地域で支え合うことの大切さを知る機会となった。

東部市民センター

沿 革

昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に全面改装され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。

当市民センターは、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。付近には、東仙台・苦竹・原町などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。近年、新田や新田東地区の人口増加により館利用管轄地域の範囲が広がってきている。

平成 21 年度事業実施方針

当市民センター管轄地域では、住宅地開発に伴い乳幼児をもつ若い夫婦・単身者など若年層が毎年増加している。一方従来の管轄地域では、地域高齢化・少子化が進み商店街の活気がなくなってきた。今年度は施設の大規模改修工事の予定はあるが、このような地域性を考慮し、地域連携事業、高齢者・子育て世代対象事業、市民参画事業などに絞って実施し、地域資源・情報の発掘にも力をいれ出前講座なども企画したい。

特色ある事業

＜東部あそびの原っぱ＞

① ねらい

子どもたちが異年齢集団で遊ぶことを通して社会性を育む機会とする。また、併せて地域内での子どもと大人の顔の見える関係づくりを目指す。

② 対象 地域の子どもと保護者および、住民有志

③ コマ数、参加延べ人数 2 回／168 人

④ 事業への協力者・協力団体

東仙台よろこびの会、新田よろこびの会、宮城野区ゲートボール協会、遊友会、ガールスカウト、東仙台中学校アルカス、ジュニアリーダー

⑤ 概要・成果

遊びの場を通して、子ども同士の異年齢交流や、子どもと地域の大人との交流の促進を図った。今回、出前として学校で実施した事が地域の多くのボランティア団体の協力を得ることができた。それとともに講座の目的を理解してもらい機会となり、次年度開催への手応えをつかんだ。

＜作って流そう「ぼんぼり舟」in 梅田川＞

① ねらい

昨年度に引き続き、市民企画会議を通して実施する。地元梅田川を身近に感じ大切に守っていこうとする意識を子ども達に受け継ぐために、梅田川での楽しい思い出となるような体験の場とする。

② 対象 地域の小学生 20 人

③ コマ数、参加延べ人数 1 回／19 人

④ 事業への協力者・協力団体

地元の市民企画委員 9 名

⑤ 概要・成果

地元小学生が梅田川に関心や親しみを持つ機会として、梅田川の生き物について学び、さらに「ぼんぼり舟」を作って流した。講座では、梅田川の植物採取や舟遊びなどの体験を通し、企画委員との世代間交流が図れた。

幸町市民センター

沿 革

平成5年4月20日、地域住民の長年の念願が叶い、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当施設がある幸町中学校区は、近年大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大楯地区と、与兵衛沼、柵江の森などの緑豊かな自然に恵まれた柵江地区からなる。仙台市ガス局をはじめ、県・市障害福祉センターなど公共施設やきぼう園、いずみ授産施設などの福祉施設とともに、国、県、市の公団住宅があり、民間も含め、集合住宅が多い地域でもある。ここ数年で地域の環境は大きく変化し、住民として、子育て中の世代や若年層の増加がみられる。

平成21年度事業実施方針

地域交流・地域コミュニティを一層推進すべく、「地域(住民)に愛される市民センター」を目指し、それぞれのライフステージにあわせた多様な学習課題、時代に即応した事業に取り組むとともに、休日、夜間講座の開設など住民参加の便宜性を配慮した事業を展開する。また特に青少年の市民センター事業への参加意識を高めるための講座を開設し、地域住民と学校との連携・協力を高め、地域コミュニティの構築を図る講座を推進していく。

特色ある事業

<ミニミニ菜園講座～安心・安全な野菜づくり>

① ねらい

食品問題が多くある現代において、野菜づくりを通して食生活と健康、食の安全・安心を考える機会とする。地元の農家の方を講師として、参加者相互の親睦と交流を図る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 11回 / 58人

④ 事業への協力者・協力団体

⑤ 概要・成果

小さな畑ながら季節の野菜づくりを行い、食の安心・安全について考える機会を提供することができた。

ひとつの畑で参加者全員で協力し作業することで、参加者同士の交流を図ることができた。

<障がい者支援サポーター体験講座>

① ねらい

障害がある方々の立場を理解するためさまざま体験や交流を行い暮らしのなかのハンディを理解する機会を設け、また今後、地域のなかで求められる「助っ人」のあり方を探る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 25人

④ 事業への協力者・協力団体

宮城県障害者福祉センター

⑤ 概要・成果

障害の理解や障がい者の方への接し方などを講話と体験をとおして学ぶことができた。

講座終了後、受講生の中から宮城県障害者福祉センターのサポーターとしてのボランティア活動に繋げることができた。

田子市民センター

沿 革

平成11年8月、仙台市で53番目の市民センターとして開館した。仙台市東部に位置し、市中心部と直結する JR 仙石線(最寄駅:福田町駅)や国道45号線等の交通利便性から人口が急増し、近郊都市化が進行している田子地域にある。施設規模としては児童館とコミュニティ防災センターを併設し、多目的ホールや会議室2室、和室2室、調理実習室、児童館図書室があげられる。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設に恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材も豊かで、地域づくりに関する住民意識が高く、防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。田子市民センターは、これらの立地要件を活かし、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

平成 21 年度事業実施方針

1. 地域連携を強化し、地域課題の解決に努め、地域の自然・文化を学び守る事業を展開する。
2. 市民センターだよりやブログ等による情報提供を充実し、講座等周知の工夫に努める。
3. 地域の人材発掘やボランティアグループの支援、市民協働事業を推進する。
4. 地域・学校・近隣市民センターとの連携に努め、地域ネットワークづくりを推進する。
5. 参加しやすい講座等の条件整備に努め、意見集約と反映する場の拡充に努める。

特色ある事業

<夜の避難所体験 in 田子中学校>

① ねらい

市民企画会「田子を愛する住民塾」による企画。地域の指定避難所「田子中学校」を会場に開催。地域住民の避難所確認と検証を行なう。夜間開催とし避難所生活の体験を通して防災意識や関心を深める。

② 対象 地域の方 300 人

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 264 人

④ 事業への協力者・協力団体

田子中学校区 10 町内会・田子中学校・宮城野消防署高砂分署・宮城野消防団高砂分団上田子部・福田町地域包括支援センター

⑤ 概要・成果

中学校の体育館・校庭において、避難所体験を行なう。消防車による放水訓練を皮切りに野外トイレ見学・ペットボトルランタンづくり・サバイバルメンタキ・アルファ米調理の他、防災コーナー展示見学を行なった。さらに田子中学校を避難所に指定されている町内会は、実際に避難所となる校舎内を田子中学校教諭の案内で一巡でき、普段校舎内に入る機会のない方々にとって有意義な体験となった。

<集まれ！にぎやかキッズ>

① ねらい

テレビゲームやゲーム機などの遊びが多い昨今のこどもたちに、創造的・実験的経験の場を提供し、物づくりや実験の楽しさに気づく場として開催するとともに、地域内の子どもたちの年令を超えた交流の場とする。

② 対象 小学生と保護者 15 組

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 48 人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台市田子中学校美術部・宮城野高校

⑤ 概要・成果

宮城野高校実験室を開放し、同校教諭の指導による科学実験、田子中学校美術部の部員が小学生を指導した工作(飛出すカード)はいずれも小学生の興味をそそり、関心を高める好機となった。

福室市民センター

沿 革

この地域は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR 仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。当センターは中野中学校区を管轄地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティー防災センターを併設。年々利用者も増加し地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

平成 21 年度事業実施方針

開館以来、「知って・来て・見てもらう」をモットーに地域の生涯学習の場として、各種講座を開設し、利用者増進に向けて取り組んでいる。

今年度も地域との連携を図りながら、学社連携や市民参画講座の実施により地域密着に努め、「地域に根ざし・活力に満ちた・愛される市民センター」の運営を目指す。

特色ある事業

<ふくむろ農園一句の野菜を知ろう>

① ねらい

当地域で作付けされている季節に応じた野菜の旬を知ってもらうため、低農薬での野菜作りを実践し、地産地消の推進を図る。

② 対象 地域の方どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 10 回 / 68 人

④ 事業への協力者・協力団体 JA 仙台北福室女性部 三浦みつ子氏

⑤ 概要・成果

平成 20 年度より始まり 2 年目となった「ふくむろ農園」は、市民センター敷地内の空きスペースを耕して作った農園である。

現役の農家の方から実地指導を受け、固くやせた土地の開墾から始まり、手入れを重ねることによってこのような土地でも野菜が収穫できることや、地域に合った野菜を栽培し、旬の時期に味わう喜びも体験した。

<日本クラシックの調べ～雅楽を聴く～>

① ねらい

管内小学校の社会学級と連携し、地域の生涯学習の推進を図る事業を目指す。

今回は、日本古来の伝統音楽である「雅楽」を鑑賞し、地域の住民が触れ合う場を提供する。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 120 人

④ 事業への協力者・協力団体 福室小社会学級、中野栄小社会学級

⑤ 概要・成果

在仙の笙演奏家・笙 YUU(しょうゆう)氏による演奏会を行なった。

地域の小学生を始め、高齢の方や近隣の老人施設、障害者施設の方々も多く来場し、なかなか触れる機会の少ないおごそかな笙の音色に感動を受けていた。

社会学級との協力体制も良好で、お互いのネットワークを生かしながら講座の運営に臨むことができた。

若林区中央市民センター

沿 革

当市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館した。その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変えたが、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転し、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は、児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。

若林区文化センターは、市民センター・図書館・市政情報センターが併設されている複合施設であり、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

平成 21 年度事業実施方針

これまでの事業方針と地域ニーズを踏まえながら、重点事業としての「学校や地域との連携」や「市民が学んだ成果を地域社会に生かす」という市民センターに求められている課題に継続して取り組むほか、「仙台市安全安心街づくり基本計画」等の行政施策対応事業にも積極的に取り組んでいきたい。また、日常業務としての広報・情報収集・サークル支援業務を充実したものとして、魅力ある地域づくりを推進していくものとする。

特色ある事業

<わたしを守る！～安全・安心な生活を送るために～>

① ねらい

子どもや女性などを狙った犯罪が増加している近年、事件に巻き込まれない方策を学ぶとともに実技(ロールプレイ)を実施し、万が一の場合の備えとする。また、地域の社会学級と連携することで市民センター利用層の拡大に繋げる。

② 対象 成人女性・小学生

③ コマ数、参加延べ人数

1 回 / 16 人

④ 事業への協力者・協力団体

講 師: 仙台南警察署署員

連携先: 南小泉社会学級

⑤ 概要・成果

子どもや女性が犯罪に遭わないために、自分の身を守る方法を実際に起きた事件をビデオ化したものを見ながら話を聞き、その後、護身術を実践した。

危険や犯罪は思ったよりも身近にあるということが再確認出来、また、学習したことを家族や知人にも伝えたいと言う声もあった。親子で参加した人は、自分の身を守るということを話し合いながら参加していた。

<市民企画「アツ」とたまげた若林～こごさもあるんだよーあんだの知らね所！～>

① ねらい

若林区民でありながら知らない所、知ってはいるが訪れる機会のない所が多々あると思う。そのようなところを見聞きしながら、かつての若林を思い巡らせ、これからの若林を考えるとともに、住民の交流を図る機会とする。

② 対象 若林区在住の方

③ コマ数、参加延べ人数

4 回 / 68 人

④ 事業への協力者・協力団体

講 師: 若林区役所区民部参事, 前霞目町内会長
武田染工場, 大友毛筆店

⑤ 概要・成果

1 回目は、区役所職員に若林の現況について話していただき、その後茶話会で質問や要望を出してもらった。2 回目は、伝説のある神社の見学や横綱谷風についての話。3 回目は、伝統の職人技の中から染物と仙台筆の見学とお話。最後は区役所周辺を巡り、真山青果の石碑、法領塚古墳などを見学し、その後お茶を飲みながら講座を振り返り、話し合いの場とした。参加者は、初対面の人がほとんどだったが、みんな打ち解けて話し合いも弾み交流を図ることが出来た。

七郷市民センター

沿 革

地元住民の要望により七郷公民館として昭和 58 年 4 月に保険センター・コミュニティ防災センターの複合施設として開館。平成元年には、七郷公民館・市民センターと呼称し、若林区の拠点館となる。平成 2 年七郷市民センターと改称。平成 5 年 9 月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成 14 年 4 月児童館を併設、さらに平成 22 年 2 月大規模改修工事を終え、リニューアルオープンした。

近年、荒井土地区画整理事業により新しい街並みが形成され、加えて地下鉄東西線整備事業も荒井起点ルート決定で、市民センターの果たす役割は大きくなっている。新旧住民が交流しながら発展する街づくり、文化づくりに市民センターは機会と場を提供している。

平成 21 年度事業実施方針

1. 地域の特性や利点を生かしながら、若い世代を意識した学習情報提供を充実させる。
2. 新旧住民同士が出会い、協働できるような事業企画を推進し、地域に愛される施設をめざす。
3. 地域コミュニティーづくりに貢献してきた「七郷市民まつり」の運営を、緩やかに変革していく。
4. 学習資源の発掘と、人材情報提供の充実を図り、積極的な学習相談を展開する。
5. 口コミでも伝わるように、サロンの空間や催事を用意し、広がりのある学習機会を提供する。

特色ある事業

<七郷かるた合戦>

① ねらい

将来を担う子ども達が、「七郷かるた」を通して、ふるさとの歴史や文化を学び、それをまた伝承していく心を育む機会を提供する。さらに、ジュニアリーダーの起用と地域人材の活用により、異世代間交流を図る。

② 対象 小学生と保護者・地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 15 人

④ 事業への協力者・協力団体 仙台市立荒浜小学校・「七郷かるた」制作者

⑤ 概要・成果

荒浜小学校との連携により、平成 20 年度に地域のボランティアの皆さんが中心となって作成した「七郷かるた」を活用したかるた大会を開催し、かるた制作者による解説を聞き、七郷の歴史・伝統・地理を学習する。また、ジュニアリーダーの活動の機会として読み手に起用し、交流を図る。成果としては、かるた大会後も、荒浜小学校から授業で活用するため、かるたの貸出しや増刷の依頼があり、交流が続いている。

<七郷子どもクラブ>

① ねらい

学校との地域連携を進め、週休 2 日間における子どもの居場所づくりと、環境の充実を図る。また、学校を会場とすることで、児童の市民センター事業への関心を促進する。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 47 人

④ 事業への協力者・協力団体 仙台市立七郷小学校・蒲町小学校・荒浜小学校 仙台市科学館・地域講師

⑤ 概要・成果

地域の食材を使ったクッキング編(1 回)、ゴムのヘリコプターや紙の橋を作るサイエンス工作編(2 回)、行事や節句を題材とした折紙編(2 回)を開催し、作ることの楽しさや達成感を味わってもらう体験学習。市民センターの大規模改修工事のため、クッキング編以外は、各小学校への出前講座として開催する。成果としては、21 年度より学校に地域連携担当の先生が置かれる中で、改修工事が契機となり、改めて、学校と市民センターが連携して講座を実施する上での協力体制を確認することができた。

荒町市民センター

沿 革

昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更になり今日に至る。建物は施設の老朽化と機能拡充の必要性から現在地に改築され新館として平成 22 年 2 月 2 日にオープンした。

当市民センターは、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

また、地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方はじめ市内全域から多くの市民に利用されている。日中はもとより、夜間も勤め帰りの勤労者の活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

平成 21 年度事業実施方針

かつて御譜代町として栄えた荒町界隈は、往時の面影を偲ぶことはできないが、近年、斬新な発想による町おこしのため様々なイベントが企画されている。商店街に七夕飾りを飾るのもその一つである。荒町七夕まつりの参加をはじめ地域との連携・地域の活性化を軸に、荒町の歴史、文化の再発見、誰もが参加できるように学習のバリアフリーを促進する講座を実施する。また、子どもの居場所づくり、世代間の人と人の触れ合いなど子育て支援事業にも取り組んでいきたい。

特色ある事業

<伝統の仙台七夕 手話通訳付>

① ねらい

荒町通りの七夕も観光コースに位置付けられているが、数が年々減ってきている。参加することで地域活性化に貢献できる。受講生には、見る七夕から作る楽しさを体験してもらうと同時に由来も学習し、より理解を深めることができる。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 91 人

④ 事業への協力者・協力団体 荒町商店街振興組合・西多賀手話同好会・地域の方

⑤ 概要・成果

- ① 講話「仙台七夕の由来と説明」および七夕飾り作りの実習
- ②～⑤ 実習 七夕飾りと並行してミニ七夕作製
- ⑥ 荒町通りに早朝飾り付けをし、その後七夕の視察・見学
荒町商店街の七夕まつりに大勢で係わることができ、地域活性化の一助となった。また、七夕飾り作りを通して健常者・聴覚障害者との交流が深まった。

<見る・聞く・語る荒町>

① ねらい

市民企画「残したい荒町」から生まれた講座。商業・まつり・学校・生活のそれぞれの立場の地域住民が講師となり、当時の様子や継承を語ってもらう。最終的には1冊の冊子にまとめる。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 11 回 / 101 人

④ 事業への協力者・協力団体 荒町商店街振興組合・三宝大荒神祭典委員会

⑤ 概要・成果

- ①～⑤ 講話「荒町の歴史」「地域で守る三宝大荒神」「写真で見る荒町」「仙台最古の小学校—荒町小学校—の思い出」「商店街のおかみさんを囲んで」
- ⑥～⑪ 編集会議・冊子作り
地域をあらためて学ぶことで、新たな発見があった。地元への関心が深まり愛着を持つことにつながった。成果物は今後の活動に活用できる。

六郷市民センター

沿 革

昭和 56 年地域住民の福祉増進を目的に、保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年には「六郷児童館」が併設され、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有しており、河口には美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や伝統が残されている。農業地域である東六郷地区と宅地化が進む新旧住民の混在する六郷地区に二分され、高齢化は進捗しているものの、1 万 5 千人弱の人口で推移している。

平成 21 年度事業実施方針

従来から地域諸団体と連携した自主企画による地域活性化に向けての活動を促進すると共に、自然環境・歴史・伝統などを学び、地域を知り・地域に親しみ・地域を愛する基盤を作り上げて来た。

今年度は市民センターをプラットホームとして地域住民の自主的な活動のもとに、地域連携と世代間交流の環を深化・拡大させながら地域活性化への取り組みをより具体化していく。

特色ある事業

＜若林東部水辺“堀”おこし事業＞

① ねらい

太平洋沿岸の東部地区は深沼海岸・貞山堀・井土浦干潟など美しい自然が残され、区内の市民利用施設等もある。これらを結びつけ自然・健康のテーマで総合的に学びの場を提供する為、地域団体の協力を得ながら地域再発見とコミュニティ作りに繋げる。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 159 人

④ 事業への協力者・協力団体

六郷老人クラブ連合会・六郷NWサークル・三本塚漬物クラブ・地域包括支援センター・水都わかばやし区民の会・家庭健康課・まちづくり推進課・若林区内市民センター

⑤ 概要・成果

若林区内連携事業 3 講座のうち六郷市民センター主催「レッツ・トライ・ウォーキング in 六 Go」では、誰もが参加できるウォーキング・インストラクター指導のノルディックウォーキング初心者・経験者の 3 コースに分かれ、123 名が堀沿いサイクリングロード・海岸公園冒険広場・馬術場・深沼海岸を歩いて健康増進を図った。また、七郷町内会長より貞山堀の歴史講話を伺い、老人会が地元野菜で作った芋煮や漬物を堪能、諸団体の協力で地域外の市民にも東六郷の良さを周知する機会となった。

＜六郷ふれあいサマースクール＞

① ねらい

市民センターで活動する各種サークルが、地域の子供達に学校では得られない技や知識を学ぶ場を提供し創造力を育むと共に、学びの中で異学年交流や世代間交流を図り地域活性化に繋げる。

② 対象 小学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 19 回 / 245 人

④ 事業への協力者・協力団体

市民センター利用サークル・六郷小学校・東六郷小学校・六郷中学校・六郷児童館

⑤ 概要・成果

夏休み中の活動日に子供達を受け入れ、日舞・煎茶・囲碁・拓本・民謡などの日本文化体験や礼儀作法を学ぶ機会を提供した。また、ちぎり絵・料理・リサイクル品作成・すずめ踊り・フラダンスなどマンツーマンによるきめこまやかな指導で活動の場が広がると共に、子供達と高齢者との微笑ましい触れ合いによる地域交流が図られた。

沖野市民センター

沿 革

当市民センターは、平成3年4月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。平成4年センター前広場には、芝生と多種の木が植えられ「光と風」を設計コンセプトとした豊かな広場を持つ市民センターとして、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んであり、その利用者数は年々増加の傾向にある。

平成21年度事業実施方針

「地域と共に歩む市民センター」をめざし各種事業を展開してきたところであるが、21年度はさらに地域の関係機関と連絡を密にしながら「地域住民参画による地域住民のための生涯学習の提供」を基本理念として、住民同士の交流や地域活動の活性化が図れる事業に力を入れることで、地域づくり支援に取り組み、地域コミュニティの拠点施設としての確立をめざす。

特色ある事業

＜読み聞かせボランティア養成講座＞

① わらい

読み聞かせのスキルアップを向上し、読み聞かせを通じて近隣の小学校や児童館、地域との関わりを深め、ボランティアとして活躍することをめざす。

② 対象 成人20人

③ コマ数、参加延べ人数 4回／104人

④ 事業への協力者・協力団体 お話ボランティアきらら・沖野小学校・沖野東小学校

⑤ 概要・成果

懇談会で小学校からの依頼で開催。絵本の魅力や読み聞かせの大切さを学び、実際にボランティアとして活動している団体の協力の下お話を開催した。19名の方が目的の「小学生での朝の読み聞かせボランティア」として登録し、活動を開始した。地域の為に何か出来ることをしたいという前向きな行動が地域活性化に繋がりがつつある。

＜沖野で地産地消＞

① わらい

自然に恵まれ昔から農業が盛んであった沖野の農家の現状を知り、日本の農業、地域の農業を学ぶことにより、地産地消、食育、食の安全を考える。

② 対象 成人20人

③ コマ数、参加延べ人数 4回／66人

④ 事業への協力者・協力団体 仙台農業共同組合・地元農家2軒

⑤ 概要・成果

地域の農業の現状について学び、農家見学をして生産者と消費者の立場から交流を深めた。又地元の食材を使い調理実習を行い、食材の良さを見直すきっかけになった。小学校の豆腐づくりの授業の手伝いに参加することにより、学んだ成果を少しでも地域に還元することが出来た。

若林市民センター

沿 革

当市民センターは、平成3年4月に若林児童館、コミュニティ防災センターの併設施設として開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。管内は政宗ゆかりの史跡や商人街の歴史を伝える町名を残し、広瀬川の自然に恵まれている。また、平成6年度から地域町内会等と一体となった「若林ふれあいまつり」を開催し、平成9年度からはコスモスを育て、その開花時に地域住民が集う「若林コスモスマつり」を定例行事として開催している。

平成 21 年度事業実施方針

市の施策に基づく拠点機能の充実を目指し、学社連携等の事業、地域住民が参画し交流を深める事業、青少年、家庭を対象とした事業等を展開していく。その際に地域の人材や資源を活用し、地域指導者等との交流や拡充を通して地域コミュニティづくりを促進する。

また、積極的に情報収集を行い、ニーズに合ったタイムリーな学習機会・情報を提供し、地域住民との意思の疎通・情報交換により市民センターの役割を認識し、生涯学習の充実を図る。

特色ある事業

<コスモスボランティア養成講座>

① ねらい

若林コスモスマつりの中心で、コスモス育成のボランティア団体「ゆうゆうコスモス」の高齢化が進み、コスモス植栽事業が危機に接している現状を一般に広報し、新たにボランティアを募り植栽事業の継続と活性化を図る。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 53人

④ 事業への協力者・協力団体

ゆうゆうコスモス・若林小学校PTA

⑤ 概要・成果

地域ボランティア団体「ゆうゆうコスモス」と連携して、広瀬川河川敷にコスモスを植栽育成するコスモスボランティアの養成と育成事業をおこなった。このことにより、地域連合町内会と連携して行うコスモスマつりにおいて地域各団体や市民センター利用サークル等に集う場を提供し、植栽事業の重要性を理解してもらう事が出来た。又、講座開催日以外でも現地で手入れする受講生が現れる成果もあった。

<歩いて訪ねる若林>

① ねらい

メタボリックシンドロームなどの健康問題が取り上げられている現代、その一因として歩く機会が少なくなっていることが考えられる。地域を歩いて訪ね、地域の良さを再認識すると共に、歩くことの楽しさ、健康作りの重要性を学んで今後の健康ライフに役立てる。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 97人

④ 事業への協力者・協力団体

若林学区民体育振興会

⑤ 概要・成果

地域を歩いて、歩く楽しさや健康づくりの重要性を学び、その後の健康ライフに役立てた。地域の名所をとりいれたことにより、楽しみながら健康増進が図られ、参加者同士のコミュニケーションも生まれた。

太白区中央市民センター

沿 革

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなすJR長町駅前に太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターからなる複合施設として開館した。JR長町駅前と国道旧 4 号線沿道という立地条件に恵まれ、バスや地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れているため、近隣の広い地域の市民が学習活動に利用している。

当市民センターの周辺地域は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のあるところであるが、近年においては地下鉄沿線の開発が著しく、大規模小売店の進出やマンション建設が進み、またJR東北本線の高架化やJR長町駅の移設に伴う新駅の開通などに伴い、長町地区の交通の利便性が更に増し今後大きく変貌を遂げようとしている。

平成 21 年度事業実施方針

市民センターの機能を十分に生かしつつ、近隣の地域団体・教育機関等と連携・協働しながら事業を展開していく。特に「継続事業として町内会と連携しながら遠い地区への出前講座の開催」、「あすと長町整備事業にともなう地域振興企画の提案及び地域コミュニティの熟成」、[教育局と連携しながら地域の大人との交流を通じて子ども達のすこやかな育ちを支援するネットワーク作り]、「若い世代を対象とした講座の開催」の 4 つを重点事業に対応する事業を実施する。

特色ある事業

<みんなで減災・みんなで安全なまちに>

① ねらい

地震体験や交通安全の学びを通して日ごろ希薄になっている地域のコミュニケーションのあり方を探り、いざという時に地域で助け合える関係づくりの場を提供する。

② 対象 門前町内会住民・緑ヶ丘地区連合町内会住民

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 134 人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台市太白消防署・太白消防署長町分団・仙台ひと・まち交流財団交通安全指導課・仙台市消防局

⑤ 概要・成果

1. 「ぐらら」体験を通して災害時の準備物や地域の助け合いの必要性について学ぶ。
2. 講話やビデオ視聴により高齢者が振り込め詐欺や交通事故から自分の身を守るための工夫について学ぶ。

<成果>

町内会との新しい関係づくりができ、市民センターへの関心が高まり次年度連携事業へ繋げることができた。また町内会の行事がこれまで以上に盛り上がりを見せ連携の効果を高めることができた。

<炭焼き体験教室>

① ねらい

地元長町地区で使用した七夕飾りの竹を炭にして活用することを通して緑化意識の高揚と 3R 活動における Reuse の普及啓蒙を図る。

② 対象 小学生とその保護者

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 8 人

④ 事業への協力者・協力団体

登米町森林組合・長町商店街振興組合青年会

⑤ 概要・成果

- 1 七夕飾りの竹の回収と裁断
- 2 竹炭体験
- 3 竹炭をフェスタで配布

<成果>

竹を再利用する方法を学び、環境保全を考える機会となった。また、竹炭作りという未知の体験ができた。

生出市民センター

沿 革

昭和 24 年、生出村公民館として発足、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和 31 年仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。

地域住民の強い要望から昭和 42 年 5 月、地域社会教育の拠点として現在地に生出公民館が建設され、事業が活発になった。その後昭和 55 年 5 月に、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望されるようになり、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設としてオープンに至った。その 10 月には第 1 回生出コミュニティーまつりが開催された。平成 2 年に生出市民センターに改称され、市民相互の交流と地域活動の振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

平成 21 年度事業実施方針

当市民センターの地域は、昔からの伝統と自然が残されている坪沼地区、かつては繁栄した旧笹谷街道沿いの茂庭地区、北東部の団地を中心とした地区で成り立っているが、少子高齢化と過疎化の進展により、地域の再生、再開発等のまちづくりが大きな課題となっている。

特色ある事業

<おいで健康づくり事業>

① ねらい

生出地区において、地域、学校、区、市民センターが連携し、健康づくりをテーマに、地域ネットワークを進め、地域活動の活性化を図る。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 82 人

④ 事業への協力者・協力団体

生出学区連合町内会・太白区健康福祉センター・太白区中央市民センター

⑤ 概要・成果

「地域が支えるこれからの子育て」をテーマに、地域や家族のあり方の提案と学習。「みんなで支える孫育てセミナー」。子育て世代の親と、よりよい関係を築くために、どうつきあったらよいのかを一緒に考えた。また、最近の子育て事情について、現場の保育士からの報告を聞いた。

子育てへの気持ちの確認ができたと共に、同居家族の理解が一層深まった。また、講座運営に関し、地域住民の積極的な協力が得られた。

<坪沼お宝ウォッチング>

① ねらい

坪沼地区の地域活性化のために、「お勧めスポット」を発見し、地域外の方たちと交流を図りながら、地域サポーターも同行し地域資源発信について学ぶ。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 21 人

④ 事業への協力者・協力団体

やるっちゃつぼぬま実行委員会

⑤ 概要・成果

「ここが坪沼田舎の収穫祭」への参加とともに、いにしへの里坪沼地域が保有している素晴らしい古城跡や伝説地等を、地域ボランティアと一緒にウォッチングし、デジタル写真で記録。「坪沼お宝マップ」を作成した。広報活動により、収穫祭参加者も大幅に増加したとのことで、市民センターの役割を担うことができた。また、参加者と地域住民との交流は、精神的な地域活性化の視点からも有意義であった。

中田市民センター

沿 革

昭和 44 年 10 月に、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築。平成 2 年 4 月に「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの外壁塗装や体育館暖房装置設置等を内容とした大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月にリニューアルオープンし、現在に至る。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は太白区内市民センター 13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進の重責を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

平成 21 年度事業実施方針

市民センターがまちづくりの地域拠点としての機能を発揮できるよう地域の諸団体と連携しながら事業を実施する。特に地域課題である子育て支援や小中学生の健全育成、地域の高齢者に対応した事業を実施する。また、町内会など地域活動も盛んな地域特性を土台にして、転入者と旧住民が一体となって地域づくりを検討する場を作る。地域交流の場となっている中田まつりや篝火コンサートに、地域の声をより幅広く取り込み、更なる地域づくりにつながる様にしていきたい。

特色ある事業

<中田のお宝発見-トレジャークッキング>

① ねらい

子ども達が自分の住んでいる町を歩き、食材や地域の食文化や地域の人材などを調べることを通して中田地域のまちの資源と地域性、生産から流通など地域と食環境についてのかかりについて考える。

② 対象 小学校 3～6 年 30 名

③ コマ数、参加延べ人数 3 回／36 人

④ 事業への協力者・協力団体 尚絅学院大学総合人間科学部

⑤ 概要・成果

第 1 回：中田の商店街や畑を歩き、地元の食材をさがす。

第 2 回：探した食材を使ったおやつを考える。

第 3 回：考えたおやつを作り、地元の方、家族を呼んでふるまう。

まちを探検し、地域の農産物を使ったおやつを考え作ることによって住んでいるまちの食の環境について考えることができた。また、おやつの役割を知り、日頃の食生活を考える機会にもなった。

<名取川の自然と環境>

① ねらい

中田の恵まれた地域資源である名取川の持つ魅力を知り、体験学習をとおして、身近な環境について課題を見つけ、考え、取り組み、行動することを学ぶ。

② 対象 小学生と保護者

③ コマ数、参加延べ人数 2 回／18 人

④ 事業への協力者・協力団体

⑤ 概要・成果

第 1 回：「名取川はどんなところか見てみよう」、「川の水に入ってみよう」

環境学習、自然観察、ゴミ種類調査、ライフジャケットを着用しての水の中観察と生き物捕獲

第 2 回：「名取川はどんなところだったかな？」

各人の観察結果のまとめ、感想の話し合い

名取川に行って、生物や環境について見て聞いて触れたことで、ゴミ、虫類や食用魚の生息、危険箇所等、様々な対象に興味を持ち、自然や環境について考える機会を得た。

西多賀市民センター

沿 革

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和50年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和53年仙台市として5番目の福祉会館として開設した。昭和58年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成3年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

平成21年度事業実施方針

様々な属性をもった地域住民が利用するきっかけとなるように、学習ニーズを把握し、事業の魅力づくりと参加しやすい条件の事業を行う。地域の資源を学び、成果を地域に還元することで、コミュニティ意識の醸成に努める。小学校、中学校、地域の各団体との連携事業を推進し、日常的に情報交換に努める。地域を基盤としたサークル活動の支援、育成を行うことで、地域ネットワークの拠点機能の確保に努める。

特色ある事業

<にしがふれあい広場～かけがえのない命を学ぶ～>

① ねらい

育児や妊婦の疑似体験をすることで、中学生になった今の自分について、その誕生から現在までの成長を振り返る。その中で、命の尊さ、他者への思いやり、親との関わりを考える機会とする。

② 対象 西多賀中学校1年生

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 115人

④ 事業への協力者・協力団体

太白区保健福祉センター、西多賀中学校保護者、地域に住む妊婦

⑤ 概要・成果

中学生が妊婦疑似体験や育児体験をすることで、自分の誕生を振り返るきっかけとなった。感想から、命の大切さを実感したこと、他者へのおもいやりを考える機会になったこと、母親や家族への感謝の気持ちを感じたことなどが伺えた。保護者や妊婦も講座を手伝うことで、連携事業への理解も深まり、連携先相互間の新たなネットワークの構築へと繋がった。

<環境講座～天沼の自然～>

① ねらい

地域の資源である「天沼公園」は、地域の保護活動がみのり、環境が改善した。小学生の頃からこうした活動を理解し、現在の環境に関心を持つことによって、地域の自然環境の保全の意義や大切さについて学ぶ機会とする。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 83人

④ 事業への協力者・協力団体

天沼公園愛護協会、仙台市環境局環境都市推進課

⑤ 概要・成果

親子や家族で参加し、天沼の四季折々の自然に触れることで、天沼や自然環境について家族で話し合うことになり、小学生にも、環境を考える機会となった。本講座参加者以外の地域の方との交流も図られ、地域の資源である天沼は、憩いの場であり、この環境を更に守っていくとする共通の認識が図られた。その結果、「天沼公園を花いっぱいにしよう」という地域の要望を把握できたことから、次年度の講座の企画に活かしていく。

八本松市民センター

沿 革

当市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和59年9月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として着工し、昭和60年5月に開館した。さらに平成20年4月には、八本松児童館が新たに併設された。近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、歴史資産として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

平成21年度事業実施方針

学校、行政、地域各団体と連携した事業を行い、地域とのネットワークづくりを推進し、実施講座からあらたに人材・資源の発掘を積極的に行う。また地域の歴史的遺産、自然資産に関連する講座、文化的資産のあらたな発掘など、継続的に事業を行うことで地域住民がより一層愛着心もてるように、コミュニケーションをはかりながら地域力の強化を推進する。

特色ある事業

<パソコンでお知らせを作ろう>

① ねらい

PTAや子ども会、町内会など地域情報を自らが編集し、発信できる人材を育成しその後の社会活動につなげる。

郡山中学校と連携し夏休み中のパソコン室を使用。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 112人

④ 事業への協力者・協力団体 仙台市立郡山中学校

⑤ 概要・成果

講師は、東北電子専門学校ITサポーターで3日間連続で実施。参加者は地域の町内会役員が多く、自宅で十分に活用されていなかったパソコンを、あらためて学び直し地域活動に生かす意欲を引き出した。郡山中生徒の参加協力もあり異世代間交流が図れた。中学校の先生方とも協働でき、地域と学校をつなぐ橋渡しができた。

<八本松広瀬川探検隊>

① ねらい

広瀬川という地域の環境学習素材を活かし、自然を守る大切さを学ぶ。また、親子での体験活動を通し、親子のより良い関係づくりの一助とする。

② 対象 小学生と保護者

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 104人

④ 事業への協力者・協力団体 嘱託社会教育主事

⑤ 概要・成果

6月：ホテル観察会、7月：川の生き物観察とカヌー体験。11月：サケの観察を実施。国土交通省仙台河川国道事務所、広瀬・名取川漁協等、地域の方々を講師に、当地域を流れる広瀬川を親子で体験する講座として認知されている。参加者は、地域外の小学生親子にも広まっており次年度も参加したいとの要望もあった。

八木山市民センター

沿 革

八木山市民センターは、昭和 62 年 4 月 6 日、仙台市南西部に位置し昭和 30 年後半～40 年代中頃にかけて整備・開発された豊かな自然と調和の取れた住宅地である八木山地区に、開館。

センター隣接地が、平成 27 年開業予定である地下鉄東西線の西起点(動物公園駅)となることから平成 20 年 11 月体育館が新たにセンター北側に増設された。市民の自主活動及び生涯学習の拠点施設として利用され親しまれている。また、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療等の施設が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域でもあるので、今後ますます大きな変貌が予想される。

平成 21 年度事業実施方針

学校や地域との連携を図る事業として東北工業大学・八木山防災連絡会との連携「地震災害に強い街・八木山をつくる～減災対策・わが家の安全診断～」、八木山動物公園・仙台市公園緑地協会・八木山ベニーランド・東北工業大学共催「こどもにやさしい yagiyama～秋の八木山フェスタ～」など、地域の特徴を捉えながら地域連携を軸に事業を実施する。市民参画型事業として、「子育て支援事業～いっしょにあそぼう！！～」他を実施。

特色ある事業

<地震災害に強い街・八木山をみんなでつくる～減災対策・わが家の安全診断～>

① ねらい

近い将来、確実に発生する大地震に備え、過去に被害の大きかった地区を抱える八木山の住民が、減災対策や地域コミュニケーションの必要性を学び、「地震災害に強い街・八木山」をみんなでつくるネットワークづくりを目的とする。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 81 人

④ 事業への協力者・協力団体 東北工業大学地域安全安心センター 八木山防災連絡会

⑤ 概要・成果

「自分の住んでいる地域を知ろう」「ティッシュハウスを作って地震を体験しよう」「地震災害で家を失わないために」をテーマでの講話とワークショップ

小学生と地域住民との合同授業など、地域に暮らす子どもも含めて地震のメカニズム・減災対策等を学ぶことにより、地域住民に減災・罹災に対する意識が高まった。地域住民・町内会・大学等地域ぐるみでの備えと協力し合うネットワーク作りは、着々と強固になりつつあると考えられる。

<八木山子どもひろば>

① ねらい

子どもの居場所づくりとして、健全な余暇活動の場を提供し、人間性豊かな子どもを育成するために異世代間交流を図る。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 69 人

④ 事業への協力者・協力団体 千葉瑠依子、読み聞かせボランティア「かぼちゃ畑」 嘱託社会教育主事 大谷信之、おりがみ八木山

⑤ 概要・成果

工作や遊び、絵本の読み聞かせと絵本にでてくる料理作り、蕎麦打ち、焼き板づくり、折紙の体験。各協力団体の講師たちとの体験と交流は、子どもたちが目を輝かせながら積極的に活動する様子と実際の子どもの声から、充分達成したと考えられる。また、八木山南小学校校庭を使つての焼き板作りも特筆すべき貴重な体験であった。

山田市民センター

沿 革

当市民センターは、コミュニティ防災センターを併設して昭和62年4月17日に開館した。近隣には大規模な開発によってできた人來田・太白の団地群を含み、藩政時代に造られた杉土手などが現存する自然にも恵まれた環境にある。また、周辺には太白消防署・鉤取球場・仙台市縄文の森広場などがあり、スポーツやコミュニティ、学びの場として広く利用されているとともに、安心・安全の地域中枢にもなっている。

こうしたなか、山田市民センターは地域の生涯学習やコミュニティづくり、また憩いの場として住民より親しまれ、活用されている。

平成21年度事業実施方針

地域の交流拠点として、「地域に密着した市民センター」を目指し、地域団体や市民グループ・サークルの交流や知縁づくりに力を入れ地域づくりを推進する。事業としては、地域の特性を生かした、少子高齢化に対応する事業や、自然、歴史遺産を生かした事業、また小学校、地域団体と連携した事業を重点に展開する。更に、市民の積極的なコミュニティーづくりの関心を高める事業として、市民企画会議や懇話会、ロビーコンサートなどにも力を入れる。

特色ある事業

<『食』不安時代—食品の正しい選び方・食べ方>

① ねらい

食についての疑問点や報道だけでは解らない「食」の安全についての講話を聞くことで、日頃から感じている「食」への不安を取り除いてもらう。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 80 人

④ 事業への協力者・協力団体

上野山小学校社会学級、太白小学校社会学級

⑤ 概要・成果

上野山小・太白小社会学級と共に地域の抱える課題について話し合い、企画した。地域の広い年代の方が身近で興味関心のある「食の安全」について取り上げ、地元の大学に講師を依頼し講演会を開催した。
連携団体が積極的に PR・運営に携わるなどを通し、普段は接点の少ない地域団体間の交流の機会となった。また社会学級のメンバーだけでなく、多くの地域住民の参加があり、食の安全についての見解を深める機会となった。

<大地震、その時に—いざというときに備えて>

① ねらい

近い将来必ずくると言われている宮城県沖地震について、地震が起きたときの行動や日常の備えについて、過去の経験や情報を参考に災害についての学習の場を提供し災害への備えとする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 46 人

④ 事業への協力者・協力団体

太白消防署、山田町内会、山田住宅町内会

⑤ 概要・成果

災害や地震が起きたときの行動や備えについて、講話や実技、宮城県沖地震の記録を通して具体的に心構えや準備事項などを学び、より万全な備えになったと思う。座学だけでなく、実際に町内を歩いて学ぶことで、講座の内容をより身近に感じる事ができたようだ。近隣の町内会から役員等の参加があり、町内会間の情報交換の場としても活用された。

茂庭台市民センター

沿 革

茂庭台地区は仙台市西部で青葉区に隣接し、西道路を利用すれば市内中心部より約 20 分の距離に位置する。当センターは昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターとともに設置され、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業が開始され、平成 2 年から児童館が併設された。近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、周囲の自然環境と調和し地域コミュニティの場となっており、高齢者、子ども、福祉施設の方々、外国人居住者の利用も多く生涯学習の輪も広がっている。また、地域住民、各種団体に参画を頂き地域性を生かした事業、地域人材を活用した講座や地域課題に即した講座を開催している。

平成 21 年度事業実施方針

1. 地域課題を把握し外国人の言語指導、高齢者の健康講座、児童館との共催事業の推進。
2. 近隣の市民センターと協同し、市民からの学習相談及び、より良い学習情報を提供していく。
3. 地域課題に即したボランティア活動为目标とした講座を開催し地域に学習成果を還元する。
4. 市民が参加できる小中学校との連携事業や地域各団体との共催による事業の開催。
5. 町内会連合会、各種団体と地域懇話会を開催し、地域に即した事業運営を行なう。

特色ある事業

<市民企画「よみがえれ！水道山」>

① ねらい

平成 19・20 年度で行った水道山自然体験講座をきっかけに、地元の自然公園としての水道山への関心が高まっている。企画員を募り水道山を地域の憩いの場としてよみがえらせる事を目的とする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 56 人

④ 事業への協力者・協力団体 地域在住の森林インストラクター

⑤ 概要・成果

水道山の観察を通じて現状と課題を把握した後、遊歩道の整備や竹林の伐採を行い倒木でベンチを作成したり、整備作業を通して企画員と参加者の交流が図られた。

また「水道山の自然と素材」と題し、企画員が講師を務め、整備で出た木や木の実を使って親子対象の工作を行った。明るく歩きやすくなった遊歩道が地域の方の憩いの場として復活する兆しを見せている。

<地域懇話会>

① ねらい

町内会、学校、各地域団体にお集まりいただき、地域課題についての意見交換と市民センターが行う生涯学習事業に対するご意見を伺うことで地域活性化の推進を図る。

② 対象 成人(地域の方)

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 22 人

④ 事業への協力者・協力団体 茂庭台学区町内会連合会 茂庭台小・中学校 茂庭台小・中学校父母師会 茂庭台地区社会福祉協議会 茂庭台地区防犯協会 他

⑤ 概要・成果

協議の中から地域団体の連携を深めるために、次年度、以下を行う事となった。

- ① 地域団体の代表から構成する「茂庭台地区市民センター事業推進委員会」を発足する。
- ② 各団体の活動を掲載した「茂庭台地区地域活動年間カレンダー」を作成する。
- ③ 各団体をグループに分け地域課題等の話し合いを行い、課題を共有し地域のネットワーク化を進める。

東中田市民センター

沿 革

東中田市民センターは、平成元年4月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

仙台市太白区の東南端・名取川下流域に位置するこの地区は、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村地帯であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業地帯の発展も著しい。新旧住民が混在し、地域が急速に発展している地域環境にあって、今後、総合的かつ重層的な地域コミュニティの確立が望まれている。

平成 21 年度事業実施方針

従来から、利用者のニーズや興味のある講座への参加者は多々あり、今年度も住民が求めている生涯学習の企画を探りだしていきたい。例えば、メンタルヘルス系などの講座への反響は良く、今後も新しいニーズの発掘に努めながら、充実させた内容で継続実施することで、地域に浸透させ、継続活用 の場を確保しながら、発展させるための協力をしていきたい。また、地域の伝統等を地元の方から若い世代に伝えるような企画で、交流を図れるような取り組みをしていきたい。

特色ある事業

<東中田ファミリーコンサート>

① ねらい

音楽に親しみ、地域住民の交流を図る事を目標として、地域に根差した合唱サークル団体の交流による市民音楽祭を開催し、地域づくりに繋げていく。地域のボランティアスタッフで組織する実行委員会が運営することにより地域人材の発掘に繋げていく。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 146 人

④ 事業への協力者・協力団体 秋桜ハーモニー、女声合唱マルベリー

⑤ 概要・成果

「子どもから大人まで楽しめる手づくりのコンサートをしたい。」という思いで、実行委員会を結成し3ヶ月間の準備を経て、コンサートを開催した。出演団体は、地域の合唱サークルとゲストの3団体。曲目も子どもから大人まで楽しめるように、幅広いジャンルから選曲された。また、終了後には出演団体とスタッフの交流会を設けた。

予想以上に多くの方に来てもらい、最後まで観客全員が楽しめた。実行委員も積極的に運営のアイデアを出し合い、納得のいくコンサートを作ることができた。

<傾聴ボランティア養成講座>

① ねらい

悩みや寂しさを抱えながらも、話し相手がなく孤立する人が増えている。当地域には高齢者福祉施設も多く、傾聴ボランティアは地域で求められている存在で、この活動は高齢者にとつての生きがいにもなり得ることから、傾聴ボランティアの養成を目指す。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 91 人

④ 事業への協力者・協力団体 (社) 仙台ビーナス会、仙台傾聴の会

⑤ 概要・成果

傾聴の基本を学び、既存のボランティア団体の協力も得て、受講者同士のロールプレイ学習によって実践した。また、地域の福祉施設を見学し、ボランティア活動の現状等についても学んだ。

講座終了後、自主サークルが立ちあがり、地域の福祉施設で活動しながら、さらに学習を継続している。事業を通して地域団体との協力・信頼関係をさらに深めることができたことも大変有意義であり、今後に繋げていきたい。

柳生市民センター

沿 革

当市民センターは、平成9年4月に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当地域は、市内最南端部に位置し住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

平成21年度事業実施方針

明るく地域に開かれた「地域支援の重要な拠点施設」を目指し、町内会、各サークルとの交流を密にして、協力関係の強化を図っていく。主催事業については、小・中学校、団体との連携事業を継続するとともに、幼児、子どもの多い地区であることから、子どもと母親の支援事業を展開していく。又、若い世代には、夜間・土曜日の成人を対象とした事業を展開していく。並びに、地域食材の活用についても取り入れている。

特色ある事業

<ミュージックベル講座>

① ねらい

柳生小学校の児童を対象に、土曜日の子どもの居場所づくりと地域で学ぶ場を提供する。それとともに、学習成果を「オータムコンサート」で発表し地域交流を図る。

② 対象 柳生小学校児童

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 123 人

④ 事業への協力者・協力団体

柳生小学校、地域講師 陶マコト氏

⑤ 概要・成果

ミュージックベルの演奏練習および鍵盤ハーモニカ等との合奏練習をおこない、10/3開催の主催講座「オータムコンサート」に出演し成果を発表した。

<福を招く柳生和紙講座>

① ねらい

代表的な地域資源である柳生和紙の活用を学び、和紙の伝承と地域資源を支え合う心を育む。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 23 人

④ 事業への協力者・協力団体

柳生和紙工人 佐藤平治氏 佐藤ふみゑ氏
柳生あそび塾 阿部徳夫氏

⑤ 概要・成果

柳生地域の昔の暮らしと和紙の言い伝えについての話等、和紙の歴史を学んだあと、工房を訪ねて紙漉きの体験をした。さらに、柳生和紙を使った伝統工芸として、凧絵を描き、「するめ天旗」の凧作りをおこなった。最後に、工房を主宰する柳生和紙工人、佐藤平治氏 佐藤ふみゑ氏との交流会を実施し、地域に伝わる紙漉き歌を聴くことができた。

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

沿 革

秋保市民センターは、社会教育法の制定に伴い、昭和 26 年 4 月秋保村公民館が設置され、昭和 42 年 4 月町制施行に伴い秋保町公民館、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により秋保公民館、平成元年 4 月に秋保市民センターと改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和 52 年 3 月旧秋保町時代に開設され昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により馬場公民館、平成元年 4 月に馬場市民センターと改称され現在に至っている。

湯元市民センターも昭和 53 年 3 月秋保町時代に開設され、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により湯元公民館、平成元年 4 月に湯元市民センターと改称され現在に至っている。

平成 21 年度事業実施方針

- ・秋保の持つ大きな地域資源である自然・風土・歴史・文化等を活かし、全市的な視点からも秋保の良さを実感でき、新たな体験、学習意欲に結びつく事業を企画・展開する。
- ・地域のニーズを積極的に把握し、地域人材の活用や育成を行いながら、多様な学習ニーズに対応した講座・企画を展開する。
- ・センターだよりやホームページ等を通して、地域の歴史や郷土芸能などの情報発信に努める。

特色ある事業

＜「次世代へ伝える秋保温泉史、昭和から現在」編集会＞

① ねらい

昭和初期の旧秋保町時代から現在までの変化を記す書物・資料等が少ないので、当時の町内について知る有識者を講師に招き、次世代へ伝える秋保温泉の変貌に関する資料を編纂することで、郷土愛、住民意識を高め地域の一体化を促進する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 8 回 / 35 人

④ 事業への協力者・協力団体 ゆのはな会、秋保温泉のホテル・旅館、地域住民

⑤ 概要・成果

温泉に詳しい地域の方による講話「昭和から現在までの温泉の歴史」。秋保温泉のホテル・旅館、温泉に係わっていた方々から資料提供や聞き取り調査に協力をいただき、集めた資料を基に、冊子「秋保温泉のあゆみ」を編集。各方面に配布し好評を得た。

＜伝承芸能「みんなで踊ろう！秋保音頭」＞

① ねらい

昔は秋保に住んでいる人が誰でも知っていた「秋保音頭」だが、現在は踊れる人が高齢化している。そこで、地域の方を講師に招き、振付を覚えてもらい、次世代に繋げるようにする。「秋保ふるさと舞台発表会」で発表を目指す。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 41 人

④ 事業への協力者・協力団体 ゆのはな会

⑤ 概要・成果

「秋保音頭について」秋保音頭が出来た経緯の資料を基に、その当時の様子を交えての講話。その後、講師より振り付けを習い練習を重ねた。

3 月に開催した「秋保ふるさと舞台発表会」では、観客も交えて大きな輪になり、「秋保音頭」を大勢の人に体験してもらえた。

富沢市民センター

沿 革

富沢市民センターは、平成13年11月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設し開館した。

富沢地区は、名取川・JR東北線・国道286号線に囲まれた地域で、中央部を笹川が流れ、富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域である。単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通して多くの地域住民が来館、生涯学習の拠点として活用されている。

平成21年度事業実施方針

事業実施にあたっては、市民センターが「市民本位の生涯学習の支援拠点」「市民が主役の交流拠点」「地域づくりの拠点」として、地域の状況やニーズを的確に把握し、地域コミュニティの拠点施設としての「機能・役割に応じた事業」や「行政施策」を軸に事業を展開するものとする。

特色ある事業

<とみざわ散歩道>

① ねらい

自然環境に恵まれ、多くの貴重な遺跡も発見されている富沢周辺地域の魅力を観察し理解を深める機会とする。散策をとおして参加者の交流を促し、さらに環境整備・保存の意識につなげていく。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数

3回 / 65人

④ 事業への協力者・協力団体

郷土を愛する歴史の会、ユースホステル「道中庵」
ちいさな昆虫館・とみざわ(館長・高橋雄一氏)

⑤ 概要・成果

(ア) 富沢周辺の昔を訪ねる

(イ) 笹川の自然を楽しもう

(ウ) 大野田のユースホステル「道中庵」見学

毎回異なるテーマを設けることで地域の資源・知的財産を知ることができた。散策をしながらの設定であったことにより、講師と参加者・参加者同士の交流をより図ることができた。

<とみざわ子どもの広場>

① ねらい

小学校が休日の土日を利用して多様なテーマを設けることで、子どもたちの体験・学習の場を提供する。学校、家庭を離れての学びのなかから気づき・理解を深め、学ぶ力・考える力を育て自立や社会性の向上を図る。

② 対象 小学生・小学生と保護者

③ コマ数、参加延べ人数

9回 / 193人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台高等裁判所、大野田老人福祉センター
わくわくどきどき実験室、仙台市天文台

⑤ 概要・成果

①天文台見学 ②さかなの解剖 ③⑤笹川観察会 ④化学マジック

⑥裁判所見学 ⑦お天気の不思議 ⑧昔遊び・餅つき ⑨ドッジボール大会

幅広い題材から子どもたちの視野を広げ、自主性や主体性を伸ばすことに貢献した。特に、春・秋の2回に行った笹川観察会は、土曜日開催としたので父親の参加が多く親子の交流に役立った。

泉区中央市民センター

沿 革

昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設され、昭和 43 年 7 月には、市名坂字東裏の現在地に移転し、今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。平成 16 年 1 月、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館としてオープンした。

当地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と仙台市の副都心として急速に発展した泉中央周辺の都市化との混在する地域であり、住民を取り巻く学習環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図るため、拠点館として機能がますます重要になってきている。

平成 21 年度事業実施方針

- ・地域住民の交流を図るため、子育て支援・健康づくり・コンサートなど、誰もが気軽に参加できる事業を積極的に行う。
- ・利用サークル団体に声がけを行って懇話会を開催し、市民センターまつりの復活に向けて意思の確認を行う。
- ・地域内の団体・学校・施設との新たな連携を目指して、各団体をつなぐ役割を果たす。

特色ある事業

<みんなのコンサート>

① ねらい

地域の人たちが気軽に集い楽しめるコンサートを開催し、地域住民の交流を図る。生徒の部活動に対する理解を促し日頃の活動成果を発表する場を提供する。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 160 人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台市立七北田中学校吹奏楽部、東北学院榴ヶ岡高等学校吹奏楽部

⑤ 概要・成果

当市民センターで初めて地域向けの吹奏楽コンサートを開催した。出演が地元の中学生、高等学校生ということもあり、たくさんの地域の方に足を運んでいただくことができ、感動を共有できる良い機会だったと評価できる。

演奏者にとっても良い経験であり、次回の演奏を期待する声もたくさん頂いたので恒例の行事にしたい。

<転入者のための地域入門講座>

① ねらい

転入して日が浅い方向けに、地域講師と一緒に地域散策や食事会を楽しむ機会を提供する。すぐに役立つ地域の情報を交換し、交流を深める。

② 対象 周辺地域に転入して日が浅い方

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 12 人

④ 事業への協力者・協力団体

嶺岸農園、コラボ・ソキウス、高橋釣具店、宮城中央森林組合、一の蔵ほか

⑤ 概要・成果

地域の社会学級や子供会で活躍している方を講師に、転入者と一緒に地域を歩き、じっくりと語り合う講座を開催した。これにより新しい土地に対する不安が解消され、社会学級など地域参加への足がかりとなった。市民センターとしても地域の事業所やお店の状況をよく知ることができ、良好な関係づくりの第一歩となった。

根白石 市民センター

沿 革

昭和 21 年 11 月、根白石小学校内に設置され、昭和 23 年役場の移転に伴い独立施設としての活動がはじまる。昭和 28 年公民館新築促進が決議されてから 10 年の経過を経て昭和 38 年 7 月、待望の公民館が移転新築された。以来 20 年余、根白石唯一の社会教育施設として活動を続けてきたが、老朽化により昭和 63 年根白石字杉下前に新築移転、4 月に開館した。

当センターは、泉区西部に位置し泉ヶ岳を背景に豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、又スポーツ、コミュニティ、自主学習の場として広く利用されている。

館の特色として、299 席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有する。

平成 21 年度事業実施方針

1. 地域住民の生涯学習参加の機会を拡大し、地域資源、地域人材の活用で地域の活性化を図る。
2. 地域交流や学校間での交流で、新しい‘ふるさとづくり’を推進する。
3. センター主催講座から自主サークル化への導きを推進し育成と支援を行う。
4. 町内会、学校、各団体の交流をより推進し、意見交換できる環境づくりに取り組む。

特色ある事業

<米づくり講座「もちっ子クラブ」>

① ねらい

地域の特性を活かし田植えから収穫まで体験することで食についての関心を高め、食生活を見直す機会とする。

② 対象 親子 15 組

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 196 人

④ 事業への協力者・協力団体 仙台農業協同組合 根白石婦人部

⑤ 概要・成果

田植えから始まり米づくりの一連の作業を親子で体験した。

米づくりの過程と食材として餅に加工し豊かな食料となることを学ぶことができた。

<地域ぐるみふれあいコンサート>

① ねらい

市民センターの管内にある 3 つの中学校の吹奏学楽部が合同でコンサートを実施することを通して、中学生同士の連帯を深めるとともに、地域交流のきっかけとする。

② 対象 3 中学校吹奏楽部員・どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 206 人

④ 事業への協力者・協力団体

⑤ 概要・成果

市民センターのホールで、根白石・住吉台・館中学校吹奏楽部 3 校による、合同演奏会。

生徒一人一人の力が発揮され力強い演奏ができた。コンサートを通し 3 校の生徒の連帯感が深まり地域活性化にも大いに貢献できた。

南光台市民センター

沿 革

昭和52年4月、南光台公民館として開館し、その後、平成2年4月に南光台市民センターと改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。
また、昭和62年8月に泉図書館南光台分室がセンターに併設された。

平成21年度事業実施方針

住宅団地開発後45年以上経過し、急速に住民の高齢化が進んでいる。一方ではマンション建設により若年層の増加傾向も見られる。生涯学習社会が叫ばれている今日、仙台市市民センター運営方針をふまえ、「市民が学んだ成果を地域に生かすことができる事業」を中心にこれまで以上に地域団体との連携を強化し、「地域に親しまれる市民センター」として地域活性化に取り組んでいく。

特色ある事業

<南光台地区防災力向上計画>

① ねらい

高齢者の多い南光台地区において、地域の防災戦力として中学生が果たす役割は大きい。

災害発生時の様々な想定をもとに中学生と地域の関係団体が協力しながら、各方面で連携した体制を整えていく。

② 対象 南光台中学校生徒・南光台地域町内会役員・地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 525 人

④ 事業への協力者・協力団体 南光台中学校・泉消防署南光台出張所 南光台地区町内会・老人会。婦人会

⑤ 概要・成果

・防災講演会・実技学習(簡易トイレ組み立て、非常食づくり、救急救命AED訓練、災害用伝言ダイヤル実践、多言語表示学習)・地域防災連絡会

成果:中学生にとっては「学校」という環境の中で、地域の方たちと一緒に活動ができ、地域の一員としての自覚が生まれた。また災害に対する危機意識や共助の大切さが、中学生・地域住民それぞれの立場で大きく広がった。

<南光台スマイルひろば一笑顔で子育てをしよう>

① ねらい

「南光台スマイルひろば企画委員会」の企画員たちが、子育て中の様々な課題を解決し子育て中の方々を支援するために、企画運営をする。

広く子育てを応援し安心して子育てができる地域づくりを目指す。さらに受講生との交流を通して 孤立しない子育てを提案する。

② 対象 子育て中の親とその家族

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 34 人

④ 事業への協力者・協力団体

⑤ 概要・成果

・講話「子育てって楽しい!!」・意見交換「笑顔で子育てしてますか」・自然とあそぼう「クリスマスリースづくり」

成果:託児付きにすることにより、子供にとっても母にとってもいい時間を過ごすことができた。講師や企画員と参加者との距離がなくなり、コミュニケーションが深まった。企画員が自ら運営に携わることから、人材作りにつながった。

黒松市民センター

沿 革

昭和 47 年 4 月開館の八乙女公民館(旭丘堤 1 丁目, 建物面積 144 ㎡)を前身とする。平成 4 年 10 月移転新築により, 拡充され「黒松市民センター」として, 地下鉄黒松駅に隣接する現在地(黒松 1 丁目, 延床面積 1,491 ㎡)に開館した。

当市民センターは地域における生涯学習の拠点として, また, 交通の利便性により広域からの施設利用者にも活用されている。

平成 21 年度事業実施方針

1. 地域の市民活動を育成支援するための市民参画事業の実施。
2. 広く地域の人びとから意見の聴取をし, 質の高い事業の実施。
3. 地域コミュニティづくりのための地域資源の魅力を学ぶ事業の実施。
4. 地域の学習団体と連携し, 学びの活動を広げる事業の実施。
5. 市民が主体的に学べるように, 学習情報の収集と発信。

特色ある事業

<「詐欺にご用心」くらしの安全講座>

① ねらい

地域懇話会で悪徳商法による被害が地域内でも発生していることがわかったので, こうした地域住民の不安や要望に応え, 安全・安心なまちづくりに貢献する。

② 対象 成人

③ コマ数, 参加延べ人数 1 回 / 13 人

④ 事業への協力者・協力団体 NPO 仙台みやぎ消費者ネット

⑤ 概要・結果

悪質商法について, 実際の事例の寸劇を交えて疑似体験することにより, より具体的に知識や対処について学ぶことができた。また, 参加者がこれまで経験した事例などを話し合う中で, 地域の身近な問題であることを感じてもらった。

<食育講座「楽々食事」～安心・安全な食生活～>

① ねらい

市民企画から生まれた講座として, 子どもの正しい食習慣確立を目指し, 若い世代の親に食の環境整備や, 生涯を通じた健全な食生活を促す場とする。

② 対象 小学生の保護者

③ コマ数, 参加延べ人数 2 回 / 16 人

④ 事業への協力者・協力団体 仙台市立西山小学校

⑤ 概要・結果

子どもたちにとって身体のリズムに大切な朝食とおやつ作り, 同じ食材で和・洋風料理を作る過程を通じて, 栄養を考えた食事づくりを学ぶとともに, 楽しい食事や子どもの成長との関係の重要性を理解してもらうことができた。

将監市民センター

沿 革

昭和 47 年 11 月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場を「将監会館」として開館した。昭和 53 年 4 月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和 54 年 6 月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年 4 月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年 4 月「将監市民センター」と改称された。

平成 3 年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成 4 年 4 月新装開館し現在に至っている。当センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

平成 21 年度事業実施方針

地域のニーズを的確に把握し、地域資源の有効活用と各種団体との連携を深め、学習成果を地域に還元できるボランティアを支援・育成するとともに、地域住民の交流を促進する。

1. 幅広い年齢層の事業に取り組み、地域性をふまえた特色ある事業で住民同士の交流を図る。
2. 地域と各種団体との連携を密にしてボランティアの支援・育成に努める。
3. 地域の学校・町内会・サークル等の意見交換の場を設けて地域のネットワークづくりを図る。

特色ある事業

<社会学級共催事業「たのしいおんがくかい」>

① ねらい

将監地区の3小学校社会学級(将監小学校・将監中央小学校・将監西小学校)との企画会議を経て実施する事業。地域の人たちが気軽に参加でき楽しめるコンサートを開催し、地域住民の交流を図る。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1回／140人

④ 事業への協力者・協力団体 将監小学校・将監中央小学校・将監西小学校

⑤ 概要・成果

地域の3つの小学校社会学級との共催で、高校生の吹奏楽部による演奏会を開催した。地域の幅広い年齢層の方が参加し、世代を超えて地域の交流が図られた。また、普段は市民センターに足を運ぶことの少ない、中学生・高校生にも市民センターを周知する機会となった。

<折り紙ボランティア養成講座>

① ねらい

将監地域には、3つの児童館・児童センターがあり、大人が遊びのボランティアとして活躍することが期待されている。そこで、折り紙を通したボランティア活動の学習をし、地域の施設で活躍できる人材を養成する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 5回／86人

④ 事業への協力者・協力団体

⑤ 概要・成果

折り紙を通したボランティア活動の学習をし、地域施設で活動できる人材を養成した。連続講座を通して、折り紙を互いに教えあうなど受講生同士の交流も深まり、講座終了後には、折り紙サークル「ハナミズキ」が誕生した。折り紙サークル「ハナミズキ」は、定期的なサークル活動でスキルアップを図り、児童センターや市民センターの講座の講師として活躍中である。

加茂市民センター

沿 革

昭和58年4月、加茂体育館と併設された加茂公民館として会館した。その後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成2年に現在施設名に改称。平成10年には併設の加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成5年4月の長命ヶ丘市民センターの開館に伴い、現在は虹の丘・加茂・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺には加茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しており、また七北田川や丸田沢・三共堤などの自然環境にも恵まれている。

平成21年度事業実施方針

成熟化が進む加茂、虹の丘地区と近年開発された上谷刈、みずほ台地区では住民の年代構成等に違いがあることから、そのニーズも異なっている。また、センターと距離的に離れている地域に対して事業への理解を深めることも重要となっている。今年度はこうした背景のもと、全市重点事業や市の施設を基本として、地域の幅広いニーズに対応できる連帯等をさらに一歩進めながら、魅力ある身近で開かれたセンターを目指して事業の展開を図ることとする。

特色ある事業

<地域探訪>

① ねらい

地域にある歴史的資源や伝統工芸を知ることにより、地域の魅力の再発見につなげ地域づくりの発展につなげる。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 61 人

④ 事業への協力者・協力団体

長命館公園サポーターズクラブ

⑤ 概要・成果

伝統工芸である堤焼きの窯元の見学や、地域ボランティア団体である長命館公園サポーターズクラブの方を講師に、伊達騒動となった古内志摩の墓所を散策し地域の歴史を学んだ。普段訪れる機会がなかった地域の再発見になり、今後の学習意欲につながった。

<加茂コンサートオペラ「こうもり」を楽しむ>

① ねらい

市民センターに気軽に訪れてもらえるよう、身近な施設で音楽に触れる機会を提供し地域の交流を図る。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 110 人

④ 事業への協力者・協力団体

杜の声オペラ研究会合唱団

⑤ 概要・成果

舞台は1800年代後期のオーストリア、主人公アイゼンシュタインは仮面舞踏会の帰りに酔いつぶれた友人ファルケ博士を「こうもり」姿のまま道ばたに置き去りにし、笑い者にした。ファルケ博士は、仕返し劇を企てる。いろんな関係者を巻き込みてんやわんやの騒ぎとなる。オペラの中でも喜歌劇とよばれ大晦日の定番となっている。

コンサート当日は参加者も多く身近なところでオペラを堪能できた充実感があつた。

高森市民センター

沿 革

当センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として平成元年 4 月高森公民館として開館した。その後、機構改革に伴い高森市民センターと改称された。

この地域は、昭和 48 年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか高森東公園や高森自然公園などには豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的である。その中で、地域住民の「新しいふるさとづくり」の意識の高揚と交流の場として多くの方々に利用されている。

管内には、21 世紀プラザ研究センター・仙台地域職業訓練センターがある。

平成 21 年度事業実施方針

親しまれ愛される市民センターづくりとして、地域住民の学習意欲に応えるべく事業の提供に心がける。特に将来を担う子どもたちの安全・安心の取組みについて、地域や学校と連携しながら事業の充実を図る。また事業を通じて地域住民の新しい学習活動への積極的な参加が定着しており、地域や学校と連携を図りながら、地域づくりを目指す事業展開を推進する。

特色ある事業

<地域の達人に学ぶ>

① ねらい

地域において特技を持っている人材を活用するとともに、地域の方が気軽に講座に参加できる環境をつくり、地域住民の交流を図る。

② 対象

地域住民

③ コマ数、参加延べ人数

6 回 / 96 人

④ 事業への協力者・協力団体

⑤ 概要・成果

地域で特技を持つ人が講師となり、金魚ねぶた作り、布ぞうり作り、クリスマスリース作り、味噌作りなどを開催し、地域住民がさまざまな体験をしながら、楽しく交流することができた。地域住民のニーズにあった事業が展開できたことから比較的若い年齢の方や男性の参加もあった。また新たな人材を発掘できたことや地域住民のつながりも深まり、大変有意義であった。

<親と子のコミュニケーション術>

① ねらい

思春期を迎える子ども達とどのように関わったらよいか考える機会を設ける。家族間の会話のあり方などを学び、子どもを育てる力の充実を図る。

② 対象

小学生・中学生の保護者

③ コマ数、参加延べ人数

2 回 / 47 人

④ 事業への協力者・協力団体

高森社会学級・高森中学校区健全育成会

⑤ 概要・成果

親子間でのコミュニケーションを深めるために、言葉を大切にする話し方や表情を学び、子どもとの接し方の大切さを改めて認識することができた。思春期の子どもとの対話がいかに重要であるかを学習した。

松陵市民センター

沿 革

松陵市民センターは、泉区の北東に位置する松陵ニュータウン内にあります。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の6つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれています。付近には、街路樹ロードとスポーツ施設のある松陵公園があり、幅広い年齢層の方が自然を愛し、親しんでいる姿が見られます。

当施設は、生涯学習の拠点として、市民に大いに利用され親しまれることを目指して、職員一丸となって事業推進に努力しています。

平成 21 年度事業実施方針

- ・地域の小中学校・町内会・各種団体との連携をより深め、懇談会・企画検討会を実施し、ニーズに適合した講座を開催し、地域活動の活性化を促進する。
- ・地域コミュニティの拠点としての機能を充実させる為、市民による地域情報の発信を支援すると共に、地域活動を担う人材の育成・支援をし、活動の場を提供する。
- ・地域情報を幅広く収集する為のしくみを構築し、住民にタイムリーな情報を提供する。

特色ある事業

<第 18 回松陵ふれあいコンサート>

① ねらい

小学生から社会人まで地域にかかわりのある人々が、演奏や合唱に参加し、また鑑賞を通して芸術性を高めるとともに交流を図り、地域を愛する意識を高める機会を提供する。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 600 人

④ 事業への協力者・協力団体

松陵中学校区地域ぐるみ青少年健全育成会、松陵小学校、松陵西小学校、松陵中学校、向陽台小学校、向陽台中学校、泉松陵高校、東北学院榴ヶ岡高校、宮城学院高校他5団体

⑤ 概要・成果

会場は松陵小、松陵西小、松陵中を持回りで開催。第 1 部 吹奏楽小合同(高校生から社会人の演奏)第 2 部 合唱・手話ソング(小学生から社会人の合唱、手話ソング)第 3 部 吹奏楽大合同(小学生から社会人の演奏)で構成される演奏者総勢約 200 人のコンサート。地域の多くの方々に、迫力ある吹奏楽と合唱の演奏を楽しんでいただき、交流を深めることができた。

<松陵小・松陵西小校区育成会・松陵小学区民体育振共催ウォークラリー>

① ねらい

地域住民が気軽に参加できるウォークラリーを開催し地域の交流を深めることで、地域活性化と青少年健全育成を図る。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 100 人

④ 事業への協力者・協力団体

松陵小学校区育成会、松陵西小学校区育成会、松陵小学区民体育振興会、はつらつ遊樹会、東北学院榴ヶ岡高校、みちのく松陵、向陽台ぱびるペパレット

⑤ 概要・成果

松陵地区内をコマ図をもとにコースを廻り、タイムを競う。

ウォークラリー終了後、参加者全員で芋煮やおにぎりを食べながら、さらに交流を深めることができた。

寺岡市民センター

沿 革

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和50年代後半から急速に発展し、団地としては成熟している一方高齢化も進んでいる。新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、対照的な年齢構成になっている。また、団地周辺には宮城県図書館を始め、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設がある他、2年前には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。今後もますます発展と活性化が期待できる地域である。

平成 21 年度事業実施方針

- ・地区の懇談会等から住民の声を反映した事業と、地域課題を明確化した上で市民参画型事業を推進する。
- ・地域を意識した視点での適正な情報提供に努める。
- ・積極的に地域人材の活用を図り、学んだ成果を生かせる環境づくりに取り組む。
- ・住民の生涯学習活動への参加拡大と相互交流を深め、自助・共助の風土づくりを推進する。
- ・町内会等諸団体と連携してコミュニティ活動の質を高め、より良い地域社会の形成に貢献する。

特色ある事業

< 紫山・寺岡コンサート >

① ねらい

地域の青少年及び音楽家の日頃の練習成果を発表する場を提供する。
音楽をととして青少年と地域住民の交流を図る。
市民センター、学校、町内会、地域諸団体が協働することで、地域力を高める。

② 対象

地域住民

③ コマ数、参加延べ人数

1 回 / 400 人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台白百合学園・寺岡小学校・中学校・寺岡連合町内会・紫山連合町内会
子ども育成会・寺岡地区父母教師会・寺岡おやじの会

⑤ 概要・成果

地域の小・中・高の有志と地域で活動しているサークルに加えてゲストを迎え、地域諸団体及びボランティアの力を結集して音楽会を開催した。

質の高い音楽を提供することを目的に地域諸団体と協働することができた。地域住民の交流が生まれ、地域力を高めることができた。

< わが街 寺岡・紫山を撮る >

① ねらい

豊かな自然を残しつつ開発と成長続ける寺岡・紫山の現在を季節ごとに写真に残す。地域についての再認識と愛着を深め帰属意識を高める一助とする。

② 対象

地域住民

③ コマ数、参加延べ人数

6 回 / 66 人

④ 事業への協力者・協力団体

講師 紫山在住の写真家 藤井祥史氏

⑤ 概要・成果

地域の講師により基本技術等を学習し、心象風景としての写真の表現を学ぶ。季節と街の移ろいを記録することで改めて地域の魅力を知る。

「写真を撮る」ことをととして、地域の再発見や地域住民同士の交流が生まれ、学習意欲も向上した結果、サークル発足へと発展した。成果物をセンターまつりに展示し発表した。

長命ヶ丘市民センター

沿 革

長命ヶ丘市民センターは、平成 5 年 4 月に泉区 10 番目の市民センターとして開館された。当市民センターの周囲は昭和 50 年以降に造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約 65% が長命ヶ丘地区、25% が近隣地区、残り 10% が他地区からとなっており、地域に密着した市民センターといえる。

地域優先の 13 サークルをはじめ、常時 80 以上のサークルが活動しており、本年度も 48,000 名を超える利用者があった。当市民センターは、子どもから高齢者までのあらゆる住民の層からの支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、益々その役割機能は、重要性を増している。

平成 21 年度事業実施方針

- ・気軽に参加でき楽しい学びあいができる事業の推進。
- ・「地域の人材活用」や、「地域内各組織団体」との連携した事業の実施。
- ・地域の活性化をねらいとする事業の実施。
- ・世代間の交流を通して子どもたちの育ちを支援する事業。
- ・地域の情報ステーション拠点としての機能発揮。

特色ある事業

<夫婦共学>

① ねらい

長命ヶ丘地区は高齢化が進み、高齢夫婦の世帯が多くなってきている。
夫婦二人で共に学ぶことにより相手をあらためて見つめなおしこれからの夫婦のあり方や自立を考える機会を提供する。

② 対象 長命ヶ丘住民

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 87 人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台福祉サービス協会 ほか

⑤ 概要・成果

- ・夫婦の「現在」と「これから」の話し合いからお互いを再発見。
- ・夫婦一緒にペアでの体操
- ・介護の体験談を聞いたり、話したりしての情報交換 など
受講生同士で連絡を取り合うなど交流が進み地域内での新たなコミュニケーションの場が広がった。

<フレンドスクール>

① ねらい

小学生に縦割り学習の場を提供し放課後の居場所作りを行う。
経験豊富な地域人材を講師に招き世代交流も図りながら安心して暮らせる明るい街づくりと健全な子供の育成を目指す。

② 対象 長命ヶ丘小学校生

③ コマ数、参加延べ人数 10 回 / 187 人

④ 事業への協力者・協力団体

長命ヶ丘小学校、地域舞踊家、老人クラブ「亀楽会」、長命ヶ丘体育振興会

⑤ 概要・成果

- ・みんなですずめ踊りを踊ってみよう
- ・地元の老人会の皆さんに伝統ある七夕飾りの作り方を教えてもらおう
- ・卓球サークルの皆さんと一緒に卓球をしておもいきり体を動かして遊ぼう など。
講座を通して子どもたちと地域の方々との交流ができた。

松森市民センター

沿 革

当市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。

市民センターの北側に、戦国時代の武将である国分氏が居を構えた松森城跡を仰ぎ、北東には鶴が丘団地、東西に細長く松森地区がある。近年大型店舗の進出や幹線道路の整備が進み人口増加の傾向にある。一方南側は、一面広大な田園地帯となっており、七北田川・仙台バイパスまで眺望が広がり、自然環境にも恵まれている。施設の特徴としては、市民が気軽に利用できる親子室・娯楽室・図書室・市民活動室や広々としたラウンジがある。地域のニーズに応える生涯学習の拠点施設として、相互交流の輪を持てる多様な事業を提供・支援している。

平成21年度事業実施方針

地域の資源を活かしながら市民の学習意欲に対応し、市民が互いに交流出きるよう「和」を意識した事業展開を推進してきたが、21年度は更に、「まちづくりは人づくり。人づくりは学習支援から」に力点を置き、魅力ある多様な事業企画を実施し、地域活性化に取り組んでいく。

特色ある事業

<まなこみネット「どんどこ！巨大紙相撲鶴が森場所」「冬のお楽しみ会」>

① ねらい

市民センターが核となり、様々な団体が連携して地域のネットワークをつくり、子ども達の健やかな育ちを支援するため、まなこみネット鶴が森推進委員会で企画された事業を実施する。

② 対象 地域の小学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 2回 / 198人

④ 事業への協力者・協力団体 鶴が丘中学校、鶴が丘小学校、松森小学校、鶴が丘児童センター、鶴が丘中学校健全協、松森・鶴が丘小各社会学級、他

⑤ 概要・成果

「どんどこ！鶴が森場所」では、地域の小学生と住民が巨大紙相撲力士を手作りして相撲大会を実施。「冬のお楽しみ会」では、小正月の行事であるだんごさしを体験した。地域をつなげる事業として4年前から地域の多数の団体と連携して開催しており、地域のイベントとして定着してきている。

<「エコでいこう」ー自分のことから始めようー>

① ねらい

少しでもゴミを出さない工夫の一つとして竹の再利用・マイ箸作りがある。自分にできることを考えながら実践し、地域の輪を広げ、地球環境にやさしい生活をおくる一歩とする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 34人

④ 事業への協力者・協力団体 松森小学校社会学級

⑤ 概要・成果

環境問題の講話、竹の再利用のマイ箸作りや箸ケース作りなど、ゴミを出さないために自分のできることを実施したことは、環境にやさしい生活をするきっかけとなった。

桂市民センター

沿 革

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地であり、高齢化率 9.9%と比較的若く活気にあふれた街である。一方、将監地区は昭和40年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。

児童センターとの併設館ということもあって利用者の年齢層は乳幼児から高齢者までと幅広い。開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、利用者増と生涯学習の拠点を目指して取り組んできた。21年度は、将監地区との交流と連携を目指すとともに、桂地区の諸団体とは更なる連携を深めながら生涯学習環境の整備・拡充に努め、自主的学習意欲に応えられるよう市民参画や学社連携の輪を広げていく。

平成 21 年度事業実施方針

- ・ 地域課題を明確にして住民参加型の事業を展開し、気軽に学べる機会を提供する。
- ・ HP による学習情報の発信、相談業務の充実、地域諸団体とのネットワークを構築する。
- ・ 新規ボランティアの育成を行い、学んだ知識を実践できる機会を創出し、支援する。
- ・ 託児付、手話付、夜間、土日開催等、講座の選択肢を広げ、学びの活動の拡大に努める。
- ・ 地域の諸団体や関係機関との連携を密にし、より質の高い事業の実現を図る。

特色ある事業

<市民企画講座「音楽が生まれる街～地域をつなぐ桂ロビーコンサート」>

① わらい

ロビーコンサート企画会議を開催し、①サークルによる日頃の練習成果を発表する場の提供②地域の音楽家の掘り起こし③より質の高い音楽の提供を目的に7回のコンサートを開催する。地域活性化・地域住民相互交流の一助となる。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 446人

④ 事業への協力者・協力団体

市民文化事業団、読み聞かせボランティアサークル「おはなしもこもこ」、「親子で楽しむバイオリン」、「ピチカート室内管弦楽団」、「仙台アイリッシュハーブアンサンブル」

⑤ 概要・成果

仙台国際音楽コンクール関連イベント「街かどコンサート」、絵本とピアノのコラボレーション、バイオリン・管弦楽器・琴と三味線・アイリッシュハーブの演奏、声楽家による独唱など多様なコンサートを実施し、地域住民との交流を図った。

<桂ジュニアカレッジ>

① わらい

児童センターと共催で、小学生に安全な環境の中で過ごせる居場所を提供し、体験的な学習・モノづくり・遊びなどを通して子ども達の想像力や理解力・自主性を養い、異年齢の子ども同士や地域の人々との交流を深める。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 136人

④ 事業への協力者・協力団体

仙台市レクリエーション協会、仙台市環境局リサイクル推進課、将監中学校教諭、ジュニアリーダー「将監くれよん」

⑤ 概要・成果

料理、スポーツ、エコ・リサイクル学習、理科実験と多岐にわたる講座を開催した。いろいろな体験的な学習を通して子ども達の興味・関心を喚起することができた。中学校との学社連携のひとつにもなった。

南中山市民センター

沿 革

当市民センターは南中山団地の中心部に位置し、南中山中学校区における南中山、北中山、西中山の3連合町内会傘下16町内会を対象範囲としている。さらに、新規住宅の建築も盛んで人口も増加傾向にある。

当市民センターは、昭和59年にオープンした「泉中高年齢労働者福祉センター（サンライフ泉）」が平成15年3月をもって閉館した後、施設改修を行い、平成15年11月13日に「南中山市民センター」としてリニューアルオープンした。地域には障害者関係教育機関があり、住民や小中学生、大学生などと障害者との交流も活発に行われるなど、地域住民の市民活動も活発で、市民センター活動への期待と関心も大変高い。

平成21年度事業実施方針

1. 社会経済環境の変化に対応していく上での現代的課題への取り組み
2. 市民ニーズに即応できる学習情報の収集と提供
3. ボランティア活動の支援
4. 地域活動や学習活動の拠点施設としての役割の推進

特色ある事業

<学コミ推進事業 お正月をつくろ ミニ門松と鏡餅づくり>

① ねらい

日本古来の伝統文化を体感し、その意義を理解すると同時に、子ども同士の交流を図ることにより、子どもたちの健やかな成長を地域で支援する。

② 対象 南中山・北中山小学校児童

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 39人

④ 事業への協力者・協力団体 まなびねっといずみ中山推進委員会

⑤ 概要・成果

家族ごと門松と鏡餅を作り、餅つきを体験した後、餅バイキングの食事会を実施。学びのコミュニティづくり推進事業の一環として、地域の子ども同士の交流を深めることができた。学コミスタッフも、事業の企画・実施に慣れ、積極的に地域づくりを推進している。また、講師や材料の提供等で地域住民の協力を得ることが出来、地域一体の事業となった。

<いずみ中山交流事業 陶器で語るわがまち>

① ねらい

当市民センターの管轄地域は、南北に長くかなり広い。日頃交流の機会のない地域の方々を対象に、南北の交流を円滑にするために、地理的に中心である光明支援学校に集い、工房で陶芸を製作し、交流を深める。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 33人

④ 事業への協力者・協力団体 光明支援学校

⑤ 概要・成果

光明支援学校の協力で陶器製作、その後校内の施設見学を実施。さらに各自が製作した抹茶碗を使ってお茶会を実施した。茶道サークル会員も加わり、交流が進んだ。

3. 特定事業の実施状況

近年、少子高齢化や核家族化による社会環境の変化によって、人間関係や社会との関係の希薄さに起因する問題が増加してきている。

このような問題を解決するために、市民や団体が、知縁(学習、ボランティア、サークル、学校、地域団体等)を活かして、社会とのかかわりをより深めていくことを目的として、市内のほぼすべての市民センターで行われている特定の事業がある。

市民参画事業

市民の主体的な活動が地域で多様に展開されるよう、市民自らが企画に参画する事業を実施している。

平成 21 年度 市民企画会議・講座 実施状況

館名	事業区分	事業名	事業の主な内容	企画／講座	募集形態	回数	参加延人数	参加実人数
青葉区中央	民	一番町で会いましょう・市民企画会議・防犯防災について	日常生活に欠かせない防犯防災の学習を、市民と協働で考え、年次で実施する	企画	公募	10	20	2
	成	市民企画講座・一番町で会いましょう「防犯の意識をたかめよう」	まちなかで多く発生している犯罪を取り上げ、被害者加害者にならないよう防犯の意識をたかめる	講座		2	27	20
	民	青葉区検定クイズラリーからの自主グループによる市民企画会議	自主グループ「すくすく楠の木」として、自分たちの学んだことを生かして講座の企画・運営を行なった。	企画	その他	14	130	13
	成	市民企画講座「過去から未来に繋ぐみそ料理講座」	「しそ巻き講座」「みそスイーツ講座」と仙台の大切な伝統食品である「仙台味噌」をテーマに、それをとりまく食文化を知り、見直すための学習の場を設定し、次世代へと繋いでいくきっかけを作った。	講座		2	22	13
柏木	民	市民企画会議	企画者同士の交流を深め、市民センターや市民参画事業への理解を促すため、講座開催のための企画会議を行った。	企画	選任	6	34	10
	成	ようこそ仙台へ～ございん仙台～	仙台への転入者向けに、そのサポートと、より早く仙台に馴染めるような情報提供を行い、また交流の場を提供した。	講座		6	54	13
福沢	民	市民企画講座「宮町盛り上げ隊」	宮町の魅力を地区内外に発信することを目的に市民企画会議を行なった。	企画	公募	4	12	4
	民	市民企画「宮町メインストリート今昔マップ」作り	市民企画講座「宮町盛り上げ隊」で企画し、実施した講座。「2010 年度カレンダー付き宮町マップ」の制作のため、専門家からアドバイスを受けながら「宮町今昔マップ」を作り、完成品は地域内外の希望者 400 人に配布した。	講座		7	35	5
	民	市民企画「音楽会」	地域の人が企画に参加する「音楽会」を開催するため、企画準備の話し合いを重ねて「夕暮れ音楽会 2009」を開催した。	企画	選任	8	20	3
	地	夕暮れ音楽会 2009	市民企画講座「音楽会」で開催した夜間コンサート講座。「咲楽ウィンドオーケストラ」の吹奏楽と「お囃子つくし会」によるコラボレーション演奏会を行なった。	講座		1	52	52

旭ヶ丘	民	市民参画型事業「なんちゃって子育てエイジ」	子育てサークル「あさひっこ」と共催「ママからシンデレラへ～素敵に輝くための魔法のレッスン」を開催し地域の子育て中の保護者の支援と活性化を図った	企画	選任	11	43	7
	家	ママからシンデレラへ～素敵に輝くための魔法のレッスン～	企画会議により開催の講座。子育ての不安やストレス解消のため自分磨きをしたい目的でカラーコーディネート、スキンケアを開催	講座		2	56	28
	民	市民企画講座「台原森林公園プロデュース企画会議」	地域の貴重な自然資源である台原森林公園を見直し活用してもらうべく、市民の方に斬新な企画をしてもらった。	企画	公募	6	36	36
	地	「森の贈り物・台原森林公園のどんぐりを活用しよう」	シルバー人材センター台原地区班の案内で自然観察とどんぐり拾いをし、明成高等学校調理科の協力でどんぐりクッキーとコーヒーを作り、最後にコマとヤジロペイ作りも体験しコマまわしに挑戦した。	講座		3	59	59
三本松	民	地域防災を考える市民企画会議	各町内会が取り組まれている地域防災に関して情報交換と先進的事例を踏まえて、地域特性を生かした事業企画を企画する。	企画	選任	5	17	5
	地	「備えあれば憂いなし」講演会	地域住民の震災に関する意識の高揚と再認識を図り、地域啓蒙活動と地域間交流の一助とする。	講座		1	43	43
	家	市民企画講座「子育てママのネットカフェ」	幼稚園に入園する保護者を対象に幼稚園選びの決め手などを先輩ママ達との情報交換と子育てママ達の交流の場とする。	講座		1	46	46
片平	民	市民企画会「平成風土記を活用したまち歩き」	「片平地区平成風土記」を活用したまち歩き講座の実践に向けた企画会議	企画	選任	6	96	20
	地	「平成風土記を活用したまち歩き」	市民企画会で企画された健康づくりもかねたまち歩きを行った	講座		1	13	13
水の森	民	市民企画講座「男の井戸端会議」	①企画会議②打合せ③吉成サークル見学④打合せ⑤反省会	企画	公募	5	20	5
	地	みんなでポッチャを楽しもう！	実技①ポッチャの基本やルールについて学ぶ②実践ポッチャ大会	講座		2	39	25
貝ヶ森	民	女性による講座企画会	地域内の女性が企画員となり、女性の視点から住み良いまちづくりのための講座を企画する。企画会議、及び企画した講座の運営を行う。	企画	公募	10	70	7
	成	市民企画講座「みやぎの食」を学ぶ	郷土料理の良さを次世代に伝えることを目的に、宮城県・仙台市周辺の郷土料理について講話と調理実習で学ぶ。	講座		1	18	18
	成	市民企画講座「杜の都の彫刻めぐり」	仙台市の街並みに対する理解と地元への愛着を深めることを目的に、市内に設置されている彫刻と街並みをテーマにした現地学習を行う。	講座		1	10	10
	成	市民企画講座「人にやさしい布ぞうり作り」	布のリサイクルの推進と、伝統の履き物の価値を再発見することを目的に、「布ぞうり」の作り方を実技で学ぶ。	講座		4	65	17
中山	民	子育て・孫育て企画会	子育て・孫育てしている人対象に、子育て支援に有効な企画講座実施の検討を促す。	企画	公募	8	32	4
	家	リズムであそぼう	コンサートに行く機会の少ない親子に地域で楽しめる本格的なコンサートを開催し交流を深める。	講座		1	81	81
	成	安心・安全な食材は？手作り野菜に挑戦しよう	自然相手の野菜栽培の難しさを体験することにより、食の安全に対する興味・関心に応える。	講座		4	60	22
折立	民	市民企画会議「コンサート」	センター事業への積極的な参画と協力を得、気軽に音楽に親しみ交流できる場を作り、地域に定着させるコンサートの企画会議を実施した。	企画	選任	5	46	10
	地	折立風のメロディーコンサート	市民センターを拠点に活動している音楽愛好家たちの発表の場として、住民が気軽に音楽を楽しみ交流できる場を提供し、地域の夏祭りとして地域の活性化を目指しコンサートを開催した。	講座		1	122	122

広瀬	地	ひろせ地域連携企画会	昨年度「愛子のおばちゃん探検隊」として活動して得た情報から「郷土料理」と「愛子の田植踊」を題材とした講座を立案し、実施運営にあたった。	企画	その他	10	111	20
	地	ひろせ山がっこ企画会	小学校や地域などで活躍する人々が企画員となり、小学校へ泊まりダンボールハウスを作ったり、柿もぎや冬の野外散策で動物の足跡探しなどの体験機会を作り子ども達に提供した。	企画	公募選任	8	133	18
	民	市民企画会 再発見！ひろせの底力2009	企画員が昨年度地域の水資源について調査し解ったことを、地域の人々に広く伝えるため講座を立案し、コースの選定から当日の講師役・講座の運営まで担い、川の上流にさかのぼって散策しながら歴史史跡と合わせて解説した。	企画	公募選任	18	167	10
	地	地域発見！ぐるっとカッパダ川	ひろせの底力の企画員が地域の水資源について昨年度調査した事を元に選定したコースを、企画員の案内で歩きながら上流へさかのぼり、川の歴史の変遷や史跡との関わり・地名の由来について学んだ。	講座		1	20	20
宮城西	成	市民企画講座 神掛を歩こう	宮城西探訪メンバーが歴史や古道・旧道を探訪した中で一般市民に紹介する為、企画募集共に体験した。	企画	公募	1	22	22
	民	市民企画会「宮城西探訪」	地域を良く知るために歴史、自然、民俗文化などを掘り起こし後生に伝える活動とし、又市民企画講座を立て運営する。	企画	公募	18	194	11
大沢	民	市民企画講座「お母さんの企画会議」	地域ぐるみの子育てをテーマに、子育て中のお母さん方の情報交換、発信の場となる講座の企画検討。市民企画講座「親子ふれあいリズム遊び」を企画、開催した。	企画	公募	6	18	3
	家	親子ふれあいリズム遊び	市民企画会議「お母さんの企画会議」の企画員が企画運営し、読み聞かせ会、リズム体操等を行ない、地域のお母さん同士の交流を図った。	講座		1	39	39
吉成	民	市民企画委員会～地域の自然環境をどう守るか	地域の自然を住民の手で守ることができるか、話し合い保護についての企画する	企画	公募	6	43	8
	民	市民企画講座～青陵の森活性化プロジェクト	市民企画会で調査した地域に残る自然や、青陵の森を守り活用していくボランティア養成を図る	講座		3	62	21
木町通	民	市民企画会議	地域の課題を解決するための事業を地域に関わる学生達によって企画・運営を実施。	企画	選任	7	30	12
中央	民	東口ゆうえんち企画委員会	主催事業「東口ゆうえんち」を企画運営した。	企画	公募	14	185	15
	青	東口ゆうえんち	市民スタッフが企画したドッジボールや科学実験、街探検、うどんづくり、おばけやしきを、学校や学年を超えて楽しんだ。	講座		5	212	212
	民	市民企画会議	主催事業「一生モノのコミュニケーション能力を身につけよう」を企画運営した。	企画	公募	12	44	6
	成	一生モノのコミュニケーション能力を身につけよう	自分も相手もいかにするためのコミュニケーションについて学び、日頃感じていることなどを話し合った。	講座		5	129	59
高砂	民	市民企画会「高砂昔話伝承館」企画会	地元学の冊子「高砂に伝わるむかし話」を活用し昔話の伝承と地元学の活用にテーマをしぼり意見交換をした。11月に「高砂昔話語部講座」を開催した。	企画	公募	2	6	4
	成	市民企画「高砂昔話語部講座」	地元学の冊子「高砂に伝わるむかし話」を活用し昔話の伝承をした。地域の高齢者や民話の研究家を講師とし、高砂昔話語部の養成をした。	講座		6	52	10
岩切	民	市民企画会議「サークルの活性化について皆で話しをしよう」	センター利用のサークルの高齢化が進み縮小や解散が予想される中、活気あるサークルにする為に各会の代表に集まって戴き意見交換と解決策の話し合いを行った。	企画	選任	3	7	3
	民	「歴史の町岩切の魅力発見塾」企画会議	自然と史跡の岩切の魅力を住民自ら発見し次世代へ継承する意識の育成を図った。	企画	公募	3	59	20

鶴ヶ谷	民	市民企画講座「災害に備えて」一対応と行動一	地域内の現状把握、地域防災の意識向上に向けての検討会。「君もプチレスキュー」見学及び意見交換会。	企画	公募	5	15	6
	民	市民企画講座 鶴ヶ谷ときめきコンサート企画実行委員会	コンサート実施計画・運営計画等の話し合い。	企画	公募	7	38	7
	地	鶴ヶ谷ときめきコンサート	地域内の小学校・幼稚園などによる合唱、ブラスバンド・ゴスペル・ジャズなどの演奏発表。フィナーレは会場全体で合唱。	講座		1	600	600
榴ヶ岡	民	市民企画「榴ヶ岡実年塾」	定年後のセカンドライフのあり方を探り地域活動、ボランティア活動への取り組みなどを話し合い、講座の企画・運営を行った。	企画	公募	5	24	8
	成	榴ヶ岡実年塾「こころと体の健康づくり」	市民企画「榴ヶ岡実年塾」の企画講座として実施。そば打ち・健康体操の実技を通して心身の健康づくり、団塊世代の生活設計や地域とのつながりを見出す一助として実施。	講座		2	28	16
	地	萩こぼれて～ふれあいコンサート	「萩こぼれて」企画検討委員会の企画講座として実施。宮城野中学校吹奏楽部によるコンサートを開催、異世代間交流を図る場として実施。	講座		1	102	102
東部	民	市民企画会議 ふるさと「梅田川」	地域の資源である梅田川を次世代につないでいくための具体的な講座を企画した。	企画	公募	7	49	9
	青	作って流そうぼんぼり舟 in 梅田川	地元小学生が梅田川への関心や親しみを持つ機会として、梅田川の生き物について学び、さらにぼんぼり舟をつくって流した。	講座		1	17	17
幸町	民	市民企画講座 企画委員会	懇談会に出された問題点等を解消すべく、地域の方の声や人材等の資源を事業に反映させるために講座の企画・運営を行う。	企画	公募	7	36	6
	成	市民企画講座「エコでおいしい簡単Cook」	市民企画委員会で企画された講座の実施「小麦粉を使った、バランスの良い食事の作り方。」	講座		2	46	25
田子	地	市民企画会議「たごを愛する住民塾」	懇談会等による課題提起の解決へ市民協働による企画を行なう。	企画	公募	8	45	6
	民	地元学 企画会	地域住民が学びの交流の中から課題を協働で見出し、地域づくりへ関心と愛着を育てる。	企画	公募	15	118	18
	民	食の市民企画	食品への安全性が高まる中、食の見直しを提案、住民に知識を普及する。	企画	公募	15	185	17
	成	食の安心安全クッキング	食の重要性と安全性についての講話と企画員が育てた自然食品を使って、安心・安全な食べ物の体験をする	講座		1	20	20
福室	民	市民企画会	テーマを設け、より地域に根ざした課題解決にむけて、講座を開催するための企画会とする。	企画	公募	6	30	7
	成	市民企画講座「本物の食ってなあに？」～体の中から健康になるために～	市民企画員の話し合いの中から出た問題を解決するために、食生活の現状を見直し体の中から健康になるための講座を開催する。	講座		1	18	18
若林区中央	民	市民企画会 ～若林をもっと知ろう～	地域の学習ニーズや課題を話し合い、講座を企画立案し実施にあたる	企画	公募	9	28	4
	成	「アツ」とたまげた若林～こごさもあるんだよ～あんだの知らね所～	市民企画講座 ・若林の現況について ・浪分神社、谷風の墓 ・若林の伝統職人技(染物・仙台筆) ・区役所周辺の名所を巡る	講座		4	68	17
荒町	家	ママの企画会議室	子育て中の保護者同士が講座を企画・実施する講座。保護者達につながるの場を提供し自ら課題を見つけ解決するための機会を提供する。	企画	公募	9	44	7
	家	子育ての輪 2009	地域の方の案内で、近隣を親子で散策し歴史を学んだり、親子でできる運動や、地域商店の方においしいコーヒーの淹れ方を学びながら交流する。	講座		3	59	21
	民	市民企画「残したい荒町」	御譜代町としての荒町の生活の様子を語り継ぐため、荒町の歴史と魅力を発信していく企画を立てる。	企画	公募	4	16	4
	成	市民企画「見る・聞く・語る荒町」	古くから荒町を知る住民に講師として、商業・まつり・学校・生活などそれぞれの立場で当時の様子や敬称などを話してもらい、学習成果としての冊子を編集する。	講座		13	91	19

六郷	民	コミュニティ六郷市民会議	六郷の地域資源を明らかにしながら、地域団体代表と一般公募した市民企画委員により、六郷の地域課題を探り、六郷の地域づくりのあり方を検討し、具体的な事業計画を作成する。	企画	選任	4	56	16
	地	「生きる力・育む力」市民企画検討会	現在、大人にとっても子供にとっても、命の大切さを改めて考える時代となっている。生きる力を地域で育み、人と人がつながり、温かみのある豊かな地域づくりを目指した企画を実施する。	企画	団体推薦	4	34	12
	地	秋の月と星を見る会	地域に伝わる「お月見」のワークショップを通して若い世代に伝承文化を伝え、天体観測や新しい文化等を融合させて熟年世代にも新しい知識を伝えて、地域の世代間交流を図っていく。	講座		1	67	67
	地	ハートフル六郷	「ハートフル六郷協議会」を編成しハートフルグッズを製作して各団体の役割分担や協力のもと独居老人や後期高齢者に贈り、孤独化を防ぐと共に、子供達の参加により地域活性化を図る。	講座		7	270	262
	地	六郷地域防災事業	市民が防災知識を学び自分自身の安全を確保すると共に、被害状況の把握や要援護者へのサポート等被害を最小限に出来るよう地域防災体制の確立に向けた自主的活動の連携・支援。	講座		3	415	136
沖野	民	市民企画会議	地区住民と協働で地域課題などについて理解を深め、講座などを企画する会議	企画	団体推薦	8	43	6
	地	観て知って考えるみんなの広場	地域の景観、自然観察を通じて地域を再確認し、コミュニケーションづくりや地球環境への理解に繋げる	講座		3	63	50
	成	マナーアップ大作戦パートⅡ	地域の環境マナーアップを目指し、ゴミの減量化の取り組み(生ゴミたい肥プラントづくり、廃油からエコ石鹸作り)と、地域のゴミの現状を歩いて点検しマナーアップ地図の作成	講座		4	66	38
若林	民	市民企画会議 ママが元気になる講座	自分の時間が取りたくとも取れない育児や子育て中の母親を対象に、自分が元気になり、今後の育児や子育てへの活力となる企画を考え元気になることが出来た	企画	公募	4	14	4
	成	ママが元気になる講座	自分に向き合って元気を取り戻し、今後の子育てやパートナーとの関わりに行かす方法を学んだ。	講座		4	88	54
太白区中央	民	花がつなぐ地域の輪プロジェクト	花や緑の育成を通して地球の環境緑化や住民との交流進められる事業を企画・振返りを行った。	企画	公募	5	14	4
	地	明日へひろがる私の緑	葉ぼたんの種まき、苗植え替え、寄せ植え、園芸用土の再利用、定植、鉢花の管理方法、管理についての学びを通して地域で何ができるかを考えた。	講座		5	36	8
生出	民	市民企画講座 一地域の課題・できることから一	地域、住民がかかえている課題について話し合い市民センターと協働し課題解決のための講座を考える	企画	公募	5	27	9
	成	市民企画講座 『裁判員制度 ～模擬評議体験～』	市民企画会議からの年次講座 すでにスタートしている裁判員制度について、理解の不十分などが多い。実際に体験し意識付けに役立てる。	講座		1	14	14
中田	民	市民企画講座「みんなで考える安心のまちづくり！」	地域諸団体を中心に、安心・安全のまちづくりに係わる事業を企画し情報提供をする	企画	公募 選任	6	57	12
西多賀	民	西多賀検定委員会一学ぼう、伝えよう、西多賀の財産一	西多賀に関する様々な事項を検定形式で学ぶ「西多賀検定」の問題作成し実施した。	企画	公募	20	103	8
	成	西多賀“通”になる検定	西多賀に関する様々な事項を検定形式で学んだ。初級・中級の2回の検定を開催。	講座		2	120	120
	民	市民企画会議「あなたも私も地球人ー国際理解を進めよう」	国際理解について関心のある市民が、国際理解を進めるための講座を企画するために話し合いを進め実施した。	企画	公募	8	39	6
	地	ティールームで国際交流in西多賀ふれあいまつり	インド・台湾・中国出身の在仙する外国の方のティールームを「ふれあいまつり」の1ブースとして実施、国際交流を図った。	講座		1	100	100

八本松	民	市民企画会議 「地域を知る」	地域課題に企画委員とともに取り組み素案から講座を企画し運営することにより、地域間交流と世代間交流を図る	企画	公募	7	44	8
	民	市民企画講座 ー地域の知恵袋に学ばー	市民企画会議「地域を知る」による企画 地域のサークル「八本松レディース」による余り布を使った小物製作	講座		2	40	25
八木山	地	エコ・フリーマーケットをひらこうー実行委員募集ー	地域住民が実行委員としてフリマを企画・運営し、エコについての理解を深める	企画	公募	7	24	10
	地	エコ・フリーマーケット	市民企画講座「エコ・フリーマーケットをひらこうー企画員募集！～」で企画した、地域で環境問題を考えたフリーマーケットを実施する	講座		1	150	150
	民	市民企画講座「子育て支援事業ーいっしょにあそぼうー」	子育てに関心のある地域住民による子育て支援事業の企画・運営	企画	公募	5	17	4
	家	パパもおいでよ「いっしょにあそぼう！！」	身近にあるものを使用して「からだあそび」を楽しむことで館員がなくても遊べることや遊び方を知り、日ごろ子どもとのかかわりの少ない父親を主に、親子のコミュニケーションを深める	講座		2	27	20
山田	民	市民企画会「山田花の町プロジェクト」	明るい町作りのための市民参加型の検討会	企画	公募	6	17	7
	成	花の町づくりプロジェクトーにこにこガーデニング	土作りや花作りを学び、地域の公園や道路沿いの花壇の整備活動に生かす。高齢化が進んだ町並みを明るくし、地域の活性化を図る。	講座		8	120	27
茂庭台	民	おやこ広場企画会	子育て中のママと子ども(0～3歳)が楽しめるイベントをママ企画員の意見を聞きながら、太白区子育て支援ネットワーク、太白区中央市民センター、茂庭台児童館とともに協議。	企画	その他	5	72	15
	家	おやこ広場 09 ママを楽しんじゃおう！	0～3歳までの子育て中のママ企画員の意見を反映したイベントを地域の育児サークルとともに開催。	講座		1	61	61
	民	音楽のある街茂庭台ふれあいコンサート企画会	「ふれあいコンサート」の開催に向けて出演者募集や調整などのコンサート企画を行った。コンサート当日は音響・会場設置、出演者のサポート、受付や司会などの運営を行った。	企画	公募	6	35	6
	地	音楽のある街茂庭台ふれあいコンサート	市民企画による開催。住民が気軽に音楽を楽しみ交流できるコンサートを企画運営し、地域の音楽家の演奏やいろいろなジャンルの音楽活動家により魅力あるコンサートが開催された。	講座		2	115	80
	民	市民企画「よみがえれ！水道山」	地域の里山を整備し憩いの場にするを目的に3回のオリエンテーションと4回の整備作業を行う。企画会より「親子で楽しむ水道山の自然と素材」を開催した。	企画	公募	7	56	8
	地	親子で楽しむ水道山の自然と素材	市民企画による開催。親子で地元の里山を探検し(雨天のため途中で中止)木の実など採取し、くねくねダンゴ虫とブービー笛を作成し、地域の自然素材の魅力を体験学習した。	講座		1	15	15
東中田	民	ロビーコンサート企画委員会	公募した委員と意見を交わしながら、コンサートを企画立案した。	企画	公募	5	12	3
	地	ロビーコンサート企画委員会企画事業「東中田ファミリーコンサート」	実行委員会の運営によって、家族連れで気軽に参加し楽しめるコンサートを開催した。	講座		1	105	105
柳生	民	市民企画会「音楽で街づくり」	音楽を通した心豊かな街づくりを目指すための企画をおこなう	企画	公募	4	5	2
	成	音楽で街づくり「フォークダンスを踊ってみませんか」	フォークダンスを通しての地域住民の交流	講座		3	56	26

秋保	民	市民企画会「共に学びあう秋保元気畑」	講座で「野菜作り」を継続して学んだ市民を中心として構成する企画検討会。地域の特性を活かしつつ食の安全・地産地消等多方面から考察し講座開催に向け協議する。	企画	その他	12	116	18
	民	市民企画講座「秋保元気畑塾」	講座の受講生が中心となって構成した企画員が企画会で話し合いを進めながら、自らの体験から生じた悩みや疑問を基に企画する講座。家庭菜園を実践している市民及びこれから始めようとする市民を対象に、土づくりや野菜づくりの基本を学ぶ場を提供し、受講生が実践に役立て健全で安心な食生活を推進することを目的とする。	講座		12	222	19
富沢	民	市民企画「市民センターまつりに参加しよう」	若い世代や転入者の方々も気軽に参加できる地域のおまつりをコンセプトに会議を開き、センターまつり舞台発表部門で『歌おう！ちびっ子』を企画運営した	企画	公募	10	50	7
	民	市民企画会 富沢子育てステーション	育児サークル同士のつながりの場と機会を提供した。自分たちで課題出し合い、サークル活動活性化につながる講座の企画を考え、企画講座「ママカフェ」を実施した	企画	公募	6	94	56
泉区中央	民	ママさん企画会	受講者相互の交流を図りながら、地域の若い母親のニーズを活かした講座を企画した。企画講座実施後、自主サークルが立ち上がった。	企画	公募	8	57	9
	家	ママの休憩時間～私の笑顔で家族がハッピー～	「ママさん企画会」より生まれた事業。子育て中の母親が自分で出来るハンドケアやコミュニケーションについて学び、自分自身を見つめ、心にゆとりを持つ機会となった。	講座		2	44	27
根白石	民	市民企画会議－自分のからだ元気になる方法－	健康でいるために何が必要かを討論し、体力・食事・心の健康に着目し全3回の講座を企画・実施した。	企画	公募	7	32	6
	成	市民企画講座「自分のからだを元気にしよう！」	体力・食事・心の健康の3つの視点から、老人体験や生活習慣病予防を考えた調理実習を行い、受講生同士の交流を深めた。	講座		3	55	20
	民	暮らしみんなでお助け隊	高齢者問題を抱える地域において、暮らしの不便や困りごとに対処するボランティアを養成。りんご農家や柿もぎを手伝った。	講座		6	62	17
南光台	民	市民企画会 市民センターもりあげ隊	企画員を募集し市民センターの活性化に役立つ講座等の計画・実施を行う。また、運営の担い手になってもらい、地域人材の発掘につなげる。	企画	公募	9	48	5
	青	「市民センターもりあげ隊」市民企画講座～みんなで楽しく将棋をやりたい～	テレビゲーム等バーチャルな世界の遊び中心の現代の子供達に伝統文化でもある将棋を媒体として楽しみながら礼儀・対局マナーを身につけ人とのコミュニケーションの応力を高める。	講座		4	41	10
	民	南光台スマイルひろば企画委員会	市民センターと協働で子育て中の方のための託児付講座を企画運営してもらう。またその活動を通し地元で地域活動できる人材に育成していく。	企画	公募	8	39	5
	家	「南光台スマイルひろば企画委員会企画」南光台スマイルひろば～笑顔で子育てをしよう！～	子育て中の方々の問題解決や支援を乳幼児だけでなく未就学児を持つ親に範囲を広げ、講話・実技・ワークショップにより、孤立しない安心した子育てができる地域作りを目指す。	講座		3	34	11
	家	南光台赤ちゃんひろば	乳幼児を育児中の母親と地域をつなげることを目的とし、地域人材の活用し親子活動を通して地域情報を得る機会を提供する。	講座		6	204	34
黒松	民	市民企画会「おしゃべりサロン2009」	「食」をテーマに企画・講座開催を目指す。また、企画運営を通して、地域リーダーとしての人材育成の一助とする。【内容】顔合わせ、内容検討、講座開催、評価と反省	企画	公募	10	39	5
	家	食育講座 楽楽食事～安心・安全な食生活～	家庭で安心・安全な食べ物や、心身の健やかな成長に大切な食の選食能力を楽しく身につける場とする。【内容】講話・実技・朝食とおやつ、同じ食材で和食と洋食	講座		2	16	9
将監	民	市民企画会議「わくわくママサロン」	子育て中の母親のニーズにあった身近なテーマの講座を企画・運営するために、企画会議を実施した。	企画	公募	5	27	6
	家	市民企画講座「わくわくママサロン」	市民企画会議「わくわくママサロン」企画会議の中で子育て中の母親が企画をし、子育て世代のニーズを反映した講座を開催した。	講座		4	59	15

加茂	民	市民企画会「子育てママのおしゃべりサロン」	子育て中のママたちが企画委員となって、子育ての共通の悩みや、情報収集、企画案作成などを経験しながら学ぶことの楽しさと生涯学習についての理解を深める。	企画	公募	6	22	4
高森	民	高森市民企画会議	地域住民が自らの知識や経験を生かし、地域課題や多様なニーズに応える講座を企画、運営する。	企画	公募	3	10	7
	地	高森福祉高齢者地域交流大会～ふれあいコンサート～	高森福祉高齢者地域交流大会企画会議の実施講座。高齢者と地域住民の交流の場として音楽を通して心豊かな時間を提供し、地域の方々の健康増進につなげる。	講座		1	165	165
松陵	地	企画検討会「松陵っ子土っと来い！」	会の目的見直しを図り子どもの居場所作りという原点に立ち返り、子ども主体の事業を企画運営し地域ぐるみでの子育て支援を図る。	企画	団体推薦	3	36	15
	青	企画検討会企画「松陵っ子土っと来いスペシャル」	松陵っ子土っと来い！連絡協議会各団体の連携で松陵小・松陵西小の体育館で行ってきた合同事業を見直し、例年の運動系事業にあわせ文科系の事業を企画。市民センター施設を活用し小学校の一層の交流を生み、地域住民との交流も図る。	講座		2	75	50
	民	市民企画会「集まれ！中学生」	センターまつり・ふれあいコンサートに中高生のアイデアで新しい企画を盛り込むことで互いの活動を通じた異世代交流が生まれ、若い世代のセンターへの気軽な来館を促し地域への愛着心を育てる。	企画	公募	4	20	6
	青	市民企画会企画「ドッジビーに挑戦」	市民企画からの企画。企画員の中高生がドッジビーのルール・審判技術を学び、小学生向けの講座を企画運営することで、ボランティア意識を高める。地域の小学校3校を中心とした近隣の小学生同士の交流を図ると共に、地域の異年齢交流も図る。	講座		2	35	25
寺岡	民	紫山・寺岡コンサートに参加しよう！	住民の話し合いでコンサートをより豊かなものにするための企画をし、実行する。	企画	公募	7	21	4
	地	市民企画講座「Souful singing～ゴスペルを歌おう～」	初心者も気軽に参加できるゴスペルを練習してコンサートで発表し、住民参加型コンサートの意識を高める。	講座		4	89	30
松森	民	「松森学」2009企画会	地域の歴史・文化をテーマに「地域の魅力」を再発見する企画として、松森の歴史概要の講話、地域散策、聞き取り調査、調査受講生の発表などの実施	企画	公募	6	87	15
	成	松森学2009企画会実践講座「風に聞くー松森探歩ー」	地域に暮らす人々の昔の歴史・生活・文化を掘り起こした結果の発表会と地域のよもやま話	講座		1	35	35
	民	コンサート in まつもり企画会	身近な施設で気軽に音楽に触れる機会を提供するコンサートを市民レベルで開催するための企画会議	企画	公募	5	21	5
	地	市民企画講座「～初秋の調べ～コンサート in まつもり」	「コンサート in まつもり」の企画会議の結果を踏まえ、「松森からジャズを発信したい」との考えからジャズコンサートの実施	講座		1	178	178
桂	民	桂ロビーコンサート企画会議	桂ロビーコンサートを企画する。	企画	公募	5	25	7
	地	桂ロビーコンサート	桂ロビーコンサート企画会議の結果、回のコンサートを開催。「音楽が生まれる街」をテーマに室内楽・声楽・アイリッシュ・ハープ・三弦と琴の演奏等。	講座		7	446	446
	民	ママの手作り企画～広げよう和・話・輪は地域から～	母親達の目線で子育ての課題や地域の課題、さらにリフレッシュのあり方などを話し合い、親子で参加できる講座を企画する。	企画	公募	5	22	6
桂	家	ママのいきいきほっとタイム	子育て中の母親を日頃のストレスから開放する為に、子供と一緒に運動する講座や生活に役立つ講座を実施。	講座		4	106	50
	地	桂地域懇談会企画講座 災害時の地域対応セミナー	過去の大災害の実態についてや災害時における相互助け合いの必要性について学ぶ	講座		1	35	35
南中山	民	学生と市民企画講座	地域づくりのあり方を実践的に学習、その成果として開催する講座の企画・検討・準備	企画	その他	7	112	16
	青	いずみ中山のマップをつくろう～自分のまちがもっと好きになる～	自分の町の地図に公園や学校等の写真を貼付、地域ごとに発表	講座		1	21	21

若林区 中央 (教育)	青	中高生企画会議「やってみっぺ」	区内の中・高校生 10 名程度の企画委員を公募し、月に 1 回程度の企画会議を開き、小・中・高校生を対象とした講座の企画・運営を行った。	企画	公募	2	6	3
	青	中高生企画講座「やってみっぺ」	中高生企画会議「やってみっぺ」の企画委員が市民センター事業について企画会議を開き、その中から生まれた小・中学生を対象とした講座を実施した。	講座		2	6	3
	地	企画会議「若林ヤング・コミュニティ楽園」	区内や周辺区に在住する青少年数名の企画委員を公募し、月に 1 回程度の企画会議を開き、若者を対象とした講座の企画・運営を行った。	企画	公募	6	22	9
	地	企画講座「若林ヤング・コミュニティ楽園」	企画会議「若林ヤング・コミュニティ楽園」の企画委員が、市民センター事業の企画会議を開き、その中から生まれた若者を対象とした講座を実施した。	講座		2	14	14
太白区 中央 (教育)	民	IMAYO！！企画会	大学生企画員が地域活性化のためにアイデアを出し合って事業の企画や準備を実施した。	企画	公募	18	59	9
	民	IMAYO！！	大学生企画員による小学生のための科学実験講座、市民センターまつりでのスタンプラリー、大学生による地域住民のためのコンサートを実施した。	講座		3	364	345

懇話会・事業運営懇談会

地域課題の共有，解決を主なテーマとした懇話会，事業運営懇談会を開催し，地域住民の学習ニーズ，地域課題を踏まえた事業企画に活かしている。

【事業運営懇談会実施状況】

館名	事業名	事業の主な内容	実施日 期間	回数	参加 延人 数	参加 実人 数
青中	青中懇話会	市民の学習ニーズや地域の課題等について市民の声を聞き、市民センターが地域に密着した事業を実施できるようにする	6 月 11 日 10 月 21 日 3 月 17 日	3	24	15
柏木	柏木市民センター 懇談会	地域コミュニティのパートナーシップづくりに努め地域の活性化を図った。	11 月 14 日	1	10	10
	柏木市民センター 利用者 茶話会(懇談会)	地域に根ざした市民センターとなるため、地域住民・利用者団体との要望や課題の集約を図った。	10 月 24 日	1	21	21
北山	懇談会「館長と語ろう」	新館建築工事の進捗状況説明と今後の予定、地域ニーズの情報収集と意見交換。	2 月 8 日	1	12	12
福沢	福沢市民センター 懇談会	センター事業について意見を聞き事業企画・運営に反映させるため、小学校学校校長・教頭・教諭、保育園園長、町内会会長、地域団体代表、サークル代表等と懇談会を行った。	10 月 23 日	1	10	10
旭ヶ丘	旭ヶ丘地域懇話会	1 回目は、本年度のメンバーによる自己紹介、21 年度開催に事業についての説明と情報交換会。2 回目は本年度事業の報告と皆様からの要望、情報交換という形で開催。	5 月 23 日、 11 月 21 日	2	26	13
三本松	三本松地域懇談会	地域ニーズ、人材、資源の情報を収集して、センターの要望、意見を取りまとめ事業に生かす	6 月 3 日・ 2 月 25 日	2	7	6
片平	片平市民センター 懇話会	市民センターと地域団体・住民との情報交換の場とし、課題の共有化を図りながら課題解決の方法を探った	4 月 21 日～ 10 月 30 日	4	41	41
水の森	水の森懇話会	地域内の各種団体代表者と懇談。市民センター主催事業や施設運営の説明。意見・情報交換。課題をさぐり、今後の事業に反映させていく。	11 月 28 日	1	15	15
貝ヶ森	地域懇話会	地域の課題やニーズを把握し事業に反映させる為、地域諸団体の方やサークル代表者らとの情報交換・意見交換会を行う。	1 月 23 日・ 3 月 9 日	2	28	28
中山	中山市民センター 懇話会	地域の各種団体・教育機関・利用者との意見交換の場とし、地域の学習課題やニーズなどを共有する。	11 月 25 日 12 月 17 日 1 月 15 日 ・24 日 3 月 16 日	5	51	51

折立	懇話会意見交換会	地域住民と共に地域課題や資源の情報を交換し合い、地域づくりの方向性を探った。市民センター事業への要望・意見を聞きその声を事業に反映させ、共にパートナーシップづくりに役立てた。	5月30日 10月10日 2月20日	3	28	14
	サークル団体交流会	地域で活動する団体・組織が集まり意見交換し、交流した。	11月26日	1	12	12
広瀬	ひろせ懇談会	1回目は子育て支援関連団体と地域の子育て支援とその連携について、2回目はサークルや地域団体の代表と今年度の事業について、それぞれ意見交換をした。	10月16日・ 1月27日	2	16	8
宮城西	宮城西地域懇談会	町内会、各種団体の情報交換の場とし地域課題、ニーズの把握に努め市民センターへの理解や運営に役立てる。	7月～3月	4	141	141
大沢	大沢地域懇談会	市民センターへの市民参画を進めるため地域資源、ニーズ等の意見交換をして地域の課題を共有した。	8月29日～ 2月26日	2	28	14
落合	落合地域懇話会	町内会長やサークルの代表者が集まり、センターまつりや次年度の事業実施方針・事業企画について意見交換をした。	10月11日 2月23日	2	22	15
吉成	地域懇談会	利用者との懇談会による地域課題、要望などの把握と、市民センター活動の紹介。	12月25日 ・2月3日	2	13	13
	吉成地域団体交流会	吉成学区における活動団体の交流。	6月25日	1	44	44
木町通	木町通地域懇談会	地域課題や学習ニーズについての情報交換、意見交換を行い市民センター事業運営に対する地域ニーズを把握するため各種団体活動連絡会に立ち上げについて等の協議を実施	6月4日・ 9月10日・ 2月26日	3	64	25
中央	中央市民センター事業運営懇談会	学びのコミュニティ推進委員会のメンバーからセンター事業について意見や要望を聞いた。また、今年度開催の10講座の参加者にもアンケート調査をした。	11月12日	1	17	17
高砂	あなたの町と市民センター懇話会	蒲生地区、港南地区、福田下町内会、センター利用サークル等地域の方々によびかけて懇話会を開催し市民センターへの理解を深めてもらおうと共に地域ニーズを探り地域人材情報の収集を図った。	4月25日 5月9日 11月7日 1月23日	4	91	91
岩切	地域懇話会	地域の各種団体の皆さんと地域課題を共有し、各テーマについて話し合い今後の事業に反映させるべく意見交換を行った。	11月6日 ・13日 2月24日	3	21	7
	家庭教育地域交流会	地域と深い関わりを持つ6団体が情報交換を行い地域社会の普及・発展に努め内容の充実を図った。	5月28日・ 6月25日・ 8月6日・ 9月10日・ 12月19日	5	62	13
鶴ヶ谷	鶴ヶ谷地域懇談会	センター事業・運営に対する提案や地域情報・課題について意見交換会。	7月18日 11月7日	2	50	50
榴ヶ岡	榴ヶ岡市民センター懇談会	榴ヶ岡市民センター事業活動状況の報告、地域づくりや生涯学習事業の取り組み等についての意見交換を行った。	10月22日・ 12月3日	2	19	10
東部	東部市民センター地域懇談会	市民センター運営に活用するために、地域住民・団体との情報交換および、意見・要望の聞き取りを行った。	4月24日 ・25日	2	34	34
幸町	地域懇談会	懇談会の趣旨説明・地域の問題点・地域の人材や資源・市民センターの主催講座に反映させたい事柄について話し合う。	6月23日 ・30日	2	18	10
田子	田子市民センター懇談会	地域の課題とその対応について懇談会メンバーと市民センターが定期的に話し合う。	6月7日 11月21日 3月6日	3	43	17
福室	地域懇談会	地域内の諸団体や学校などと広く意見交換し、地域課題やニーズをセンター事業に反映させ、事業方針を理解していただく場とする。	4月17日 6月20日 ・26日 11月13日	4	52	23
若林区中央	若林区中央市民センター事業懇談会「田んぼっく懇話会」	市民センター事業の評価、要望等についての意見交換や地域情報の収集	5月30日 10月17日 3月13日	3	25	10
七郷	七郷の地域懇談会	地域住民のニーズの把握と市民センターへの理解を求める。市民センターの利用について、主催事業について、地域の課題について 等	5月24日 9月18日 2月20日	3	47	47
荒町	荒町事業運営懇談会	センターの事業運営をより良いものにするため、意見交換の場として実施。地域住民・利用者を対象に意見交換・要望聴取、事業運営に就いての説明・協力要請などを行う。	6月5日 9月4日 11月13日 2月26日	4	30	14
六郷	市民センター事業運営懇談会	地域課題を検討し、市民センターの地域の中で果たすべき使命・役割を明確にしなが、市民センター運営方針や事業内容の理解を得て意見・要望を広く聞きセンター運営の改善を図る。	6月20日 11月27日 2月6日	3	24	18
沖野	懇話会	生涯学習拠点として地域の情報収集とセンターPRの為に会議を開催する	6月13日 11月13日 2月27日	3	19	10

若林	若林地域懇話会	地域の課題やニーズについて意見交換しよりよい市民センター事業の実施や地域の生涯学習拠点としての機能充実を図った。	11月7日 2月16日	2	35	35
太白区 中央	市民センター登録 団体・サークル懇談 会	市民センター登録団体8団体を選任し、サークルの抱えている課題等について情報交換。次年度、4月に市民のためのサークル体験の計画ができた。	1月30日	1	10	10
	魅力アップ懇話会	事業計画、事業報告、市民センター課題、地域情報、意見交換。	5月23日 9月26日 3月13日	3	25	10
生出	生出市民センター 地域懇談会	市民センター事業への地域住民との意見交換の場を設けて、学習ニーズや地域課題を共有する。	4月11日	1	20	20
中田	地域懇談会	地域課題や地域資源などを幅広く意見を取り入れ事業に活かすための会議	2月4日 3月4日	2	12	10
西多賀	地域を結ぶ懇談会	公募や各種団体から選定した委員で構成する懇談会のなかで、地域の人材等の様々な情報を得るとともに、地域課題の共有を図り、解決のための事業の実施につなげた。	6月2日 ・9日 ・26日 7月22日	4	42	20
八本松	市民懇話会 安心・安全のまち八 本松を考えよう	八本松小学校区町内会と協働して、学校を含めた地域のニーズを探し出し、ネットワークづくりを行いながら、市民センターの役割を見出す。	12月18日 2月5日	2	20	10
八木山	八木山・気軽に事 業運営懇話会	地域住民とのフリートーク形式で懇談会を開催し、ニーズや提案を把握する	12月4日 ・17日	2	8	4
山田	山田地域懇談会	市民センターの課題と対策、年間行事の振り返り。	10月17日 2月27日	2	25	24
茂庭台	地域懇話会	町内会、地域の各団体に市民センター事業方針・内容を説明後、地域課題の収集と意見交換を行い、茂庭台地区市民センター事業推進委員会を設立。22年度各団体の地域活動年間カレンダーを作成することになった。	10月16日 11月20日	2	22	11
東中田	地域懇話会	地域団体代表者や学校関係者らと地域課題や情報を共有し、要望やニーズを探った。	1月13日 ・20日 ・27日	3	29	27
柳生	地域懇話会	管内各小中学校・関係団体・町内会との地域内の情報交換と課題の把握の場	11月26日	1	6	6
	町内会交流会	中田西部町内会の各町内会代表との意見・情報交換の場	7月11日・ 2月26日	2	40	20
秋保	地域懇談会	秋保、馬場、湯元の3市民センターを会場に懇談会を実施し、市民センターの活動への理解を深めてもらい、同時にセンターの活用、利用度アップ、事業のヒントを探る。	5月27日 7月4日 2月24日 ・26日	4	37	20
富沢	富沢市民センター 懇話会	地域課題やニーズの収集・情報の共有をし、センター事業運営への理解を得た	11月21日 2月13日	2	28	17
泉区中 央	泉中央懇話会	・センター利用サークル対象の懇談会を実施。要望により「合同サークル体験・発表会」を開催した。・地域の子育て機関・団体対象の懇談会を実施。子育て機関の相互理解と今後の活動について話し合いの中から、次年度の事業連携へ繋がった。	6月4日 7月2日 8月6日 9月3日	4	45	26
根白石	地域懇談会	地域の抱える問題や、市民センターに求められている役割などについて、広く意見を交換し地域課題を共有する。	7月30日 12月15日	2	43	30
南光台	南光台市民センタ ー懇談会	市民センターの事業運営に地域の課題や情報を的確に反映させるため利用者、町内会、商店会等地域団体と懇談会を設置する。	7月25日～ 2月27日	3	31	10
黒松	黒松市民センター 懇話会	地域課題の共有・解決のため、地域団体から意見徴収。また、市民センター事業を地域団体に周知・報告する。【内容】懇談会	7月29日・ 3月24日	2	6	4
将監	将監懇談会	生涯学習についての要望や地域情報・課題について意見交換を行った。	8月19日 9月9日 10月14日	3	24	8
加茂	地域懇談会	地域課題の共有、解決。地域の各種団体の代表者と、事業や課題等を情報交換し市民センター事業に対する意見やニーズを聴き、相互理解を深める。	1月9日～ 1月26日	2	31	31
	ロビートークサロン	地域の方と気軽に話し合いができる場を設け、事業運営に関する意見や要望を聞く。	4月21日～ 2月16日	3	19	10
高森	高森地域懇談会	市民センター運営に対する意見交換や地域の課題・情報交換の場として、懇談会を実施する。地域の団体や住民に声がけし、地域課題の共有化を図り、課題解決に取り組む。	10月27日 11月6日 ・19日	3	23	10
松陵	向陽台地域懇談会	地域課題の共有と、課題解決の為の懇談会を開催し、次年度以降の事業に反映させる。	9月5日	1	12	12
寺岡	寺岡・紫山懇談会	住民の意見や要望を聞いて、地域課題を抽出し、センター事業に反映させる。	7月17日 ～8月4日	2	6	5

長命ヶ丘	市民センター運営懇談会	地域課題に当市民センターがいかに関わっていくべきか地域住民と組織団体、利用団体サークルの会員に参加してもらい懇談会を開催し意見交換する	6月9日・16日・23日	3	64	24
松森	鶴が森コミュニティー・サロン	地域ニーズ・地域課題や、地域の変化・情報の交流として、地域各種団体との懇談会、施設利用団体との懇談会の実施	6月17日 2月13日	2	57	29
桂	桂地域懇談会	地域の諸団体の代表者と地域づくりについて意見を交換する。	5月28日 6月4日 7月18日	3	21	8
南中山	地域懇談会	地域住民との意見交換会	7月4日・ 1月23日・ 2月27日・ 3月6日	4	32	32

資料

1. 仙台市市民センター施設概要一覧

※建物延床面積は一部併設施設分も含む

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	工事費 (千円)	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
青葉区 中央	青葉区一番町二丁目1 番4号	223-2516 261-3251	昭和62年12月15日	73,941	7,148.85 2,311.55	ホール、小ホール(2)、会議室(5)、和室、調理実習 室、音楽室、市民活動室	小学校
柏木	青葉区柏木三丁目3番 1号	233-8066 233-8484	平成10年4月1日	440,806	2,822.73 1,315.20	会議室、和室(2)、ホール、市民活動室、資料室	コミュニティ防災センター
広瀬	青葉区下愛子字観音 堂5番地	392-8405 392-8410	平成3年3月31日	444,000	6,746.77 786.54	会議室、セミナー室(2)、和室(2)、創作室、サーク ル連絡室	広瀬文化センター・広瀬図 書館
宮城西	青葉区熊ヶ根字石積 47	393-2829 393-2491	昭和51年12月20日	56,000	2,299.72 677.92	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、体育館、談 話コーナー	
北山	青葉区新坂町8番4号	272-1020 272-1210	昭和49年7月3日	211,822	2,075.80 2,269.56	会議室(4)、和室(4)、調理実習室、音楽室、ト レーニング室(2)、体育館	児童館(図書室)
福沢	青葉区福沢町9番9号	223-9095 213-1647	昭和59年6月9日	423,850	3,205.75 1,998.46	会議室(3)、和室(3)、視聴覚室、調理実習室、遊 戯室、図書室、音楽室、体育館	コミュニティ防災センター
旭ヶ丘	青葉区旭ヶ丘3丁目25 番15号	271-4729 271-7984	昭和60年6月15日	863,890	3,128.66 2,044.91	展示ホール(2)、ホール(2)、会議室(3)	旭ヶ丘バス乗継ターミナル
三本松	青葉区堤町三丁目23 番1号	274-3955 234-5355	昭和62年3月31日	345,419	4,861.02 1,499.07	会議室兼調理室、和室(3)、体育館、遊戯室、図 書室	コミュニティ防災センター
片平	青葉区米ヶ袋一丁目1 番35号	227-5333 268-0234	平成元年3月15日	527,764	2,500.03 2,027.60	会議室(2)、会議室兼調理実習室、和室(3)、体 育館、音楽室、広瀬川自然展示コーナー	児童館(図書室)・コミュ ニティ防災センター
大沢	青葉区芋沢字要害65 番地	394-6891 394-6439	平成2年5月24日	321,360	6,318.73 1,245.60	会議室兼調理実習室、和室(2)、体育館	児童館(図書室)・コミュ ニティ防災センター
水の森	青葉区水の森四丁目1 番1号	277-2711 277-8863	平成2年8月30日	1,180,060	(水の森温水 プール内) 11,317.60 1,847.57	会議室、会議室兼調理実習室、和室(3)、体育 館、親子室	児童館(図書室)・コミュ ニティ防災センター・温水プール
貝ヶ森	青葉区貝ヶ森一丁目4 番6号	279-6320 279-6704	平成5年4月26日	518,000	3,690.11 1,578.64	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、資料 室、親子室、ホール	児童館(図書室)
落合	青葉区落合一丁目15 番15号	392-7301 392-6737	平成6年3月31日	390,000	4,078.96 1,248.45	会議室兼調理実習室、和室(2)、音楽室、図書 室、親子室、ホール	コミュニティ防災センター
中山	青葉区中山三丁目13 番1号	279-9216 719-2150	平成7年3月31日	526,000	4,047.48 1,719.78	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、資料 室、親子室、ホール	児童館(図書室)・老人 憩いの家・コミュニティ防災 センター
折立	青葉区折立三丁目20 番1号	226-1226 226-2660	平成7年5月30日	648,000	2,843.36 1,790.71	会議室、会議室兼調理実習室、和室(2)、ホー ル、親子室、資料室	児童館(図書室)・コミュ ニティ防災センター
吉成	青葉区国見ヶ丘二丁 目2番地の1	279-2033 279-9431	平成8年4月26日	588,936	3,300.76 1,606.03	会議室、会議室兼調理実習室、和室、親子室、 ホール、資料室	児童館(図書室)・コミュ ニティ防災センター
木町通	青葉区木町通一丁目7 番36号	711-2561 212-4330	平成16年2月27日	795,874	(木町通小 学校内) 10,480.00 2,892.34	会議室(2)、和室(2)、調理実習室、音楽室、親子 室、市民活動室、ホール	小学校・児童館(図書 室)・コミュニティ防災センター
中央	宮城野区榴岡4丁目1 番8号	295-0403 295-0810	昭和58年2月28日	1,217,102 (市民C分)	3,367.52 4,064.32	会議室、セミナー室(4)、和室、音楽室(2)、創作 室(2)、体育館、トレーニング室、ミーティング室、 情報コーナー	榴岡図書館

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	工事費 (千円)	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
高砂	宮城野区高砂一丁目 24番地9号	258-1010 259-7577	平成6年3月30日	664,418	10,000.02 1,908.06	会議室(2), 和室(2), 調理実習室, 親子室, ホール, 資料室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター・老人福祉センター・デイサービスセンター・保健センター
岩切	宮城野区岩切字三所 南88番地の2	255-7728 255-2075	昭和56年12月15日	364,900	4,789.09 2,060.91	講義室, 研修室(2), 和室(2), 調理実習室, 視聴覚室, 創作室, 体育館, 図書室, 交流室, 親子室, 資料室	保健センター・老人憩いの家・コミュニティ防災センター・証明発行センター
鶴ヶ谷	宮城野区鶴ヶ谷八丁目 19番地の1	251-1562 251-1564	昭和47年5月	135,669	7,377.65 2,003.21	会議室(3), 和室, 調理実習室, 遊技室, ホール	児童館(図書室)・温水プール
榴ヶ岡	宮城野区五輪一丁目4 番22号	293-6742 293-6761	昭和48年6月1日	68,245	2,266.05 1,020.17	会議室(5), 和室, 調理実習室, 談話コーナー	
榴岡公園 軽体育館	宮城野区五輪一丁目3 番1号	299-5666 299-5690	平成元年4月26日	245,000	963.40 1,005.33	和室(2), ミーティングルーム(2), 休憩室, 体育館	
東部	宮城野区平成一丁目3 番27号	237-0092 235-7634	昭和58年4月8日	304,815	1,795.57 1,435.36	会議室, 和室(3), 調理実習室, 娯楽室, 体育館, 授乳室	児童館(図書室)
幸町	宮城野区幸町三丁目 13番13号	291-8651 291-8561	平成5年3月31日	615,000	3,838.08 1,756.90	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 親子室, 資料室, ホール	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
田子	宮城野区田子二丁目4 番25号	254-2721 254-2722	平成11年8月5日	676,433	2,877.76 1,951.49	会議室(2), 和室(2), 調理実習室, ホール, 娯楽室, 親子室, 市民活動室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
福室	宮城野区福室五丁目9 番36号	786-3540 388-6320	平成15年1月10日	655,095	4,747.25 1,956.70	ホール, 会議室(2), 和室(2), 調理実習室, 市民活動室, 娯楽室, 親子室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
若林区 中央	若林区南小泉一丁目1 番1号	282-1173 282-1180	平成5年3月	5,400,000	(若林区文化 センター内) 11,842.43 515.21	会議室(2), 和室(3), セミナー室(2), 創作室, サークル連絡室, プレイルーム	文化センター・図書館・情報センター
(若林区 中央 別棟)	若林区保春院前丁3番 地の4		昭和53年5月17日	279,841	3,369.21 2,120.57	会議室, 和室(2), 調理実習室, ホール, 娯楽室	児童館・社会福祉協議会
七郷	若林区荒井字堀添65 番地の5	288-8700 288-2340	昭和58年3月7日	643,859	5,674.00 1,986.39	会議室, 研修室(2), 和室(3), 調理実習室, 視聴覚室, 創作室, 体育館, 市民活動室	児童館(図書室)・保健センター・コミュニティ防災センター・証明発行センター
荒町	若林区荒町86番地の2	266-3790 266-5436	平成21年11月27日	474,000	1,430.29 2,234.78	会議室(3), 和室(2), 調理実習室, ホール, 親子室, 市民活動室, 創作活動室, 娯楽室兼記念室, 遊戯室	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
六郷	若林区今泉一丁目3番 19号	289-5127 289-6359	昭和56年12月15日	340,919	4,320.94 1,685.64	会議室(3), 和室(3), 調理実習室, 娯楽室, 体育館	児童館(図書室)・保健センター
若林	若林三丁目15番20号	282-4541 282-2637	平成3年4月29日	427,390	3,048.00 1,624.03	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 資料室, 親子室, ホール	児童館(図書室)・コミュニティ防災センター
沖野	若林区沖野七丁目34 番43号	282-4571 285-4681	平成3年3月30日	425,020	6,151.42 1,637.42	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 親子室, 資料室, ホール	児童館(図書室)・老人福祉センター・デイサービスセンター
太白区 中央	太白区長町五丁目3番 2号	304-2741 304-2526	平成11年3月31日	11,539,800	(太白区文化 センター内) 9,684.57 2,311.68	会議室(5), 和室(2), 調理実習室, 音楽室, 創作室, 体育館	文化センター・図書館・児童館・情報センター
中田	太白区中田四丁目1番 5号	241-1459 242-2535	昭和56年3月20日	463,278	2,697.75 1,801.97	講義室, 研修室(2), 和室(2), 調理実習室, 視聴覚室, 図書室, 体育館	証明発行センター
生出	太白区茂庭字新熊野 64	281-2040 281-4319	昭和55年3月31日	326,435	3,635.87 955.78	講義室(2), 和室, 図書室, 調理実習室, 体育館	診療所・保健センター・証明発行センター
秋保	太白区秋保町長袋字 大原160-2	399-2316 399-2394	昭和46年9月1日	936,661	4,111.77 1,545.94	研修室, 視聴覚室, 茶室, 図書室, 和室, 会議室, 体育館, 調理実習室, 談話室	

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	工事費 (千円)	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
馬場	太白区秋保町馬場字 竹林45番地の1	399-2745 -	昭和52年3月31日	103,000	3,185.42 734.20	会議室, 講義室, 調理実習室, 体育館, 図書室 兼談話室	
湯元	太白区秋保町湯向2- 20	398-2720 398-2789	昭和54年3月31日	123,000	1,846.47 844.98	集会室, 会議室, 講義室, 視聴覚室, 調理実習 室, 和室	
西多賀	太白区西多賀三丁目 6-8	244-6721 244-0524	昭和53年5月10日	180,246	2,526.17 1,462.35	会議室(2), 和室(3), 調理実習室, ホール, 娯 楽室	児童館(図書室)
八本松	太白区八本松二丁目4 番20号	246-2426 246-9023	昭和60年5月12日	328,402	3,606.73 1,495.44	会議室兼調理実習室, 会議室, 和室(2), 体育 館, 娯楽室	児童館・太白図書館分 室・コミュニティ防災センター
八木山	太白区八木山本町一 丁目43番地	228-1190 228-1689	昭和62年2月10日	385,718	(八木山動 物公園内) 21,569.00 1,832.02	会議室兼調理室, 会議室, 和室(2), 体育館, 図 書室, 遊戯室, 娯楽室	コミュニティ防災センター
山田	太白区山田北前町13 番1号	244-0213 244-1843	昭和62年4月17日	403,271	4,434.93 1,496.88	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 体育 館, 遊戯室, 娯楽室, 図書室	コミュニティ防災センター
茂庭台	太白区茂庭台四丁目 1-10	281-3293 281-4349	昭和63年3月31日	333,560	9,803.90 1,495.55	会議室, 和室(2), 会議室兼調理室, 娯楽室, 体 育館	児童館(図書室)・コミュニ ティ防災センター
東中田	太白区四郎丸字吹上 51番地	242-1185 242-7053	平成元年3月5日	432,747	5,516.21 1,619.96	会議室, 和室(2), 娯楽室, 体育館, 会議室兼調 理実習室	児童館(図書室)・保健セ ンター・コミュニティ防災センター
柳生	太白区柳生七丁目20- 7	306-6750 306-7081	平成9年3月31日	570,000	2,879.16 1,633.01	会議室, 和室(2), ホール, 資料室, 親子室, 会議 室兼調理実習室	児童館(図書室)・コミュニ ティ防災センター
富沢	太白区富沢南一丁目 18番地の10	244-3977 307-5101	平成13年11月22日	570,890	4,068.46 1,839.30	会議室(2), 和室(2), ホール, 調理実習室, 娯楽 室, 親子室, 図書室, 市民活動室	コミュニティ防災センター
泉区 中央	泉区市名坂字東裏53 番地の1	372-8101 372-2447	平成15年11月14日	687,208	3,035.78 2,138.54	会議室(3), 和室(2), 調理実習室, 研修室, 音楽 室, 創作室, 親子室, 娯楽室, 市民活動室, ホー ル	コミュニティ防災センター・泉 ふるさと生活ギャラリー
根白石	泉区根白石字杉下前 24番地	379-2108 376-5769	昭和63年3月31日	518,999	5,839.66 1,911.53	会議室(2), ホール, 工作室, 和室, 調理実習室	泉図書館分室, 証明発 行センター
南光台	泉区南光台七丁目1番 30号	251-5850 252-8172	昭和52年3月31日	80,000	3,295.50 1,218.49	集会室, 和室, 研修室(5), 会議室, 調理実習室	泉図書館分室
黒松	泉区黒町一丁目33番 40号	234-5346 219-2038	平成4年10月20日	487,000	5,264.63 1,491.48	ホール, 研修室(2), 多目的室, 和室, 調理実習 室	泉図書館分室
将監	泉区将監八丁目2番1 号	372-0923 374-8704	平成4年3月19日	348,000	1,821.00 1,497.95	和室(2), 研修室(3), 調理実習室, ホール, 娯楽 室, 託児室	泉図書館分室
加茂	泉区加茂四丁目2番地	378-2970 377-4565	昭和58年4月1日	240,487	3,147.00 1,469.84	和室, 研修室, 調理実習室, ホール, 体育館	泉図書館分室
高森	泉区高森六丁目1番地 の2	378-9950 378-9969	平成元年3月20日	335,411	3,000.12 1,499.93	研修室(3), 和室, 調理実習室, 音楽室, 工作 室, ホール	泉図書館分室
松陵	泉区松陵五丁目20番 地の2	375-8101 375-6101	平成2年3月10日	355,522	2,806.93 1,498.49	研修室(3), 工作室, 調理実習室, 和室, 託児 室, ホール	泉図書館分室
寺岡	泉区寺岡二丁目14番 地の4	378-4490 378-4534	平成3年3月10日	412,341	2,665.42 1,481.22	研修室(3), 和室, 調理実習室, トレーニング室, ホール	泉図書館分室
長命ヶ丘	泉区長命ヶ丘2丁目14 番15号	377-3504 377-3508	平成5年4月27日	512,000	2,885.07 1,496.35	会議室, 会議室兼調理実習室, 和室(2), 娯楽 室, 親子室, ホール	泉図書館分室

館名	住所	電話番号 FAX番号	竣工	工事費 (千円)	敷地面積 建物延床 面積(m ²)	主要施設	併設施設
松森	泉区松森字城前9番地の2	776-9510 776-9512	平成11年12月10日	678,439	4,000.50 1,870.33	会議室, 和室(2), 調理実習室, 工作室, ホール, 娯楽室, 図書室, 親子室, 市民活動室	コミュニティ防災センター
桂	泉区桂三丁目19番1号	375-0550 771-5931	平成13年12月4日	695,940	7,759.48 2,268.05	会議室(2), 和室(2), 創作室, 調理実習室, 娯楽室, 親子室, 市民活動室, ホール	児童センター(図書室)・コミュニティ防災センター
南中山	泉区南中山二丁目24番12号	379-4780 348-4340	平成15年11月13日	142,480	5,718.56 1,579.66	会議室(2), 和室(3), 調理実習室, 研修室, 親子室, 娯楽室, 市民活動室, 図書コーナー, ホール, 体育館	コミュニティ防災センター

2. 市民センター事業費・管理費

<歳 出>

〔市民センターにかかる経費〕

単位:千円

		平成17年度(決算)	平成18年度(決算)	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(予算)
地域社会教育事業費(※)		564,507	543,340	525,437	519,892	536,776
市民センター 施設費	運営管理費	1,327,207	1,303,032	1,317,349	1,294,120	1,291,899
	施設整備費・改築費等	106,436	445,307	934,984	313,747	1,202,327
合 計		1,998,150	2,291,679	2,777,770	2,127,759	3,031,002

※地域社会教育事業費 内訳

単位:千円

		平成17年度(決算)		平成18年度(決算)		平成19年度(決算)		平成20年度(決算)		平成21年度(予算)	
		拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館	拠点館	地区館
各種 講座等	家庭教育推進事業	1,007	5,859	491	5,017	413	5,634	573	4,997	512	4,693
	青少年健全育成事業	6,777	5,352	5,283	4,362	4,176	3,969	3,436	3,322	1,967	3,944
	成人学習振興事業	2,724	13,571	606	5,385	639	5,730	332	6,143	351	7,326
	高齢者学習振興事業	649	7,090	691	4,352	738	5,060	555	4,426	570	5,328
	地域社会教育推進事業	2,179	5,058	2,188	5,673	2,202	5,278	1,631	4,810	1,241	5,295
	民間指導者育成事業	2,356	4,017	3,113	2,987	2,858	2,101	1,811	2,578	1,857	2,369
	学習情報提供事業	956	815	1,604	1,836	1,869	1,982	841	2,624	969	1,045
	小 計	16,648	41,762	13,976	29,612	12,895	29,754	9,179	28,900	7,467	30,000
学習情報提供事業 (情報コーナー・学習 情報提供システム関係)		17,688		17,257		16,101		15,151		16,213	
その他事業経費		18,129	470,280	13,407	469,088	12,586	454,101	11,159	455,503	12,800	470,296
合 計		52,465	512,042	44,640	498,700	41,582	483,855	35,489	484,403	36,480	500,296

<歳 入>

単位:千円

	平成17年度(決算)	平成18年度(決算)	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(予算)
市民センター使用料	178,944	166,024	161,933	158,929	160,904

3. 平成21年度 市民センター職員数

(平成21年5月1日現在)

■ 部分は嘱託職員

□ 内部で兼務

□ 外部で兼務

青葉区

		教 育 委 員 会										(財)ひと・まち交流財団								
	職名	セ ン ター 長	セ ン ター 次 長	主 幹 兼 係 長	係 長	主 査		主 任		主 事		臨 時 職 員	合 計	(常 勤 嘱 託) 長	事業職員			非 常 勤 嘱 託	合 計	総 計
	館名					主 任	事 業 職 員	事 務 職 員	常 勤 嘱 託											
1	青葉区中央	1			1	3		1	4	0	1		11	兼	1	5		2	8	19
2	柏 木											0		1		4		1	6	6
3	広 瀬											0	兼		1	2		0	4	4
4	宮城西											0		1	1	2		1	5	5
5	北 山											0		1		2		0	3	3
6	福 沢											0		1		4		1	6	6
7	旭ヶ丘											0		1	1	2	1	2	7	7
8	三本松											0		1		4		1	6	6
9	片 平											0		1		4		1	6	6
10	大 沢											0		1		3		1	5	5
11	水の森											0		1		3		1	5	5
12	貝ヶ森											0		1	1	2		1	5	5
13	落 合											0		1		4		1	6	6
14	中 山											0		1		4		1	6	6
15	折 立											0		1	1	3		1	6	6
16	吉 成											0		1		4		1	6	6
17	木町通											0		1		3	1	2	7	7
	小 計	1	0	0	1	3	0	1	4	0	1	0	11	16	6	55	2	18	97	108

宮城野区

1	中 央	1	1	1	兼	3	2		1		2	1	12	兼	1	7		2	10	22
2	高 砂												0	1		4		1	6	6
3	岩 切												0	1	1	3		1	6	6
4	鶴ヶ谷												0	1		4		1	6	6
5	榴岡(軽体育館含む)												0	1	1	5	1	2	10	10
6	東 部												0	1		3		1	5	5
7	幸 町												0	1	1	3		1	6	6
8	田 子												0	1		4		1	6	6
9	福 室												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	1	1	0	3	2	0	1	0	2	1	12	8	4	37	1	11	61	73

若林区

1	若林区中央	1		1		2			2			1	7	兼	1	2	1	0	4	11
2	七 郷												0	1		3		1	5	5
3	荒 町												0	1		4		1	6	6
4	六 郷												0	1	1	3		1	6	6
5	若 林												0	1	1	3		1	6	6
6	沖 野												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	7	5	3	19	1	5	33	40

太白区

		教 育 委 員 会										(財)ひと・まち交流財団								
	職名 館名	セン ター 長	セン ター 次 長	主 幹 兼 係 長	係 長	主 査		主 任		主 事		臨 時 職 員	合 計	(館 常 勤 嘱 託 長)	事業職員			非 常 勤 嘱 託	合 計	総 計
						社会 教育 主 事	主 査	社会 教育 主 事	主 任	社会 教育 主 事	主 事				主 任	事業 職員	事務 職員			
1	太白区中央	1			1	3	1		2			1	9	兼i:	1	2	1	0	4	13
2	中田												0	1		4		1	6	6
3	生出												0	1		3	1	1	6	6
4	秋保												0	1	1	4		1	7	7
5	馬場												0	兼i:	兼t:	兼4:		兼t:	0	0
6	湯元												0	兼i:	兼t:	兼4:		兼t:	1	1
7	西多賀												0	1	1	3		1	6	6
8	八本松												0	1		4		1	6	6
9	八木山												0	1		4		1	6	6
10	山田												0	1	1	3		1	6	6
11	茂庭台												0	1		4		1	6	6
12	東中田												0	1		4		1	6	6
13	柳生												0	1		3		1	5	5
14	富沢												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	0	0	1	3	1	0	2	0	0	1	9	11	4	43	2	12	71	80

泉 区

1	泉区中央	1			1	3		1	2			1	9	兼1	1	5		2	8	17
2	根白石												0	1		4		1	6	6
3	南光台												0	1	1	3		1	6	6
4	黒松												0	1		3	1	2	7	6
5	将監												0	1		4		1	6	6
6	加茂												0	1	1	2		1	5	6
7	高森												0	1		4		1	6	6
8	松陵												0	1		3		1	5	6
9	寺岡												0	1		4		1	6	6
10	長命ヶ丘												0	1	1	3		1	6	6
11	松森												0	1	1	2	1	2	7	7
12	桂												0	1		4		1	6	6
13	南中山												0	1		4		1	6	6
	小 計	1	0	0	1	3	0	1	2	0	0	1	9	12	5	45	2	16	80	90

総 計

		教 育 委 員 会										(財)ひと・まち交流財団							
	職名 <																		

4. 仙台市公民館運営審議会委員名簿

○委員人数:17人(定員17人以内)

○任期:平成21年11月1日～平成23年10月31日(2年間)

[平成22年3月31日現在]

氏 名	勤務先・所属団体(役職名)
阿 部 重 樹	東北学院大学経済学部 教授
石 井 山 竜 平	東北大学大学院教育学研究科 准教授
伊 藤 芳 郎	仙台市立三条中学校 校長(仙台市中学校長会)
笠 井 文 子	ふれあいサロン ゆうゆう(結遊) 代表
吉 良 智	人権擁護委員(子ども人権委員)
小 岩 孝 子	特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家 理事長
佐 藤 憲 子	仙台市社会学級研究会 顧問
佐 藤 美 佳 子	仙台市PTA協議会 副会長
島 田 福 男	仙台市連合町内会長会 庶務理事
鈴 木 有 希 子	仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央 館長
千 枝 倫 子	財団法人仙台市スポーツ振興事業団
梨 本 雄 太 郎	宮城教育大学教育学部 准教授
○ 新 田 新 一 郎	(有)プランニング開 代表取締役
橋 本 啓 一	仙台市議会 議員
増 田 学 身	東北文化学園専門学校 インテリア科長
◎ 水 谷 修	東北学院大学教養学部 教授
森 忠 治	演劇プロデューサー・ワークショップデザイナー

◎:会長 ○:副会長 敬称略・50音順

5. 仙台市公民館運営審議会審議経過及び答申

仙台市公民館運営審議会 審議経過

<平成21年度>

開催日	会議種別	協議議題
平成 21 年 5 月 19 日(火)	定例会	審議: ①連携事業を調査する視点について ②今後の審議日程について ③その他 ・平成 21 年度市民センター事業計画の概要 ・地域団体等が市民センターを優先利用できる制度の導入について
平成 21 年 7 月 14 日(火)	定例会	審議: ①区と市民センターの連携事業調査結果について ②平成 20 年度市民センター事業実施状況について
平成 21 年 9 月 9 日(水)	臨時会	審議: 地域コミュニティ活性化に向けた市民センターのあり方の検討
平成 21 年 10 月 13 日(火)	定例会	審議: 「審議経過の報告」の作成について
平成 21 年 11 月 17 日(火)	定例会	委嘱状交付式 協議: ①会長, 副会長選出 ②会議の公開, 非公開について ③議事録及び署名人について ④定例公民館運営審議会の日程について ⑤審議会の運営について
平成 22 年 1 月 19 日(火)	定例会	説明: ①仙台市公民館運営審議会の取り組み ②市民センターの概要 ③事業事例紹介
平成 22 年 3 月 16 日(火)	定例会	ワークショップ: 地域づくりの中で市民センターが担う役割について ・話題提供 ・グループワーク(ブレインストーミング)

6. 平成21年度 主催講座の事業別実施状況

区 名 館 名 事 業		青 葉 区																	宮 城 野 区										若 林 区							
		青葉区 中央	柏木	北山	福沢	旭ヶ丘	三本松	片平	水の森	貝ヶ森	中山	折立	広瀬	宮城西	大沢	落合	吉成	木町通	小計	中央	高砂	岩切	鶴ヶ谷	榴ヶ岡	東部	幸町	田子	福室	小計	若林区 中央	七郷	荒町	六郷	沖野	若林	小計
家 庭 教 育 推 進 事 業																																				
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 ブレババママ講座 絵本よみかせ講座	講座数	3	3	0	1	3	3	2	4	2	3	1	3	1	4	2	4	3	42	3	3	3	1	3	1	1	1	2	18	3	0	3	1	2	2	11
	回 数	17	9	0	1	8	6	4	13	5	6	3	8	4	13	10	12	9	128	10	7	10	6	9	2	3	2	7	56	11	0	16	1	6	3	37
	参加者数	346	108	0	84	217	156	55	308	55	172	53	201	44	261	417	385	111	2,973	148	98	331	102	245	34	30	39	79	1,106	283	0	135	15	175	92	700
青 少 年 健 全 育 成 事 業		(※1)																																		
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	11	3	1	2	3	5	4	3	4	3	4	4	4	2	5	2	7	59	5	4	3	6	4	4	4	4	3	37	12	3	4	4	4	4	31
	回 数	82	7	1	2	4	14	9	8	9	10	11	10	15	3	8	4	20	209	18	33	21	20	9	5	20	16	11	153	28	7	62	30	16	18	161
	参加者数	3,916	149	63	140	728	942	197	133	239	277	332	369	315	112	265	87	2,261	9,461	1,056	1,130	500	1,165	308	265	454	979	230	6,087	2,284	125	819	494	557	238	4,517
成 人 学 習 振 興 事 業																			(※3)																	
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 裁判員制度講座 男の料理教室 パソコン・デジカメ教室 社会教育実習生の受入	講座数	13	3	0	6	4	3	6	2	6	7	5	1	11	3	4	4	3	81	10	5	4	4	5	0	7	7	7	47	7	1	4	2	6	5	25
	回 数	215	19	0	19	10	10	17	20	20	33	22	9	40	11	14	10	5	474	37	19	13	21	15	0	30	17	20	166	134	1	27	9	33	21	225
	参加者数	9,559	122	0	289	278	191	405	116	323	453	346	343	784	152	216	298	79	13,954	618	373	263	295	145	0	324	401	331	2,530	3,525	10	716	183	623	417	5,474
高 齢 者 学 習 振 興 事 業																																				
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室 シニアパソコン教室	講座数	0	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	2	1	2	3	22	2	1	2	2	1	1	1	2	1	13	3	1	1	1	1	1	8
	回 数	0	12	7	12	12	10	18	11	10	22	10	8	8	12	12	14	14	192	29	10	22	15	11	12	11	13	10	133	25	11	11	9	12	12	80
	参加者数	0	862	219	591	1,356	307	267	764	573	510	373	468	330	214	238	379	699	8,150	12,064	1,429	1,169	870	931	350	519	501	700	18,533	2,146	940	645	835	562	821	5,949
地 域 社 会 教 育 推 進 事 業		(※2)																	(※4)										(※5)							
(例) 市民センターまつり 地域懇談会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	11	7	1	10	11	8	5	10	10	5	9	11	4	7	4	7	7	126	10	4	6	5	9	2	5	6	5	51	15	3	5	8	5	5	39
	回 数	32	19	1	25	31	18	10	32	23	10	17	84	7	33	19	15	17	389	56	12	18	12	31	6	35	30	13	209	47	10	33	26	12	16	138
	参加者数	3,154	853	12	940	2,679	2,096	237	3,250	2,717	2,261	995	4,661	2,224	2,149	2,411	1,376	913	32,862	3,703	5,491	1,544	2,264	1,997	571	2,669	4,282	2,942	25,410	4,004	333	1,575	4,637	5,463	4,230	19,924
民 間 指 導 者 育 成 事 業																																				
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援 子ども広場サポーター養成講座	講座数	6	3	1	5	3	2	2	3	3	1	2	4	2	2	1	4	3	47	14	2	4	3	2	1	2	4	3	35	5	1	2	2	3	3	16
	回 数	184	10	1	24	21	12	13	12	19	8	11	38	23	10	7	21	17	431	97	9	15	18	8	7	9	37	16	216	28	1	7	8	14	12	70
	参加者数	971	66	18	201	100	71	140	338	251	32	69	414	207	44	82	330	133	3,467	1,629	98	146	64	78	49	52	346	126	2,588	268	72	44	103	215	123	825
合 計		44	20	4	25	25	22	21	23	26	21	22	24	23	20	17	23	26	377	44	19	22	21	24	9	20	24	21	201	45	9	19	18	21	20	130
		530	76	10	83	86	70	71	96	86	89	74	157	97	82	70	76	82	1,823	247	90	99	92	83	32	108	115	77	933	273	30	156	83	93	82	711
		17,946	2,160	312	2,245	5,358	3,763	1,301	4,909	4,158	3,705	2,168	6,456	3,904	2,932	3,629	2,855	4,196	70,867	19,218	8,619	3,953	4,760	3,704	1,269	4,048	6,548	4,408	56,254	12,510	1,480	3,934	6,267	7,595	5,921	37,389

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※1)青葉区中央市民センターと各地区館の共催による「インリーダー研修会」、旭ヶ丘市民センターと三本松市民センターの共催による「講演会『ソバルから考える地球の未来』」

(※2)旭ヶ丘市民センターと、三本松市民センターの共催による「台原中学校PTA共催事業企画会議」

(※3)高砂市民センター・田子市民センター・福室市民センターの共催による「三館共催事業『七北田川下流域の歴史』」

(※4)鶴ヶ谷市民センター・幸町市民センターの共催による「水辺の環境学習『水辺の観察会』」

(※5)七郷市民センター・六郷市民センター・沖野市民センターの共催による「若林東郷”郷”おこし事業 パークゴルフを体験しよう」

区 名		太 白 区												泉 区																
館 名		太白区 中央	生出	中田	西多賀	八本松	八木山	山田	茂庭台	東中田	柳生	秋保	富沢	小計	泉区 中央	根白石	南光台	黒松	将監	加茂	高森	松陵	寺岡	長命 ヶ丘	松森	桂	南中山	小計	総計	
事 業																														
家 庭 教 育 推 進 事 業																														
(例) 子育て支援講座 親子ふれあい教室 食育講座 思春期親学 フレババママ講座 絵本よみきかせ講座	講座数	6	1	2	3	2	2	3	3	3	2	1	5	33	6	0	4	5	3	2	3	0	5	5	1	3	1	38	142	
	回 数	26	3	6	6	3	3	19	17	11	7	3	19	123	47	0	12	23	10	3	9	0	22	14	4	7	11	162	506	
	参加者数	1,328	27	109	125	137	64	191	443	120	96	53	1,550	4,243	904	0	262	282	158	221	165	0	357	384	73	310	375	3,491	12,513	
青 少 年 健 全 育 成 事 業		(※6)																												
(例) インリーダー研修 子どもの広場 キッズクッキング 夏休みチャレンジ講座 子ども体験塾	講座数	6	5	8	9	3	4	3	4	3	5	4	5	58	6	3	6	3	4	2	5	4	3	4	1	1	5	47	232	
	回 数	28	10	22	25	8	52	10	8	9	12	8	25	216	49	14	20	16	14	8	15	11	4	37	2	7	10	207	946	
	参加者数	1,514	481	462	698	333	980	279	403	101	251	259	971	6,672	1,364	530	982	203	772	121	823	162	161	269	37	143	314	5,881	32,618	
成 人 学 習 振 興 事 業																														
(例) 自然体験教室 エコライフ講座 裁判員制度講座 男の料理教室 パソコン・デジカメ教室 社会教育実習生の受入	講座数	4	8	3	5	3	2	6	3	7	5	7	3	56	4	7	3	4	3	8	5	5	5	6	7	7	3	67	276	
	回 数	13	37	8	12	10	14	23	58	22	66	33	7	303	18	30	10	5	8	27	29	26	19	24	13	24	13	246	1,414	
	参加者数	130	598	151	297	205	624	424	264	344	738	439	118	4,332	177	454	174	78	167	567	625	295	352	442	248	397	226	4,202	30,492	
高 齢 者 学 習 振 興 事 業																														
(例) 明治青年大学 老壮大学 健康づくり教室 介護予防教室 シニアパソコン教室	講座数	4	1	1	2	1	1	2	2	3	1	1	1	20	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	19	82	
	回 数	29	10	10	14	10	8	22	15	17	10	9	10	164	12	13	11	9	10	6	10	9	16	13	13	15	10	147	716	
	参加者数	2,501	185	377	633	554	317	760	496	549	303	202	379	7,256	734	286	556	412	438	160	408	385	484	585	386	605	359	5,798	45,686	
地 域 社 会 教 育 推 進 事 業																														
(例) 市民センターまつり 地域懇談会 学びのコミュニティ関連事業 地域防災教室 社会学級連携事業 地域(自然・伝統)を知る講座	講座数	15	5	4	5	11	9	5	7	6	5	7	5	84	14	5	5	4	8	9	6	11	4	5	7	6	5	89	389	
	回 数	60	8	8	15	44	88	15	11	15	6	26	9	305	81	6	13	12	22	23	14	35	9	16	24	17	28	300	1,341	
	参加者数	8,472	3,433	5,266	3,918	4,925	12,162	4,482	1,946	3,766	1,723	4,568	1,699	56,360	3,040	973	4,170	1,725	2,843	2,693	4,608	2,907	2,081	2,901	2,647	3,040	1,605	35,233	169,789	
民 間 指 導 者 育 成 事 業																														
(例) 各種ボランティア育成講座 各種ボランティア活動支援 ジュニアリーダー育成支援 子ども広場サポーター養成講座	講座数	9	3	5	3	4	4	3	4	2	3	3	4	47	5	2	4	2	3	3	3	2	1	0	3	3	4	35	180	
	回 数	71	8	23	31	47	13	15	21	9	12	32	28	310	38	13	25	14	11	10	7	13	7	0	16	14	21	189	1,216	
	参加者数	1,225	121	1,128	205	611	151	169	198	103	57	373	277	4,618	410	94	149	51	133	105	46	38	21	0	147	111	246	1,551	13,049	
合 計		44	23	23	27	24	22	22	23	24	21	23	23	298	37	19	23	19	22	25	23	23	20	22	21	22	19	295	1,301	
		227	76	77	103	122	178	104	130	83	113	111	98	1,421	245	76	91	79	75	77	84	94	77	104	72	84	93	1,251	6,139	
		15,170	4,845	7,493	5,876	6,765	14,298	6,305	3,750	4,983	3,168	5,894	4,994	83,481	6,629	2,337	6,293	2,751	4,511	3,867	6,675	3,787	3,456	4,581	3,538	4,606	3,125	56,156	304,147	

2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は「小計」及び「総計」欄では1事業として計上しています。

(※6)太白区中央市民センターと各地区館の共催による「インリーダー研修会」

7. 主催講座等参加者数推移

(※) 2つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は表上段の市民センターに計上しています。

青 葉 区

(単位:人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
青葉区中央	33,033	10,851	17,225	15,843	15,742	17,946	
柏 木	2,329	2,332	2,705	2,919	2,357	2,160	
北 山	2,298	7,286	5,223	4,053	3,666	249	平成21年6月1日～:現地建替工事のため休館
福 沢	5,617	6,072	5,201	4,306	1,217	2,245	平成20年6月～平成21年1月:改修工事のため閉館
旭 ケ 丘	7,360	7,810	10,864	9,237	6,690	5,358	
三 本 松	2,869	2,994	3,165	2,345	2,854	3,007	
片 平	2,437	2,243	2,206	1,798	1,404	1,269	
水 の 森	6,412	6,686	7,434	8,628	7,268	4,909	
貝 ケ 森	3,506	3,704	3,936	4,192	4,253	4,158	
中 山	1,549	1,559	4,838	3,262	2,746	3,618	
折 立	1,835	2,184	2,336	5,051	1,811	2,168	
広 瀬	8,426	9,378	8,863	6,945	6,329	6,376	
宮 城 西	1,446	1,458	3,851	4,124	3,917	3,904	
大 沢	3,127	3,514	3,680	3,866	3,835	2,932	
落 合	4,374	4,901	4,430	4,880	3,753	3,549	
吉 成	2,028	2,145	2,484	2,309	2,572	2,855	
木 町 通	918	1,812	1,498	2,717	3,780	4,164	平成16年4月開館
計	89,564	76,929	89,939	86,475	74,194	70,867	

宮 城 野 区

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
中 央	18,384	15,347	14,808	18,105	18,577	19,218	
高 砂	7,751	7,696	8,256	6,925	9,418	8,619	
岩 切	8,299	7,028	2,722	5,185	4,225	3,953	平成18年7月～平成18年12月:改修工事のため閉館
鶴 ケ 谷	5,268	5,325	5,480	5,275	5,196	4,760	
榴 ケ 岡	3,760	3,208	3,172	3,632	3,942	3,704	
東 部	2,252	2,584	2,790	2,469	2,348	1,269	平成21年6月22日～平成22年1月12日大規模改修工事のため休館
幸 町	7,325	6,576	6,009	6,074	4,742	3,995	
田 子	6,644	7,997	6,972	6,801	7,001	6,438	
福 室	2,349	4,116	3,295	3,564	3,675	4,298	
計	62,032	59,877	53,504	58,030	59,124	56,254	

若 林 区

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
若林区中央	11,802	11,880	12,022	12,920	12,585	12,510	
七 郷	9,119	15,749	30,455	33,456	33,712	1,480	平成21年6月22日～平成22年2月15日大規模改修工事のため休館
荒 町	4,790	4,916	5,624	5,600	4,521	3,934	平成22年1月11日～平成22年2月1日建て替えた施設の開館準備のため休館
六 郷	7,462	9,165	9,162	10,410	12,088	6,108	
沖 野	6,340	8,310	8,253	7,893	8,281	7,436	
若 林	9,462	10,237	7,510	5,415	6,431	5,921	
計	48,975	60,257	73,026	75,694	77,618	37,389	

太 白 区

(単位:人)

	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	
太 白 区 中 央	9,045	6,946	8,636	11,683	14,437	15,170	
生 出	3,427	3,909	4,495	4,683	4,864	4,845	平成17年7月～平成17年12月:改修工事のため閉館
中 田	10,599	9,948	7,859	15,727	8,047	7,493	
西 多 賀	8,671	9,041	9,283	7,720	6,022	5,876	
八 本 松	4,962	5,656	5,337	6,167	6,736	6,765	
八 木 山	11,377	12,903	11,043	8,451	9,113	14,298	平成20年10月15日～11月17日は体育館移転増改築工事のため体育館閉館
山 田	3,409	4,895	5,146	5,324	5,946	6,305	
茂 庭 台	6,138	8,071	6,914	3,673	3,935	3,690	
東 中 田	5,027	4,768	5,198	5,958	4,730	4,983	
柳 生	1,546	2,726	3,292	3,323	3,377	3,168	
秋 保	5,371	5,785	5,196	5,009	5,580	5,894	
富 沢	3,977	3,560	3,400	5,443	5,676	4,994	
計	73,549	78,208	75,799	83,161	78,463	83,481	

泉 区

	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	
泉 区 中 央	4,956	7,031	5,281	5,758	6,817	6,629	
根 白 石	3,182	2,216	2,314	2,040	3,013	2,337	平成21年11月1日～平成22年2月28日 ホール工事
南 光 台	3,725	3,185	3,880	6,875	6,744	6,293	
黒 松	2,957	3,102	3,002	3,980	3,970	2,751	
将 監	4,122	4,041	4,685	3,617	4,402	4,511	
加 茂	2,345	2,651	3,238	2,710	3,582	3,867	
高 森	4,126	4,610	6,445	6,171	6,426	6,675	
松 陵	5,378	5,116	5,593	5,290	5,823	3,787	平成20年2月4日～25日:ホール工事
寺 岡	2,836	2,932	3,478	3,123	3,176	3,456	
長 命 ケ 丘	5,440	4,317	5,091	5,243	5,842	4,581	
松 森	3,475	2,527	3,036	2,941	3,587	3,538	
桂	1,104	1,711	3,203	4,450	4,943	4,606	
南 中 山	2,202	2,924	2,988	3,154	2,942	3,125	
計	45,848	46,363	52,234	55,352	61,267	56,156	

	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	
合 計	319,968	321,634	344,502	358,712	350,666	304,147	

8. 利用者数推移

青 葉 区

(単位:人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
青葉区中央	107,725	113,738	112,231	106,840	106,166	106,787	
柏 木	37,020	36,974	35,186	36,574	34,987	41,807	
北 山	68,299	68,522	60,537	59,625	61,169	5,783	平成21年6月1日～:現地建替工事のため休館
福 沢	58,788	62,675	53,678	60,044	24,527	56,732	平成20年6月～平成21年1月:改修工事のため閉館
旭 ケ 丘	108,065	99,702	108,074	107,529	104,350	94,620	
三 本 松	40,797	43,491	36,495	41,562	38,725	37,732	
片 平	88,041	81,050	73,009	68,266	69,528	65,556	
水 の 森	74,701	79,294	74,976	71,719	81,484	59,188	
貝 ケ 森	67,518	73,962	73,128	75,976	61,226	68,075	
中 山	65,922	70,275	70,426	73,495	74,276	69,647	
折 立	45,553	46,286	50,877	47,879	47,577	49,407	
広 瀬	50,392	48,824	49,786	50,025	50,867	52,981	
宮 城 西	11,391	17,036	19,871	21,417	21,862	19,044	
大 沢	45,372	38,748	41,395	38,829	39,729	40,852	
落 合	53,007	61,595	54,516	61,687	50,660	58,183	
吉 成	63,752	66,085	65,670	70,804	64,287	59,524	
木 町 通	50,848	55,063	66,745	80,384	82,900	76,989	平成16年4月開館
計	1,037,191	1,063,320	1,046,600	1,072,655	1,014,320	962,907	

宮 城 野 区

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
中 央	104,705	129,544	154,846	149,196	150,888	141,559	
高 砂	82,729	79,540	79,295	88,539	87,814	79,911	
岩 切	53,411	53,905	23,324	42,519	45,496	41,715	平成18年7月～平成18年12月:改修工事のため閉館
鶴 ケ 谷	105,139	89,937	79,368	70,186	73,304	74,269	
榴 ケ 岡	32,898	37,317	34,138	34,717	34,062	38,612	
(榴公園軽体育館)	41,975	52,922	45,954	44,514	42,263	40,417	
東 部	43,251	52,498	45,943	51,865	49,004	22,108	平成21年6月22日～平成22年1月12日大規模改修工事のため休館
幸 町	76,648	72,074	73,992	65,659	67,099	67,277	
田 子	90,197	96,959	98,258	104,250	101,531	73,619	
福 室	89,192	83,752	80,078	83,449	77,669	75,205	
計	720,145	748,448	715,196	734,894	729,130	654,692	

若 林 区

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
若林区中央	108,136	108,799	102,467	100,156	95,454	93,836	
七 郷	65,032	76,813	81,905	101,542	99,106	20,418	平成21年6月22日～平成22年2月15日大規模改修工事のため休館
荒 町	57,170	55,502	52,829	54,099	51,323	47,397	平成22年1月11日～平成22年2月1日建て替えた施設の開館準備のため休館
六 郷	78,917	77,995	87,109	88,122	92,834	91,798	
沖 野	79,454	58,372	58,745	62,292	63,150	58,588	
若 林	52,395	70,352	86,490	89,755	77,533	59,294	
計	441,104	447,833	469,545	495,966	479,400	371,331	

太 白 区

(単位:人)

	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	
太 白 区 中 央	99,904	89,691	85,517	89,405	97,917	94,809	
生 出	23,868	16,640	21,358	21,570	21,837	23,221	平成17年7月～平成17年12月は改修工事のため閉館
中 田	57,232	61,096	49,907	24,471	54,772	63,880	平成19年7月2日～20年1月11日大規模改修工事
西 多 賀	79,481	74,321	70,628	62,470	63,758	62,378	
八 本 松	67,063	74,631	61,945	60,740	60,584	66,309	
八 木 山	71,335	67,212	59,929	51,203	53,112	56,842	平成20年10月15日～11月17日は体育館移転増改築工事のため体育館閉館
山 田	47,721	53,984	45,312	46,019	46,978	56,427	
茂 庭 台	58,181	59,859	50,864	48,428	46,490	45,824	
東 中 田	61,164	64,487	55,879	62,913	59,932	55,535	
柳 生	63,762	65,617	60,254	74,516	71,967	72,217	
秋 保	12,597	14,456	15,670	13,169	13,360	13,963	
馬 場	3,166	3,417	4,909	4,275	4,761	5,398	
湯 元	5,574	5,537	6,367	4,977	7,764	7,590	
富 沢	78,364	73,747	77,056	86,900	91,527	80,193	
計	729,412	724,695	665,595	651,056	694,759	704,586	

泉 区

	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	
泉 区 中 央	60,750	63,618	67,319	68,658	68,294	63,644	
根 白 石	33,325	31,508	26,772	29,423	29,095	27,201	平成21年11月1日～平成22年2月28日ホール工事
南 光 台	44,278	39,085	37,393	36,916	37,617	35,336	
黒 松	64,780	61,701	61,889	60,211	61,436	60,247	
将 監	48,571	50,352	50,113	53,257	52,581	53,675	
加 茂	46,536	47,975	50,926	52,759	51,216	51,683	
高 森	40,504	39,515	42,216	42,987	44,156	42,731	
松 陵	37,460	37,326	37,658	41,471	46,172	41,876	平成20年2月4日～25日:ホール工事
寺 岡	47,766	56,489	39,625	47,411	38,589	53,229	
長 命 ケ 丘	47,227	47,449	48,270	47,052	47,115	48,099	
松 森	38,871	44,211	45,673	44,489	48,891	44,973	
桂	72,431	76,214	75,010	67,475	66,211	59,586	
南 中 山	42,767	50,105	61,327	53,337	54,556	57,504	
計	625,266	645,548	644,191	645,446	645,929	639,784	

	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	
合 計	3,553,118	3,629,844	3,541,127	3,600,017	3,563,538	3,333,300	

9. 仙台市市民センター条例・施行規則

仙台市市民センター条例

平成二年三月一六日

仙台市条例第八号

(設置)

第一条 市民相互の交流と地域活動の振興に資するとともに、市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため、社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)第二十四条の規定に基づき、市民センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第二条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
仙台市中央市民センター	仙台市宮城野区榴岡四丁目1番8号
仙台市柏木市民センター	仙台市青葉区柏木三丁目3番1号
仙台市青葉区中央市民センター	仙台市青葉区一番町二丁目1番4号
仙台市生出市民センター	仙台市太白区茂庭字新熊野64番地
仙台市高砂市民センター	仙台市宮城野区高砂一丁目24番地の9
仙台市中田市民センター	仙台市太白区中田四丁目1番8号
仙台市岩切市民センター	仙台市宮城野区岩切字三所南88番地の2
仙台市七郷市民センター	仙台市若林区荒井字堀添65番地の5
仙台市広瀬市民センター	仙台市青葉区下愛子字観音堂5番地
仙台市宮城西市民センター	仙台市青葉区熊ヶ根字石積47番地
仙台市秋保市民センター	仙台市太白区秋保町長袋字大原百6番地の2
仙台市馬場市民センター	仙台市太白区秋保町馬場字竹林45番地の1
仙台市湯元市民センター	仙台市太白区秋保町湯元字湯向東31番地
仙台市泉区中央市民センター	仙台市泉区市名坂字東裏53番地の1
仙台市横白石市民センター	仙台市泉区横白石字杉下前24番地
仙台市南光台市民センター	仙台市泉区南光台七丁目1番3号
仙台市黒松市民センター	仙台市泉区黒松一丁目33番40号
仙台市将監市民センター	仙台市泉区将監八丁目2番1号
仙台市加茂市民センター	仙台市泉区加茂四丁目2番地
仙台市鶴ヶ谷市民センター	仙台市宮城野区鶴ヶ谷八丁目9番地の1
仙台市榴ヶ岡市民センター	仙台市宮城野区五輪一丁目4番22号、五輪一丁目3番1号
仙台市東部市民センター	仙台市宮城野区平成一丁目3番27号
仙台市荒町市民センター	仙台市若林区荒町86番地の2
仙台市北山市民センター	仙台市青葉区新坂町8番4号

仙台市若林区中央市民センター	仙台市若林区南小泉一丁目1番1号、保寿院前丁3番地の4
仙台市西多賀市民センター	仙台市太白区西多賀三丁目6番8号
仙台市六郷市民センター	仙台市若林区今泉一丁目3番19号
仙台市福沢市民センター	仙台市青葉区福沢町9番9号
仙台市八本松市民センター	仙台市太白区八本松二丁目4番20号
仙台市旭ヶ丘市民センター	仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目2五番15号
仙台市八木山市民センター	仙台市太白区八木山本町一丁目43番地
仙台市三本松市民センター	仙台市青葉区堤町三丁目203番1号
仙台市山田市民センター	仙台市太白区山田北前町13番1号
仙台市茂庭台市民センター	仙台市太白区茂庭台四丁目1番10号
仙台市片平市民センター	仙台市青葉区米ヶ袋一丁目1番35号
仙台市東中田市民センター	仙台市太白区四郎丸字吹上51番地
仙台市高森市民センター	仙台市泉区高森六丁目1番地の2
仙台市松陵市民センター	仙台市泉区松陵五丁目20番地の2
仙台市大沢市民センター	仙台市青葉区芋沢字要害65番地
仙台市水の森市民センター	仙台市青葉区水の森四丁目1番1号
仙台市若林市民センター	仙台市若林区若林三丁目15番20号
仙台市沖野市民センター	仙台市若林区沖野七丁目34番43号
仙台市寺岡市民センター	仙台市泉区寺岡二丁目14番地の4
仙台市貝ヶ森市民センター	仙台市青葉区貝ヶ森一丁目4番0号
仙台市幸町市民センター	仙台市宮城野区幸町三丁目13番13号
仙台市長命ヶ丘市民センター	仙台市泉区長命ヶ丘二丁目14番地の15
仙台市落合市民センター	仙台市青葉区落合二丁目15番15号
仙台市中山市民センター	仙台市青葉区中山三丁目13番1号
仙台市折立市民センター	仙台市青葉区折立三丁目20番1号
仙台市吉成市民センター	仙台市青葉区国見ヶ丘二丁目2番地の1
仙台市柳生市民センター	仙台市太白区柳生七丁目20番地の7
仙台市太白区中央市民センター	仙台市太白区長町五丁目3番2号
仙台市田子市民センター	仙台市宮城野区田子二丁目4番25号
仙台市松森市民センター	仙台市泉区松森字城前9番地の2
仙台市富沢市民センター	仙台市太白区富沢南一丁目18番地の10
仙台市桂市民センター	仙台市泉区桂三丁目19番地の1
仙台市福室市民センター	仙台市宮城野区福室五丁目9番36号
仙台市南中山市民センター	仙台市泉区南中山二丁目204番地の12
仙台市木町通市民センター	仙台市青葉区木町通一丁目7番36号

(使用の許可)

第三条 センターを使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 センターの管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が不適当と認めるとき

(使用料)

第四条 センターの使用料は、別表に定めるとおりとする。

- 2 使用料は、前条第一項の許可の際、納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

(使用料の額の特例)

第四条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第三条第一項の許可を受けた者(以下「使用者」という。))につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき(使用料が既納の場合を除く。))は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

- 一 天災その他自己の責めによらない事由によりセンターを使用できないとき
- 二 市長が別に定める期間内にセンターの使用の取りやめを申し出たとき

(使用料の返還)

第五条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者につき前条各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(使用料の減免)

第六条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(目的外使用の禁止)

第七条 使用者は、許可を受けた目的以外にセンターを使用してはならない。

(使用権の譲渡等の禁止)

第八条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(使用許可の取消し等)

第九条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第三条第一項の許可を取り消し、又はセンターの使用を制限し、若しくは停止することができる。

- 一 使用者がこの条例又は使用の許可の際に付された条

件に違反したとき

- 二 第三条第二項各号の一に該当することとなったとき

(指定管理者)

第十条 教育委員会は、センターの管理運営上必要と認めるときは、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。))にセンターの管理を行わせることができる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第十一条 前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 第三条第一項の許可に関する業務
- 二 センターの事業として教育委員会がセンターごとに定める事業に関する業務
- 三 センターの維持管理に関する業務
- 四 前三号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

- 2 前項の場合における第三条及び第九条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(指定管理者が行う管理の基準)

第十二条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

(審議会)

第十三条 社会教育法第二十九条第一項の規定に基づき、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として、仙台市公民館運営審議会(以下「審議会」という。))を設置する。

- 2 審議会の委員の定数は、十七人以内とする。
- 3 審議会の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 前二項に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

(委任)

第十四条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則 省 略

別表(第四条関係)

一 会議室等の使用料

(一) 専用使用する場合

使用区分		金額	
仙台市中央市民センター	会議室	一時間につき	500円
	第一セミナー室(A)	一時間につき	500円
	第一セミナー室(B)	一時間につき	500円
	第一セミナー室(C)	一時間につき	500円
	第二セミナー室	一時間につき	800円
	和室	一時間につき	700円
	第一音楽室	一時間につき	900円
	第二音楽室	一時間につき	900円
	創作室①	一時間につき	700円
	創作室②	一時間につき	700円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,800円
		夜間	4,200円
	トレーニング室	一時間につき	700円
	ミーティング室	一時間につき	300円
仙台市柏木市民センター	会議室	一時間につき	800円
	和室①	一時間につき	300円
	和室②	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市青葉区中央市民センター	第一会議室	一時間につき	700円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	500円
	第四会議室	一時間につき	700円
	第五会議室	一時間につき	500円
	和室	一時間につき	700円
	調理実習室	一時間につき	800円
	音楽室	一時間につき	800円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール①	一時間につき	800円
	小ホール②	一時間につき	700円
仙台市生出市民センター	第一講義室	一時間につき	500円
	第二講義室	一時間につき	300円
	和室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市高砂市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円
	和室①	一時間につき	700円
	和室②	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
	講義室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円
仙台市中田市民センター	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	700円
	和室①	一時間につき	500円
	和室②	一時間につき	500円
	視聴覚室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
	講義室	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	800円
仙台市岩切市民センター	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	700円
	和室①	一時間につき	500円
	和室②	一時間につき	500円
	視聴覚室	一時間につき	600円
	創作室	一時間につき	300円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
	会議室	一時間につき	300円
仙台市七郷市民センター	調理実習室	一時間につき	800円
	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	700円
	和室①	一時間につき	300円
	和室②	一時間につき	300円
	和室③	一時間につき	300円
	視聴覚室	一時間につき	800円
	創作室	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円

仙台市広瀬市民センター	会議室	一時間につき	500円	
	セミナー室(A)	一時間につき	500円	
	セミナー室(B)	一時間につき	500円	
	和室(1)	一時間につき	500円	
	和室(2)	一時間につき	300円	
	創作室	一時間につき	500円	
仙台市宮城西市民センター	会議室(1)	一時間につき	300円	
	会議室(2)	一時間につき	300円	
	調理実習室	一時間につき	600円	
	和室(1)	一時間につき	500円	
	和室(2)	一時間につき	300円	
	体育館	午前	1,500円	
		午後	1,500円	
夜間		2,100円		
仙台市秋保市民センター	研修室	一時間につき	500円	
	調理実習室	一時間につき	600円	
	和室	一時間につき	700円	
	茶室	一時間につき	300円	
	視聴覚室	一時間につき	600円	
	会議室	一時間につき	500円	
	体育館	午前	1,600円	
		午後	2,100円	
夜間		2,500円		
仙台市馬場市民センター	会議室	一時間につき	300円	
	講義室	一時間につき	300円	
	調理実習室	一時間につき	400円	
	体育館	午前	1,600円	
		午後	2,100円	
		夜間	2,500円	
仙台市湯元市民センター	会議室	一時間につき	300円	
	講義室	一時間につき	300円	
	視聴覚室	一時間につき	400円	
	調理実習室	一時間につき	400円	
	和室	一時間につき	500円	
	集会室	午前	2,500円	
		午後	3,300円	
		夜間	4,000円	
仙台市泉区中央市民センター	第一会議室	一時間につき	800円	
	第二会議室	一時間につき	300円	
	第三会議室	一時間につき	300円	
	研修室	一時間につき	700円	
	和室(1)	一時間につき	700円	
仙台市泉区中央市民センター	和室(2)	一時間につき	500円	
	調理実習室	一時間につき	800円	
	音楽室	一時間につき	600円	
	創作室	一時間につき	700円	
	ホール	午前	2,100円	
		午後	2,600円	
		夜間	3,100円	
	仙台市根白石市民センター	ホール	午前	2,100円
			午後	2,600円
			夜間	3,100円
工作室		一時間につき	500円	
大会議室		一時間につき	800円	
小会議室		一時間につき	500円	
調理実習室		一時間につき	800円	
和室		一時間につき	700円	
仙台市南光台市民センター		会議室	一時間につき	500円
		調理実習室	一時間につき	900円
	集会室	午前	2,200円	
		午後	2,800円	
		夜間	3,300円	
	第一研修室	一時間につき	500円	
	第二研修室	一時間につき	500円	
	第三研修室	一時間につき	300円	
	第四研修室	一時間につき	500円	
	第五研修室	一時間につき	300円	
和室	一時間につき	300円		
仙台市黒松市民センター	第一研修室	一時間につき	500円	
	第二研修室	一時間につき	700円	
	和室	一時間につき	700円	
	多目的室	一時間につき	700円	
	調理実習室	一時間につき	600円	
	ホール	午前	2,100円	
		午後	2,600円	
		夜間	3,100円	
	仙台市黒松市民センター	ホール	午前	2,100円
			午後	2,600円
		夜間	3,100円	
和室(1)		一時間につき	500円	
和室(2)		一時間につき	500円	
第一研修室		一時間につき	500円	
第二研修室		一時間につき	500円	
第三研修室		一時間につき	500円	
調理実習室		一時間につき	800円	

仙台市加茂市民センター	調理実習室	一時間につき	800円
	和室	一時間につき	500円
	研修室	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,200円
		午後	2,800円
		夜間	3,300円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市鶴ヶ谷市民センター	第一会議室	一時間につき	700円
	第二会議室	一時間につき	500円
	第三会議室	一時間につき	500円
	和室	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	遊技室	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,400円
		午後	3,100円
		夜間	3,700円
仙台市榴ヶ岡市民センター	第一会議室	一時間につき	700円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	500円
	第四会議室	一時間につき	800円
	第五会議室	一時間につき	700円
	和室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
仙台市東部市民センター	会議室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	300円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	700円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市荒町市民センター	第一会議室	一時間につき	300円
	第二会議室	一時間につき	300円
	第三会議室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
市民センター 仙台市北山	第一会議室	一時間につき	300円
	第二会議室	一時間につき	800円
仙台市北山市民センター	第三会議室	一時間につき	300円
	第四会議室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	和室(4)	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	800円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市青井区中央市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	500円
	第三会議室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	300円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	和室(4)	一時間につき	500円
	和室(5)	一時間につき	500円
	セミナー室(A)	一時間につき	500円
	セミナー室(B)	一時間につき	500円
	創作室	一時間につき	700円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市西多賀市民センター	第一会議室	一時間につき	300円
	第二会議室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市六郷市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	300円
	第三会議室	一時間につき	300円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円

仙台市塩沢市民センター	第一会議室	一時間につき	500円
	第二会議室	一時間につき	800円
	第三会議室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	300円
	視聴覚室	一時間につき	600円
	調理実習室	一時間につき	600円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市八木松市民センター	会議室	一時間につき	300円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	800円
	体育館	午前	2,100円
仙台市旭ヶ丘市民センター	第一会議室	一時間につき	900円
	第二会議室	一時間につき	700円
	第三会議室	一時間につき	700円
	展示ホール(1)	一時間につき	800円
	展示ホール(2)	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,500円
		午後	3,300円
		夜間	4,000円
	小ホール	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	800円
仙台市八木山市民センター	会議室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市三木松市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	300円
	和室(3)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市山田市民センター	会議室	一時間につき	500円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市茂庭台市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	会議室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
仙台市片平市民センター	第一会議室	一時間につき	700円
	第二会議室	一時間につき	500円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	500円
	和室(3)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市市中田市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	500円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	800円
	体育館	午前	2,100円
仙台市高森市民センター	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	500円
	第三研修室	一時間につき	500円
	和室	一時間につき	500円
	工作室	一時間につき	500円
	音楽室	一時間につき	600円
	調理実習室	一時間につき	800円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市松陵市民センター	第一研修室	一時間につき	700円
	第二研修室	一時間につき	500円
	第三研修室	一時間につき	500円

仙台市松陵市民センター	和室	一時間につき	700円
	工作室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市大宮市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	300円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市水の森市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	700円
	和室(2)	一時間につき	500円
	和室(3)	一時間につき	500円
	体育館	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市若林市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市沖野市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市寺岡市民センター	第一研修室	一時間につき	500円
	第二研修室	一時間につき	500円
	第三研修室	一時間につき	500円
	和室	一時間につき	500円
	トレーニング室	一時間につき	500円
	調理実習室	一時間につき	600円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円

仙台市貝ヶ森市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市寺町市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市長命ヶ丘市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	800円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市浅谷市民センター	会議室兼調理実習室	一時間につき	800円
	和室(1)	一時間につき	500円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市甲山市民センター	会議室	一時間につき	700円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	500円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
仙台市折立市民センター	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	700円
	和室(1)	一時間につき	800円
	和室(2)	一時間につき	300円
	ホール	午前	2,100円
		午後	2,600円
		夜間	3,100円
市民センター 仙台市宮城	会議室	一時間につき	800円
	会議室兼調理実習室	一時間につき	500円

備考	
一	使用時間は、午前9時から午後9時までとする。
二	「午前」とは午前9時から正午までを、「午後」とは午後1時から午後4時30分までを、「夜間」とは午後5時30分から午後9時までをいう。
三	その使用に係る時間に1時間に満たない端数があるときは、これを1時間に切り上げる。
四	1時間ごとの使用料を定めた使用区分において、第一号の使用時間以外の時間に使用する場合における使用料は、この表に定める額とする。
五	前号の使用区分以外使用区分において、次のイからハまでに掲げる使用時間に係る使用料は、それぞれイからハまでに掲げる額とする。
イ	午前9時から午後4時30分まで 午前の項及び午後の項に定める額の合計額
ロ	午後1時から午後9時まで 午後の項及び夜間の項に定める額の合計額
ハ	午前9時から午後9時まで 午前の項、午後の項及び夜間の項に定める額の合計額
六	前号の使用区分において、第一号に定める使用時間以外の時間に使用する場合(前号の場合を除く。)における使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までときは午前の項に、午後4時30分から午後5時30分までのときは午後の項に、午後9時以降のときは夜間の項にそれぞれ定める額を時間割りして計算した額とする。
七	使用者が対価の支払を受けて展示会その他の催しを行う場合その他これに類する場合の使用料は、この表に定める額の三倍以内において市長が定める。
八	会議室兼調理実習室を会議のために区分して使用する場合の使用料は、この表に定める額に0.7を乗じて得た額とする。

二 仙台市榴ヶ岡市民センター榴岡公園軽体育館の使用料

(一) 専用使用する場合

使用区分		金額
ミーティングルーム①)	一時間につき	800円
ミーティングルーム②)	一時間につき	500円
和室①)	一時間につき	300円
和室②)	一時間につき	300円
体育館	午前	2,100円
	午後	2,600円
	夜間	3,100円
備考 一(一)の表の備考第一号から第六号までの規定は、この表の場合について準用する。		

(二) 個人使用する場合

使用区分		金額	
体育館	一般	一回につき	200円
	小学生・中学生	一回につき	100円

(二) 個人使用する場合

使用区分		金額	
体育館・ホール・仙台市中央市民センターのトレーニング室	一般	一回につき	200円
	小学生・中学生	一回につき	100円
仙台市寺岡市民センターのトレーニング室		一回につき	200円

仙台市市民センター条例施行規則

平成二年三月二九日
仙台市教育委員会規則第五号

(趣旨)

第一条 この規則は、仙台市市民センター条例（平成二年仙台市条例第八号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用時間)

第二条 市民センター(以下「センター」という。)の施設の使用時間は、午前九時から午後九時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、同項に規定するセンターの施設の使用時間を変更することができる。

(休館日)

第三条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は休館することができる。

- 一 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第百七十八号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
- 二 休日の翌日(日曜日又は休日に当たる場合は、その直後の日曜日又は休日でない日)
- 三 十二月二十八日から翌年の一月四日までの日(前二号に掲げる日を除く。)

(使用許可の手続)

第四条 条例第三条第一項の許可(以下「使用許可」という。)を受けようとする者は、使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による使用申込書の提出は、次に定めるところにより行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認める場合は、この限りでない。

- 一 センターの施設を専用使用しようとする場合には、使用しようとする日(以下「使用日」という。)の属する月の二月前の月の十日から使用日までの期間内に行うこと
- 二 センターの施設を個人使用しようとする場合には、使用日に行うこと

3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認

書を交付するものとする。

4 センターの施設の使用許可に係る手続(センターの施設を個人使用しようとする場合の使用許可に係る手続を除く。)については、前三項の規定にかかわらず、市民利用施設予約システム(仙台市民利用施設予約システムの運用及び利用者登録等に関する規則(平成十五年仙台市規則第八十七号)第二条第二号に規定するものをいう。)を利用する方法により行うことができる。

第四条の二 条例第三条第二項第三号に規定する教育委員会が不適当と認めるときは、次の各号に掲げる場合とする。

- 一 センターの施設において物品又は権利の販売又は宣伝(次項において「物品販売等」という。)を行おうとする場合
- 二 その他センターの設置目的に照らして教育委員会が不適当と認める場合

2 教育委員会は、前項第一号の規定にかかわらず、センターの設置目的に照らして適当と認める場合は、センターの施設において物品販売等を行おうとする者に対し、使用許可をすることができる。この場合において、物品販売等を行おうとする者は、教育委員会が必要と認める書類を教育委員会に提出しなければならない。

(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第五条 条例第四条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 区長が特別な事由があると認める場合
区長が定める日

(市長が必要と認めるときの使用料の額の特例)

第六条 使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)が条例第四条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

2 条例第四条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にか

かわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一 使用許可を受けた日から使用日の七日前の日までの期間 零

二 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 条例第四条第一項の規定による使用料(条例第六条の規定により使用料を減免した場合にあっては、当該減免後の使用料)の額

3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、センターの施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

(使用料の返還)

第七条 使用者が条例第四条の二第一号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。

2 使用者が条例第四条の二第二号に該当すると区長が認める場合において、条例第五条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、前条第二項第一号に掲げる期間においては、既納の使用料の全額とする。

3 使用料の返還を受けようとする者は、還付請求書を区長に提出しなければならない。ただし、区長が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用)

第八条 条例第十条の規定により指定管理者(地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)にセンターの管理を行わせる場合における第四条の規定の適用については、同条中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(審議会)

第九条 仙台市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)に会長及び副会長一人を置く。

2 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。

3 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十条 会長は、審議会の会議を招集し、その議長となる。

2 審議会の会議は、二月ごとに一回開くものとする。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時に開くことができる。

3 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 審議会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十一条 審議会の庶務は、中央市民センターにおいて処理する。

第十二条 前三条に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(実施細目)

第十三条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則 省 略

I 策定の趣旨

新世紀の扉がいよいよ開かれました。これまで社会を支えてきた仕組みが大きくゆらぎ、変貌する中で、時代の大きな変化を受けとめ、未来を切り開いていく私たち一人ひとりの力が試されようとしています。それは、まさに新世紀を生きる力であり、自らまなび自ら考える力、自分の夢にチャレンジする精神、そして市民として主体的に社会にかかわり共に生きる知恵によってつくりだされる力です。

今、強く求められているのは、こうした力をはぐくむ新しいまなびの仕組みをつくりだすことであり、その意味で、これからの10年は、21世紀の新しい学都・仙台づくりを進める大切な時期になります。仙台市教育ビジョンは、2010年(平成22年)を目標年として、そのためにとりくむべき基本的な方針を定めるものです。

II ビジョン推進の主体

私たちの未来を切り開く、新しいまなびの仕組みづくりのキーワードは、「パートナーシップ」です。一人ひとりの市民や家庭、PTAなどの地域団体、学校、市民活動団体、企業、行政などが、それぞれの場で役割を果たしつつ、これまでの枠組みを越えてパートナーシップを持つことによって、子どもも大人も、一人ひとりが互いに認め合い、教えあい、まなび合う、新たなまなびの仕組みを作り上げていくことがはじめて可能になります。

このビジョンは、それぞれの課題ごとに、市民のまなびを支える多様な主体の連携・協働のあり方を明らかにしながら、行政がとりくむべき施策の方向をとりまとめたものです。

※パートナーシップ: 自立した主体が相互理解のもと、共通の目的や課題にとりくむためにつくる協力・連携・協働の関係のこと。互いに成果と責任を共有し合う、対等で開かれた関係であることが前提。そのためには、行政情報の提供と公開及び、市民と行政の双方向の情報交換を進め、情報の共有化を図ることが重要。

※市民活動団体: 自主・自律を基本とし、さまざまな分野で広く市民のために社会貢献活動を行い、社会の形成に参加する市民団体のこと。

III ビジョンの3つの柱

1 まなぶ力をはぐくむ

学習を積み上げる土台となる基礎的な学力、自分で課題を見つけていく力、課題解決に主体的にとりくむ意欲やその方法を探究する力、人と通じ合うコミュニケーションの力。これからより大切になってくるのは、こうした、人がまなぶために備えるべき基本的な力です。

このような一人ひとりのまなぶ力をはぐくんでいきます。

2 まなぶ機会を広げる

学校の外にもまなびの場や機会はたくさんあります。自分に合った方法で学ぶことができるようなチャンスが広がれば、もっとたくさんの人の生きがいつくらの役に立ちます。さまざまな連携をつくりだしながら、一人ひとりのとりくみを応援するまなぶ機会を広げていきます。

3 まなぶ資源を豊かにする

一人ひとりの主体的なまなびや、多様化・高度化するまなびのニーズに応えていくため、情報・人材をはじめ、まなびを支える資源をさらに豊かにし、十分活用できるようにしていく必要があります。これまでにはぐくまれ、受け継がれてきた資源や、今日、新たにつくりだされた資源、さらに、世界規模の資源を広く集めて、21世紀の学都・仙台にふさわしい市民の創造的なまなびを支える環境づくりを進めます。

※まなぶ資源: 情報・人材・施設・自然・芸術文化・文化財・市民活動の実績・教育機関など、まなびを支えるさまざまなことからのこと

【ビジョンの3つの柱と取り組みの基本的方向】

1. まなぶ力をはぐくむ

- 1 家族の心が通じ合う家庭づくりを支援する
- 2 一人ひとりが自他ともに尊重し合う心をはぐくむ
- 3 生涯にわたる健康の基礎づくりを進める
- 4 基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにする
- 5 一人ひとりの問題意識や考える力をはぐくむ
- 6 環境についてまなぶことを通して新しい時代のくらしをつくりだす知恵や想像力をはぐくむ
- 7 社会参加体験や遊びを通して社会の仕組みへの理解を深め、人と通じ合うコミュニケーションの力をはぐくむ
- 8 学校、家庭、地域、その他様々な活動をしている人が連携してまなびのコミュニティをつくる

2. まなぶ機会を広げる

- 1 まなぶ機会のバリアフリーを進める
- 2 誰もがまなび直せる機会を広げる
- 3 新しい産業構造への対応や起業化を支援するまなぶ機会を広げる
- 4 時代の変化を反映する新しい課題についてまなぶ機会を広げる
- 5 地域におけるスポーツ活動の機会を広げる
- 6 芸術文化の鑑賞や創作、発表活動の機会を広げる

3. まなぶ資源を豊かにする

- 1 学校におけるまなびの環境を高める
- 2 生涯学習施設の機能を充実する
- 3 自然環境や文化財などを活用した体験学習の場をつくる
- 4 教育機関の持つ人材、資料、施設などのまなぶ資源を市民が活用できるようにする
- 5 市民がまなんだ成果を学校教育や生涯学習、市民活動、企業活動などへ活用するための仕組みや環境をつくる
- 6 専門的資質能力や、指導力、豊かな人間性を持った教職員を育成する
- 7 生涯学習活動を支援する人材を育成する
- 8 様々なまなぶ資源を有効に活用できるよう、情報ネットワークをつくる

平成 21 年度 市民センター事業概要

平成 22 年 9 月 発行

編集・発行

仙台市教育局中央市民センター

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡四丁目 1 番 8 号

(パルシティ仙台ビル内)

電話 022 (295) 0403

FAX 022 (295) 0810